

令和6年度 学生意識総合調査

調 査 結 果 報 告 書

昭 和 大 学

目次

令和 6 年度（第 6 回）学生意識総合調査について	1
令和 6 年度「学生意識総合調査」学部別回答率	3
学部・学年・男女別回答率一覧	4
集計結果	5
A. 基本的構成（No. 1～No. 4）	
B. 大学について（No. 5～No. 8）	
C. 全寮制教育（No. 9～No. 20）	
D. 学生生活（No. 21～No. 38）	
E. 日常生活全般（No. 39～No. 62）	
F. 課外活動（No. 63～No. 69）	
G. 経済状況及び奨学金（No. 70～No. 76）	
I. キャリア支援（No. 77～No. 80）	
J. 教育施設に関する事項（No. 81～No. 90）	

【 令和 6 年度（第 6 回）学生意識総合調査について 】

1. 目 的

昭和大学は、昭和 3 年の創立以来、建学の精神である「至誠一貫」に基づき、“まごころ”を尽くす質の高い医療人の育成を理念とする教育を行ってきた。平成 30 年度に創立 90 周年を迎え、医系総合大学として社会の要請に応える人材を輩出し、大学の活性化とさらなる飛躍を期するためには、教育と学生支援の質の向上が必要不可欠である。

令和 6 年度（第 6 回）学生意識総合調査は、大学評価向上の一環として、本学学生の意識・生活実態を定点観測し、これ把握し分析することを通じて、学生の満足度を高める教育・学生生活・環境を創出していく基礎とすることを目的に全学的規模で実施した。

今後も、この調査は定期的（3 年毎）に実施し、学生を取り巻く社会環境や意見の変化を的確に把握し、学生サービスの向上政策に生かしていくものである。

2. 方 法

本学に在籍する学部学生 1 ～ 6 年次を対象として全数調査とし Googlefoam を利用し調査を実施した。

実施は、回収率 100%を目指すため、最初の回答期間を令和 6 年 9 月 1 日～9 月 30 日とし、未回答の学生に対しては回答の督促を行った。調査項目は、①基本的構成、②大学について、③全寮制教育、④学生生活、⑤日常生活全般、⑥課外活動、⑦経済状況および奨学金、⑧キャリア支援、⑨教育施設に関する事項の計 9 項目に分類され、設問数は 90 問である。

アンケートの集計結果は、分析・検証を行い、学生の意見を基にした現状における本学の教育および学生支援等の問題点を明らかにし、今後の改善と方策について考察した。

3. データ集計について

以下の基準を定めて集計を行った。

- (1) 設問 1 学部、設問 2 学科、設問 3 学年、設問 4 性別に関する誤記について、学生の属性が明確なものは正しい選択に変更した。
- (2) 回答率（％）の数値は小数点 2 桁で四捨五入した。
- (3) 回答率（％）の分母は、アンケート回収枚数（無効回答・無回答を含めた数）とした。
- (4) ろ過的設問（回答項目を限定しさらに別の設問を行う設問）では、親設問への回答が不適切な場合は付随する子設問を無効とした。
- (5) 単一回答方式にもかかわらず誤って複数回答された場合もその実数を採用し、アンケート回収枚数を分母とした数を超えた場合は、各設問の選択者数比率を維持したまま超過数を切り捨てた。
- (6) 複数回答方式の設問項目では、検算が困難であるため、無効回答・無回答を計算していない。
一部、実数で表記している。

※ 無効回答：選択肢以外を選択した回答
無回答：回答無し

令和6年度「学生意識総合調査」回答率

【調査対象者】

全学部全学年(休学・退学除く(12名))

【全体】

対象	対象者数	回答者数	回答率
全体	3,147	3,142	99.8%

【学部別】

対象	対象者数	回答者数	回答率
医学部	747	746	99.9%
歯学部	588	588	100.0%
薬学部	1,184	1,184	100.0%
保健医療学部	628	624	99.4%
合計	3,147	3,142	99.8%

【学年別】

学年	対象者数	回答者数	回答率
1年	602	602	100.0%
2年	631	631	100.0%
3年	593	589	99.3%
4年	550	549	99.8%
5年	383	383	100.0%
6年	388	388	100.0%
合 計	3147	3142	99.8%

【学部別内訳】

●医学部

学年	対象者数	回答者数	回答率
1年	131	131	100.0%
2年	137	137	100.0%
3年	133	132	99.2%
4年	115	115	100.0%
5年	124	124	100.0%
6年	107	107	100.0%
合 計	747	746	99.9%

●歯学部

学年	対象者数	回答者数	回答率
1年	100	100	100.0%
2年	105	105	100.0%
3年	103	103	100.0%
4年	91	91	100.0%
5年	92	92	100.0%
6年	97	97	100.0%
合 計	588	588	100.0%

●薬学部

学年	対象者数	回答者数	回答率
1年	214	214	100.0%
2年	242	242	100.0%
3年	194	194	100.0%
4年	183	183	100.0%
5年	167	167	100.0%
6年	184	184	100.0%
合 計	1,184	1,184	100.0%

●保健医療学部

看護学科

学年	対象者数	回答者数	回答率
1年	101	101	100.0%
2年	101	101	100.0%
3年	115	114	99.1%
4年	110	109	99.1%
合 計	427	425	99.5%

理学療法学科

学年	対象者数	回答者数	回答率
1年	42	42	100.0%
2年	35	35	100.0%
3年	32	30	93.8%
4年	35	35	100.0%
合 計	144	142	98.6%

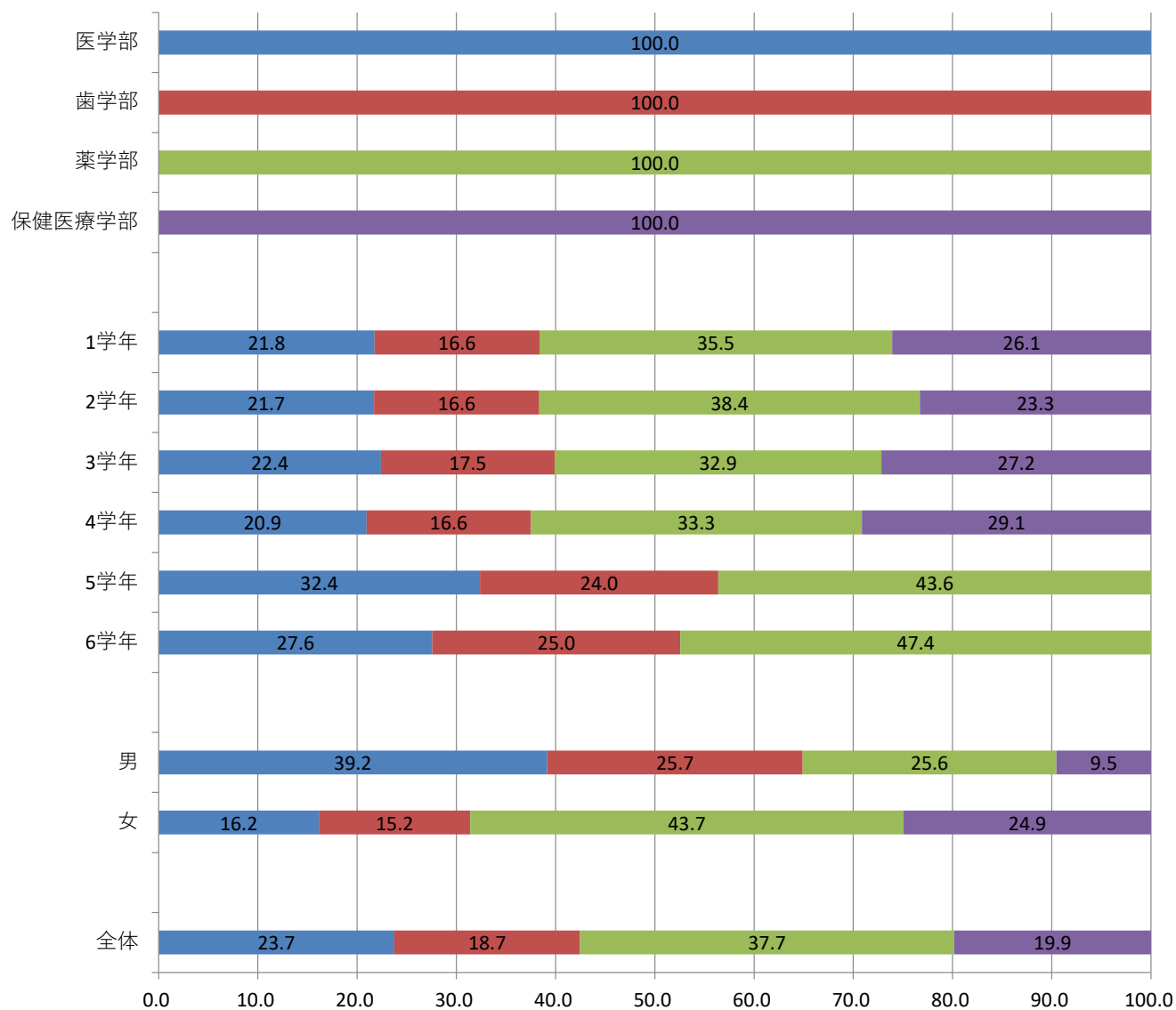
作業療法学科

学年	対象者数	回答者数	回答率
1年	14	14	100.0%
2年	11	11	100.0%
3年	16	16	100.0%
4年	16	16	100.0%
合 計	57	57	100.0%

集計結果

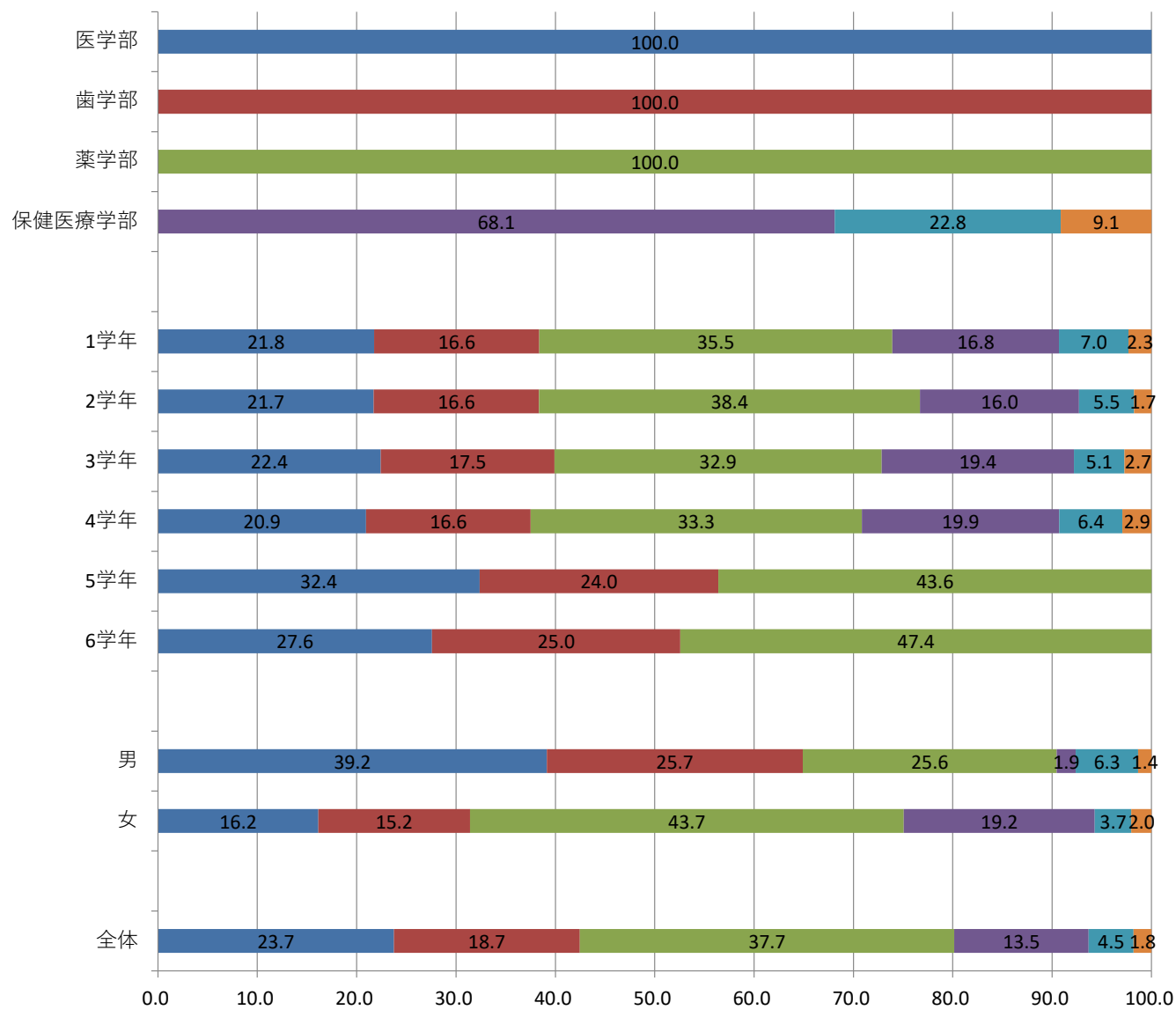
1.学部

■ 医学部 ■ 歯学部 ■ 薬学部 ■ 保健医療学部



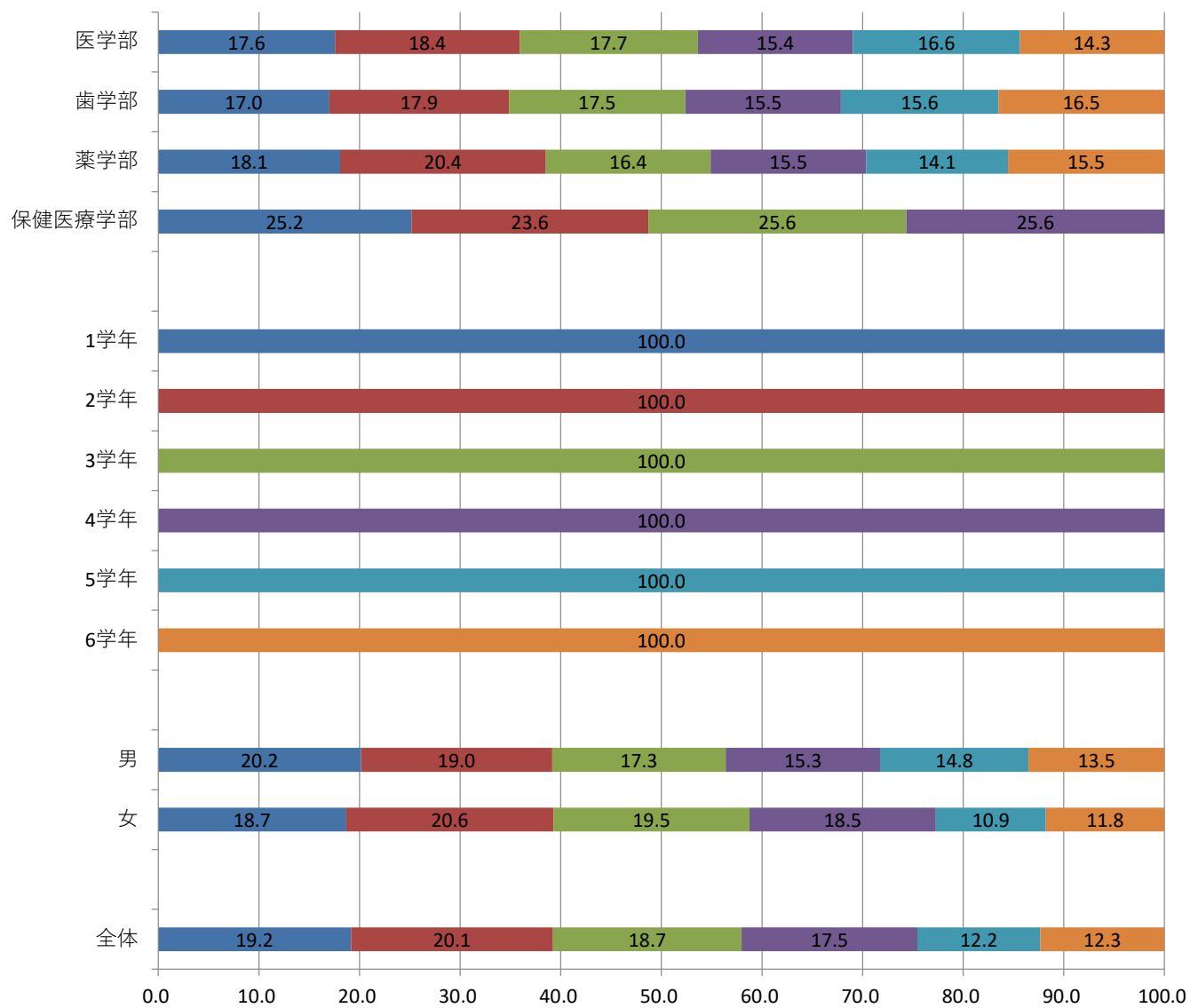
2.学科

■医学科 ■歯学科 ■薬学科 ■看護学科 ■理学療法学科 ■作業療法学科



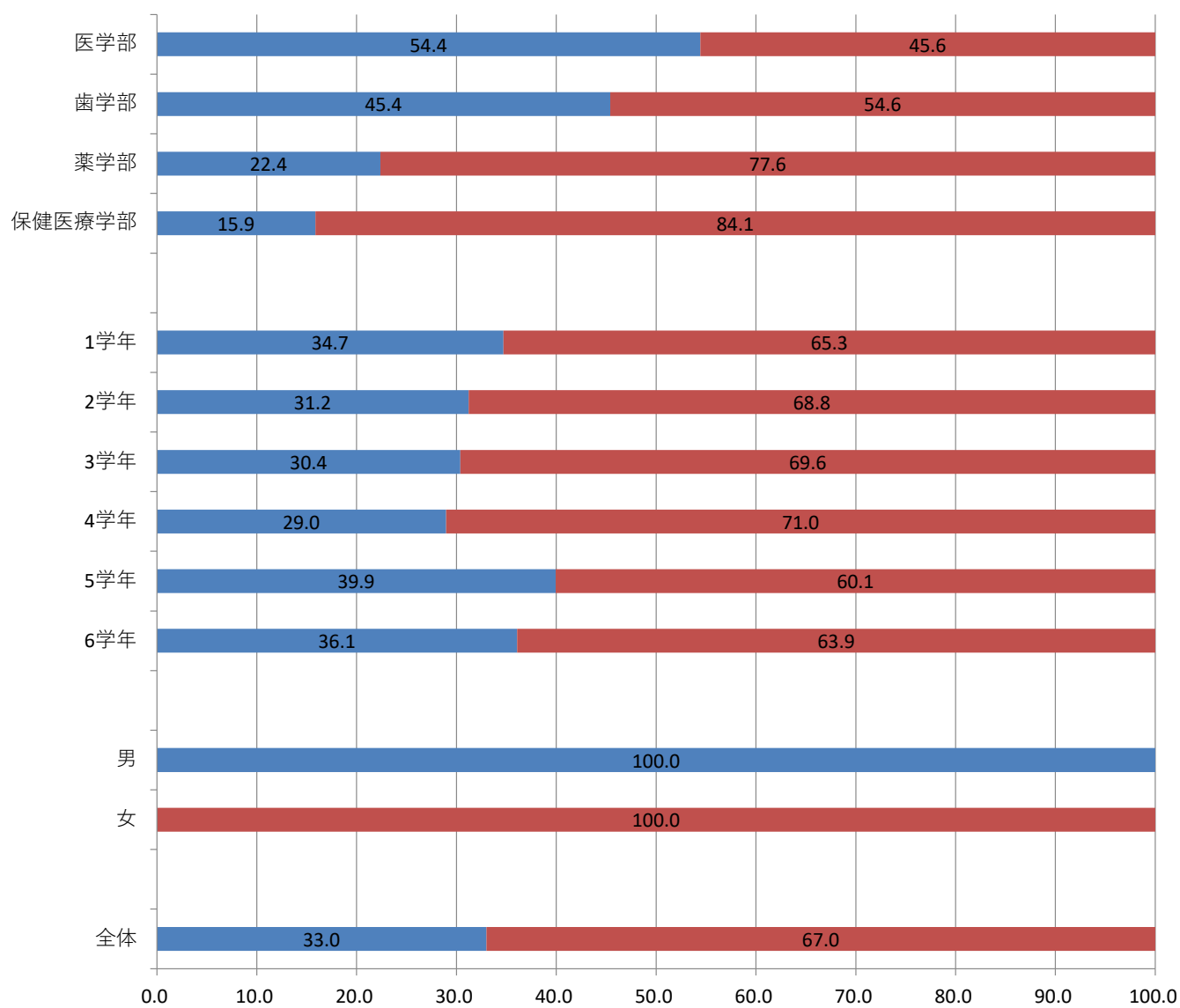
3.学年

■ 1年 ■ 2年 ■ 3年 ■ 4年 ■ 5年 ■ 6年



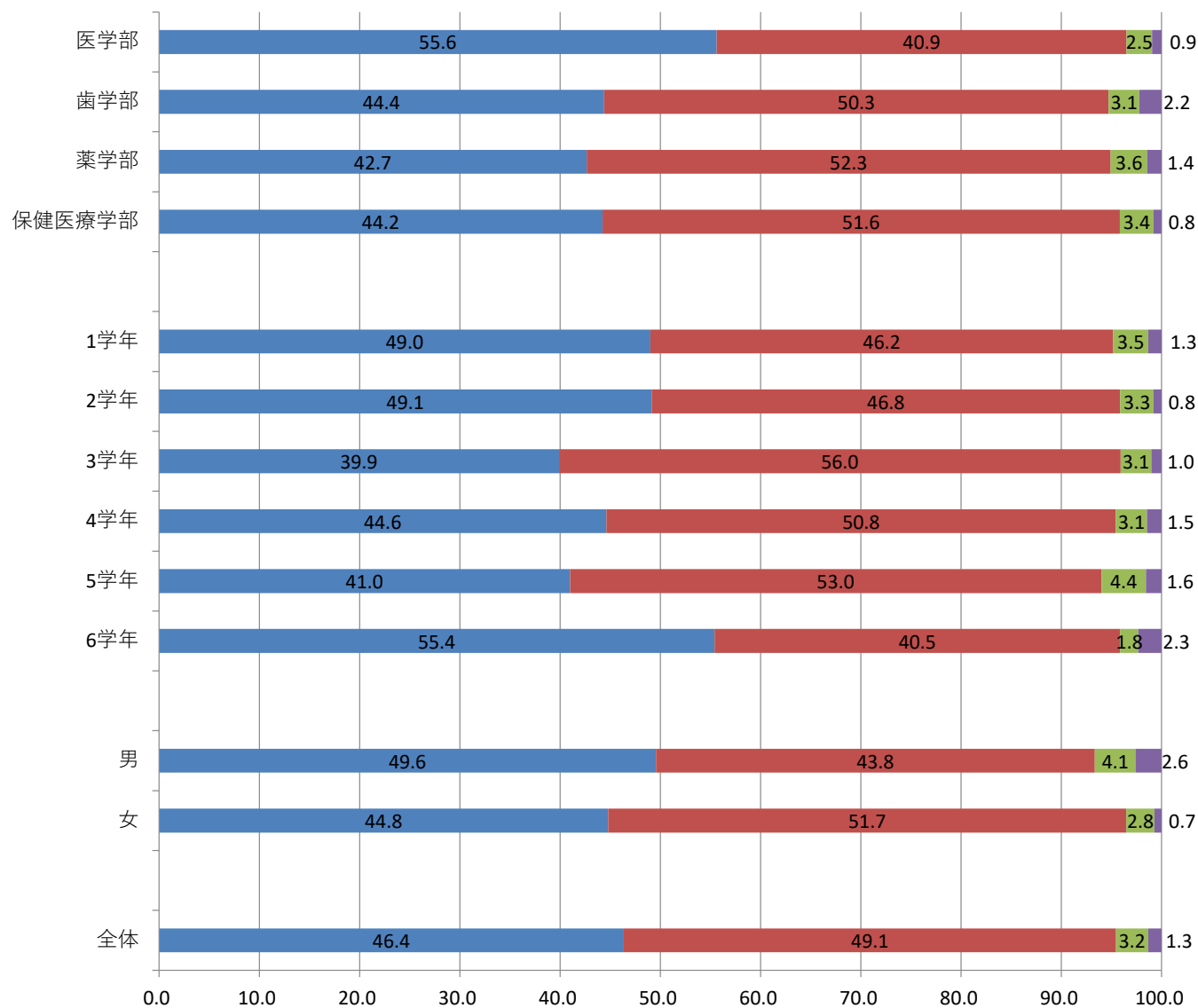
4.性別

■ 男 ■ 女



5.昭和大学の理念「至誠一貫」について

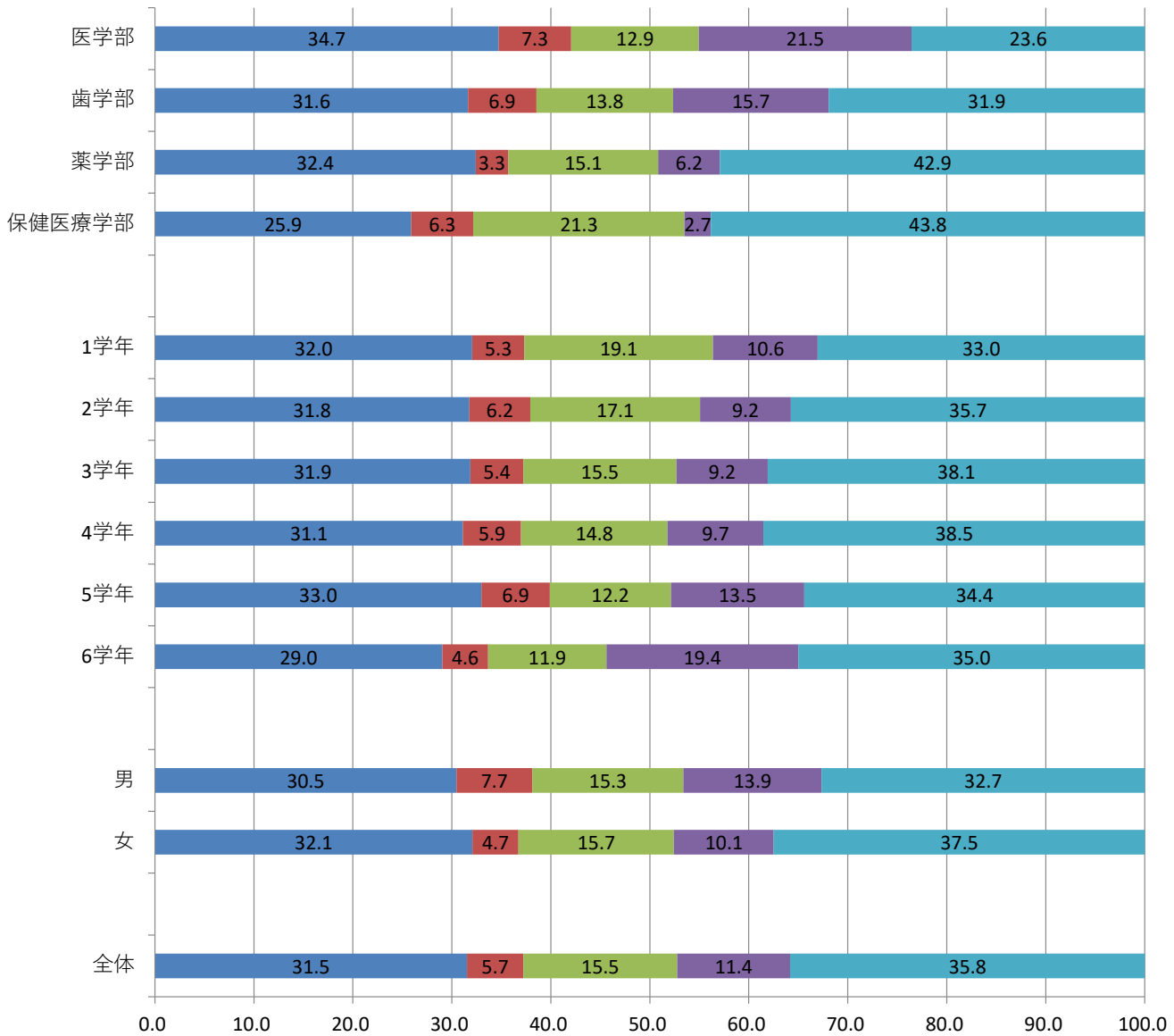
■説明できる ■言葉は知っている ■あまり知らない ■全く知らない



入学時は説明を受けたこともあり、「至誠一貫」について記憶している学生が多いが、2-4学年では記憶が薄れてきているような傾向がある。5,6学年になると、病院実習などが開始され、改めて「至誠一貫」について再認識しているのかもしれない。

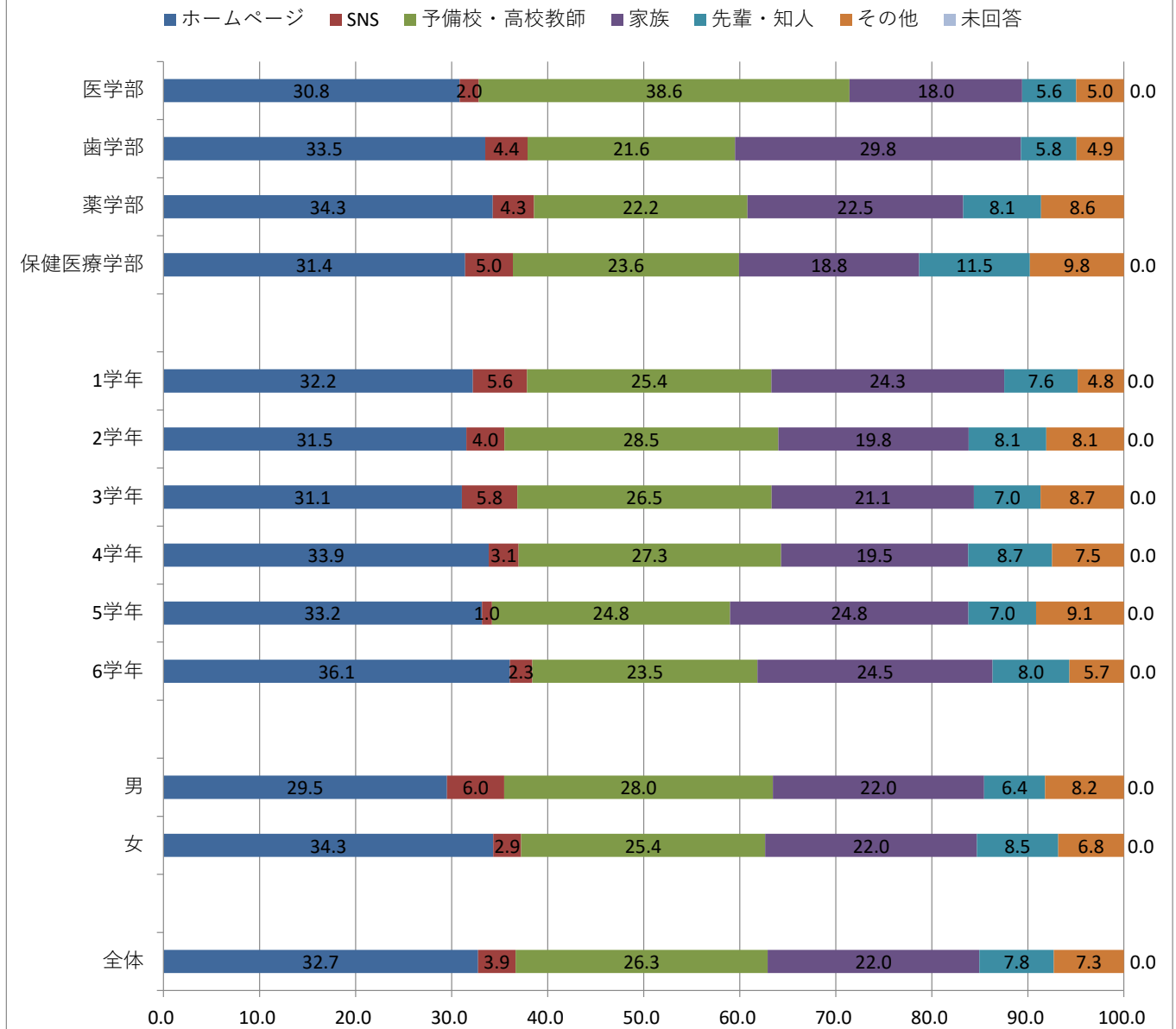
6.昭和大学を志望した理由 *複数回答可

■ 建学の精神・大学の特色・校風がよい ■ 教員がよい ■ 施設・設備技術等が優れている ■ 学納金が安い ■ 1年次全寮制



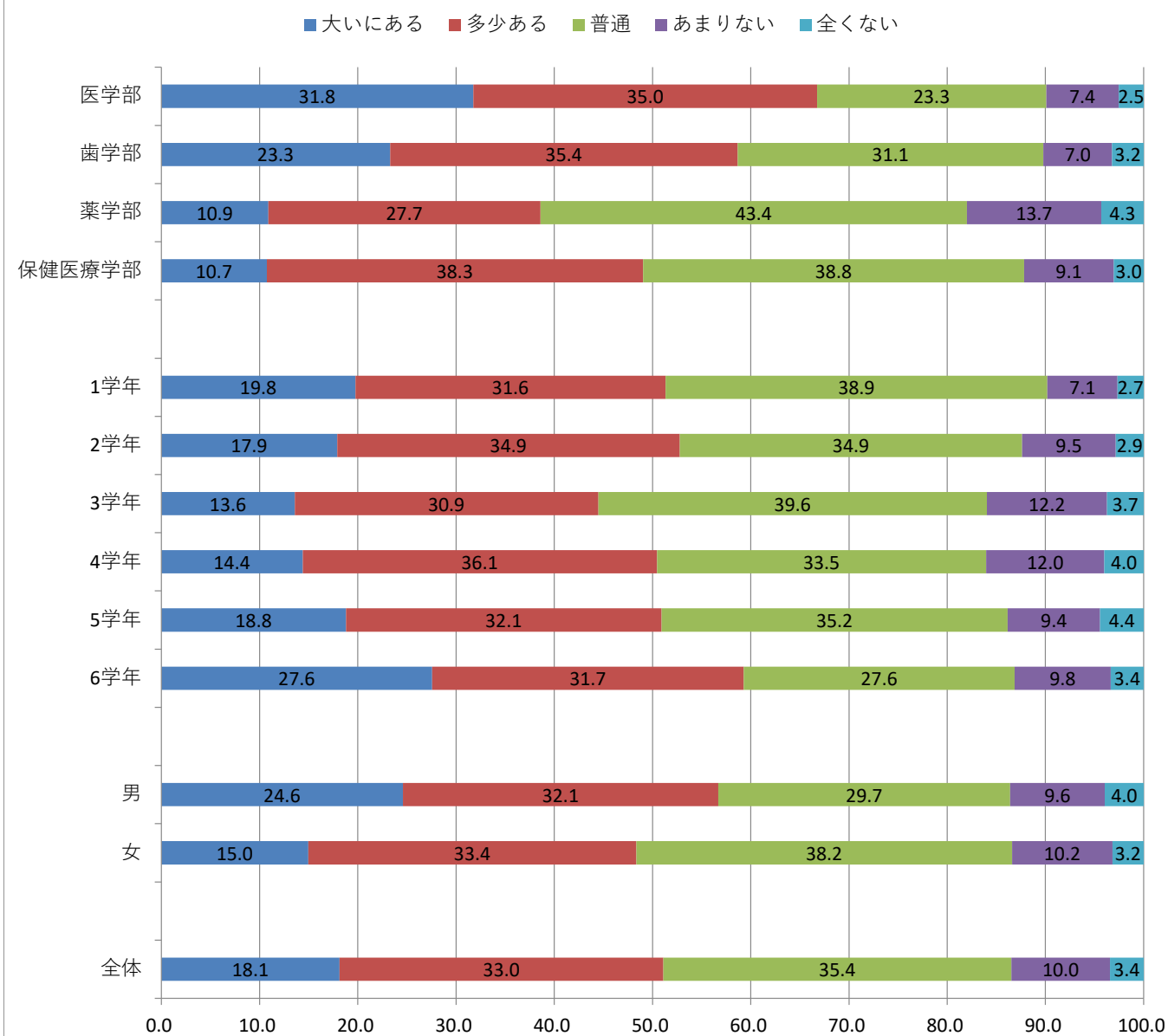
建学の精神・大学の特色・校風が良い、という意見は各学年を通じて高い推移を示している。学納金が安いと感じるのは5,6学年で、高学年になると、学外の学生との交流を通じたり、あるいは親御さんと学納金についてより詳しく話が出るのか、学生自身が理解し始める様子が伺える。また、1学年全寮制は6学年一貫して高い推移なのは、寮生活が楽しかったことが伺える。

7.昭和大学の情報はどこから入手しましたか



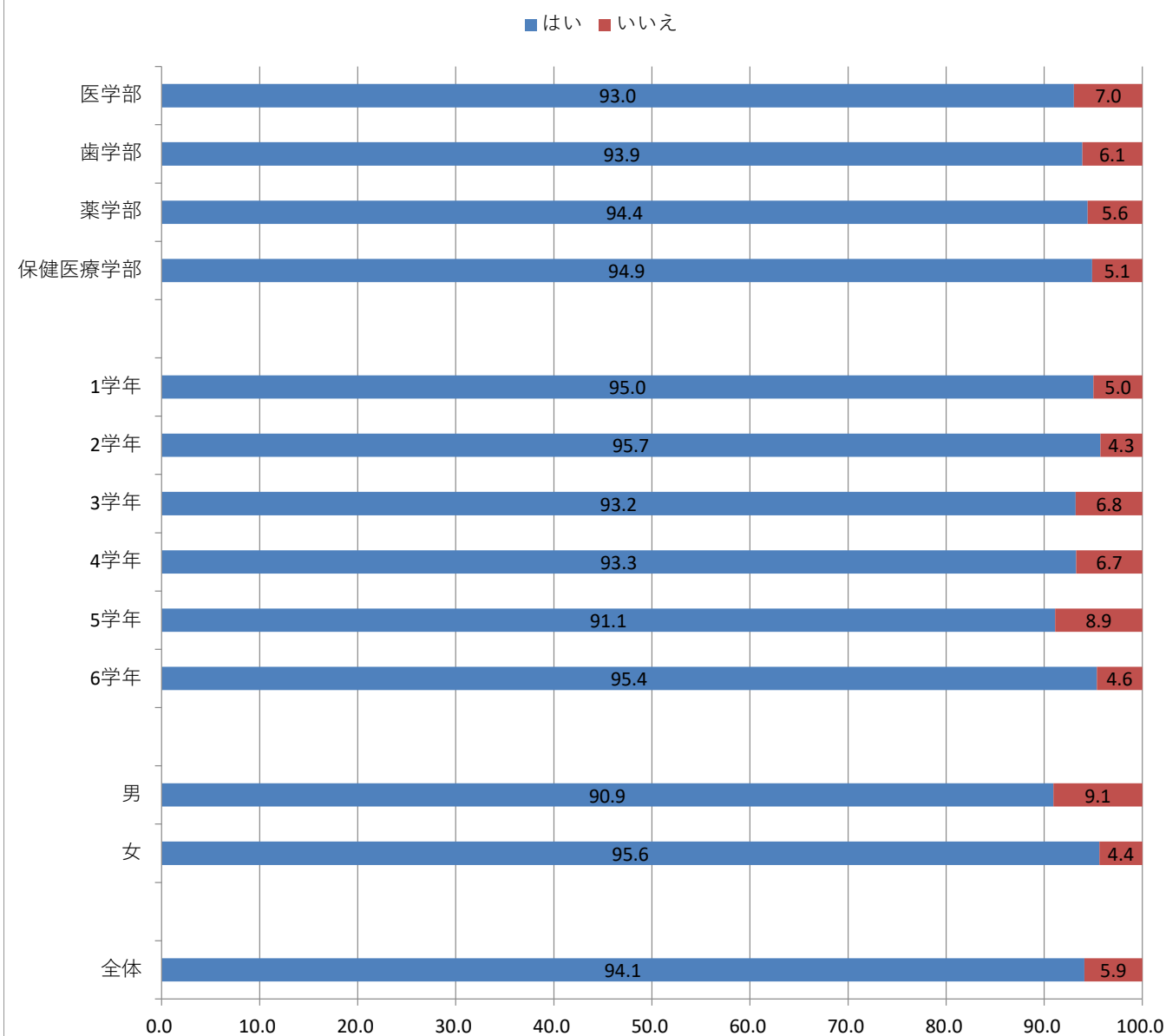
ホームページや予備校・高校教師から昭和大学の情報を得ている学生が約60%で、これまでの広報活動が功を奏し得ていることが考えられる。また、30%近くの学生はご家族や知人からも情報を得ているのは、ご家族が昭和大学出身であったり、ご家族が一丸となって受験に臨んでいることが伺える。

8.昭和大学に対する愛着度について



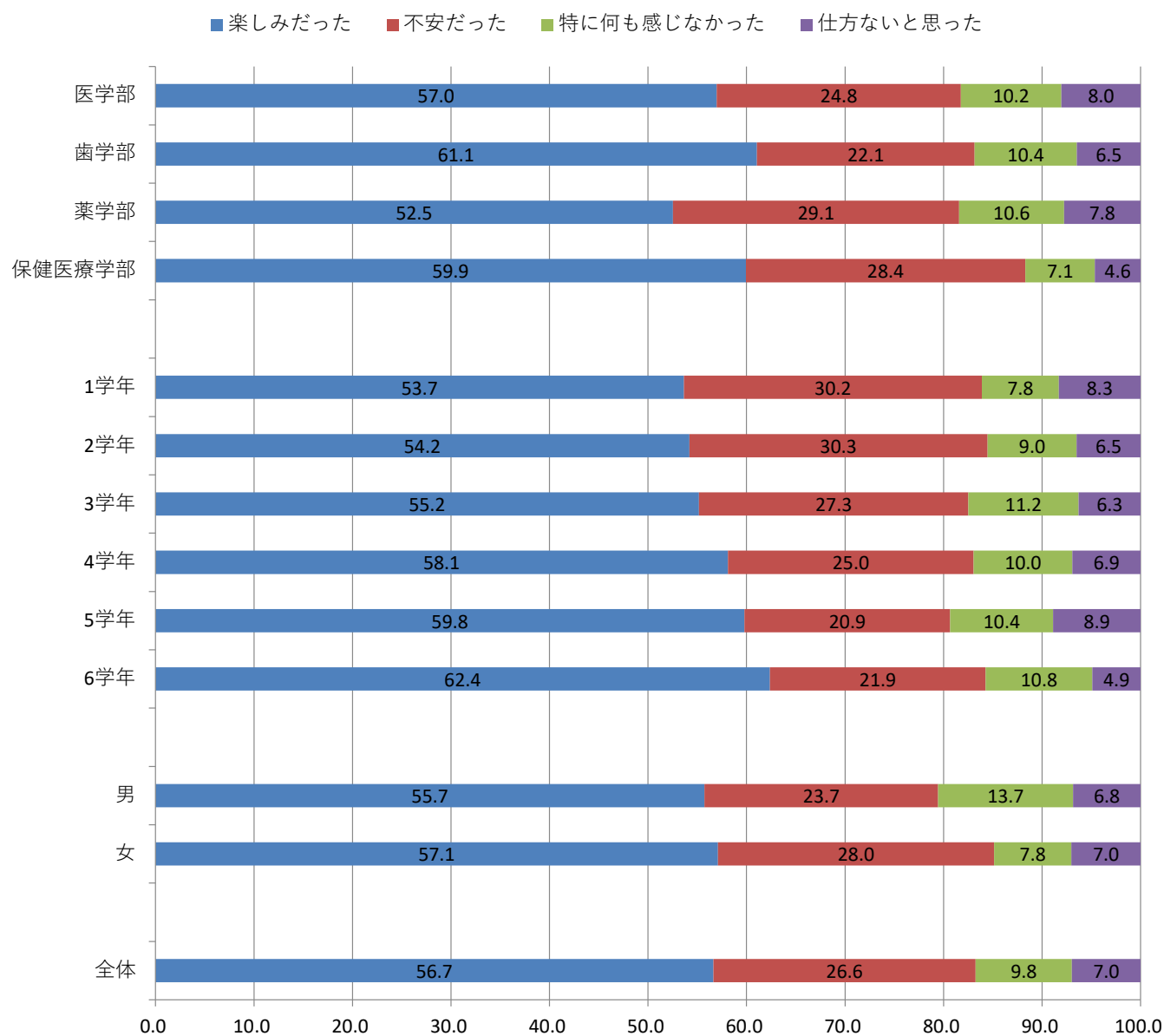
昭和大学に愛着が、「大いにある、多少ある」である学生が51%近くであり、前回調査（令和3年度）が54%であるため、低下傾向である。

9. 1年次に全寮制教育を実施している意義を知っていますか



前回調査(令和3年度)では、「はい」が全体で94%であったが、今回も94.1%の学生が全寮制教育の意義を知っていると答えている。オリエンテーションでのアイデンティティ教育や各種式典での校歌斉唱や昭和大学宣言宣誓などの指導が現れていると思われる。

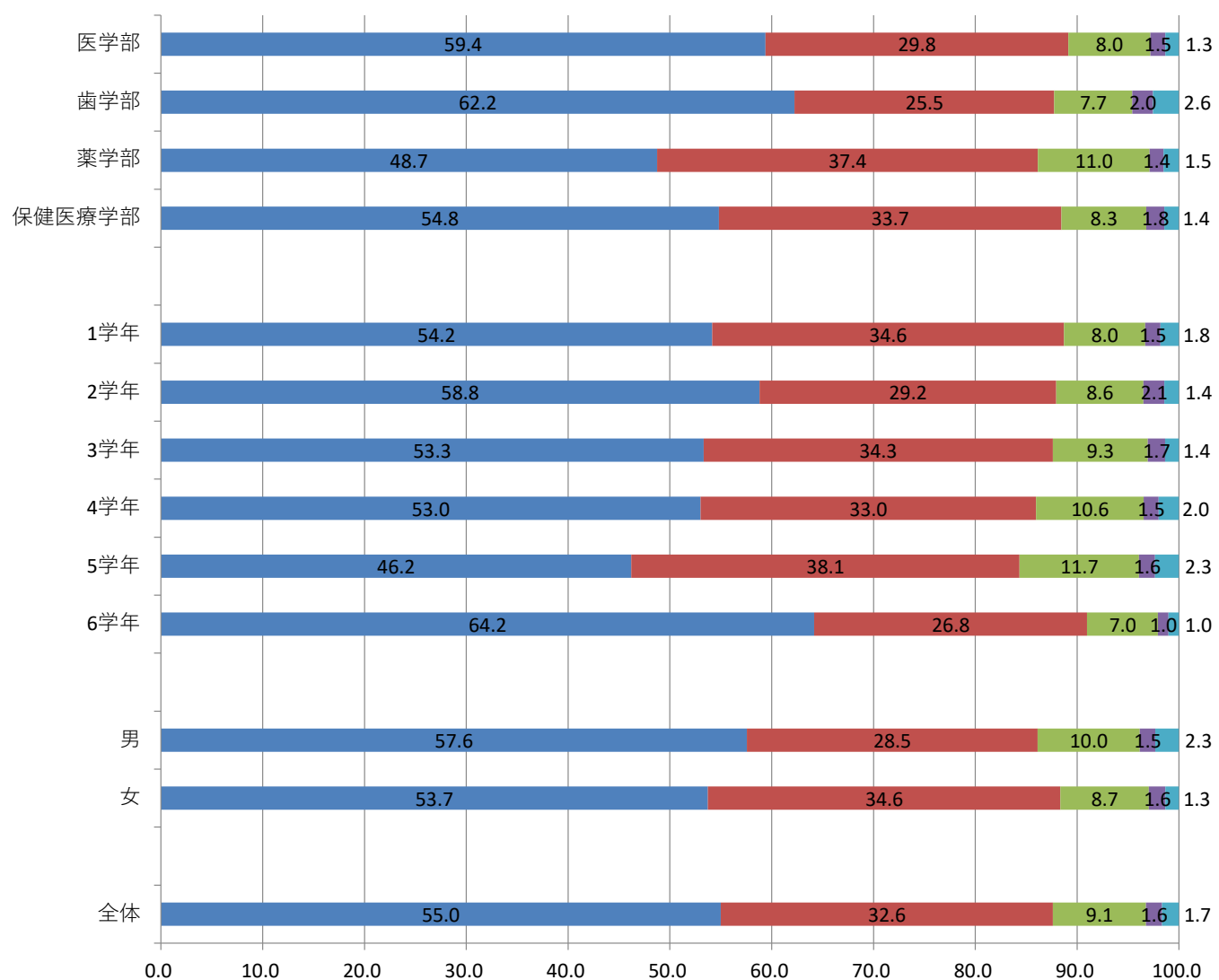
10.入学するにあたり、1年間の寮生活をどのように考えていましたか



「楽しみだった」が前回調査(令和3年度)の59.9%から3.2%減少し56.7%となっている。2020年度の1年生を対象とした寮生活に関するアンケートでも、本学受験の際に全寮制が志望動機の一つとなったかとの問に対して、はいと答えた学生は73.2%となっており、受験時から本学の特徴である全寮制教育については注目されていることがうかがえる。

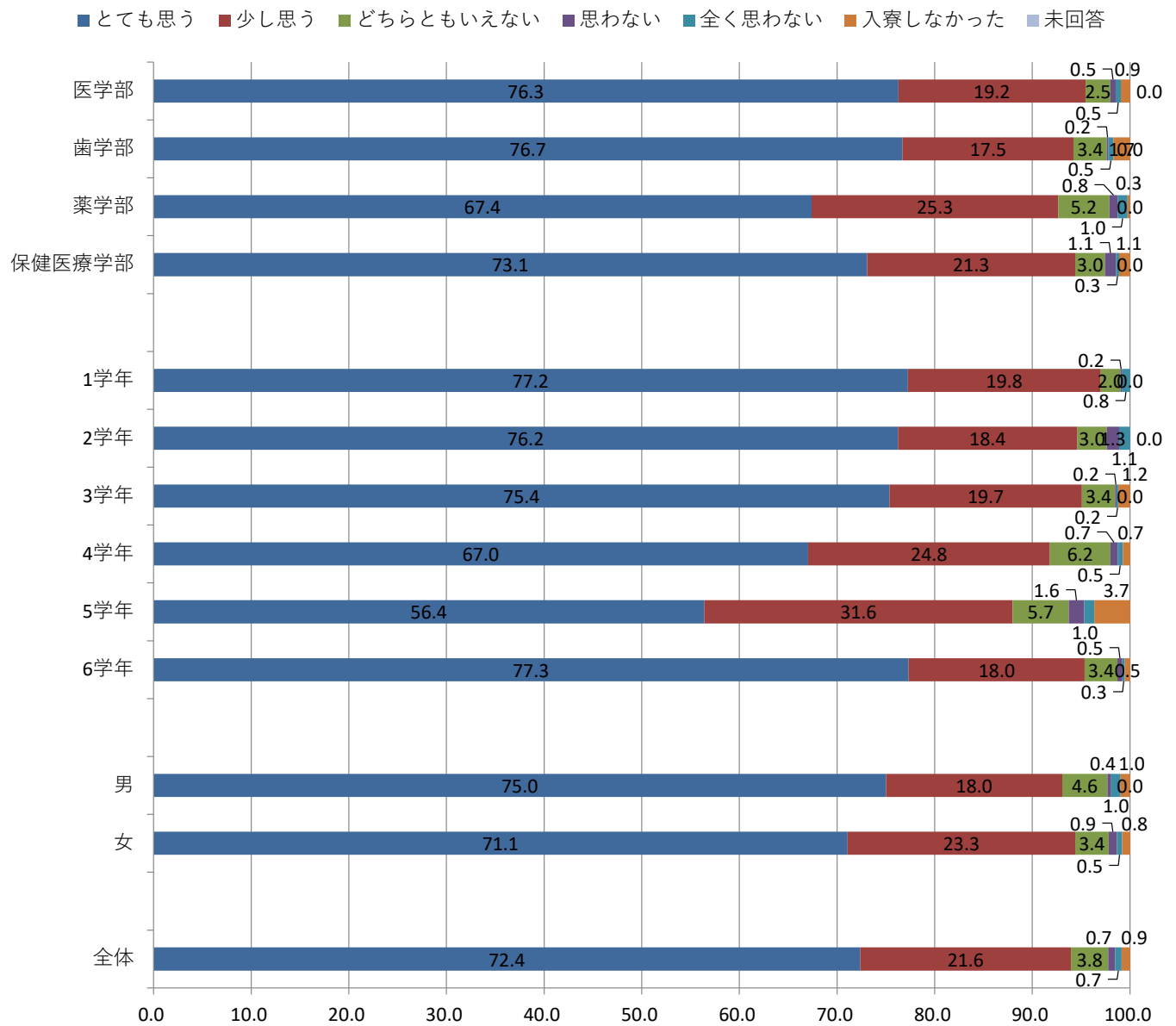
11.寮生活は医療人としての人間性を養う上で有用だったと思いますか
(有用だと思いますか)

■とても思う ■少し思う ■どちらともいえない ■思わない ■全く思わない



前回調査(令和3年度)では「とても思う」と「少し思う」で89.1%であったが、今回は87.6%と1.5%ほど寮生活の有用性を感じている学生が減少している。

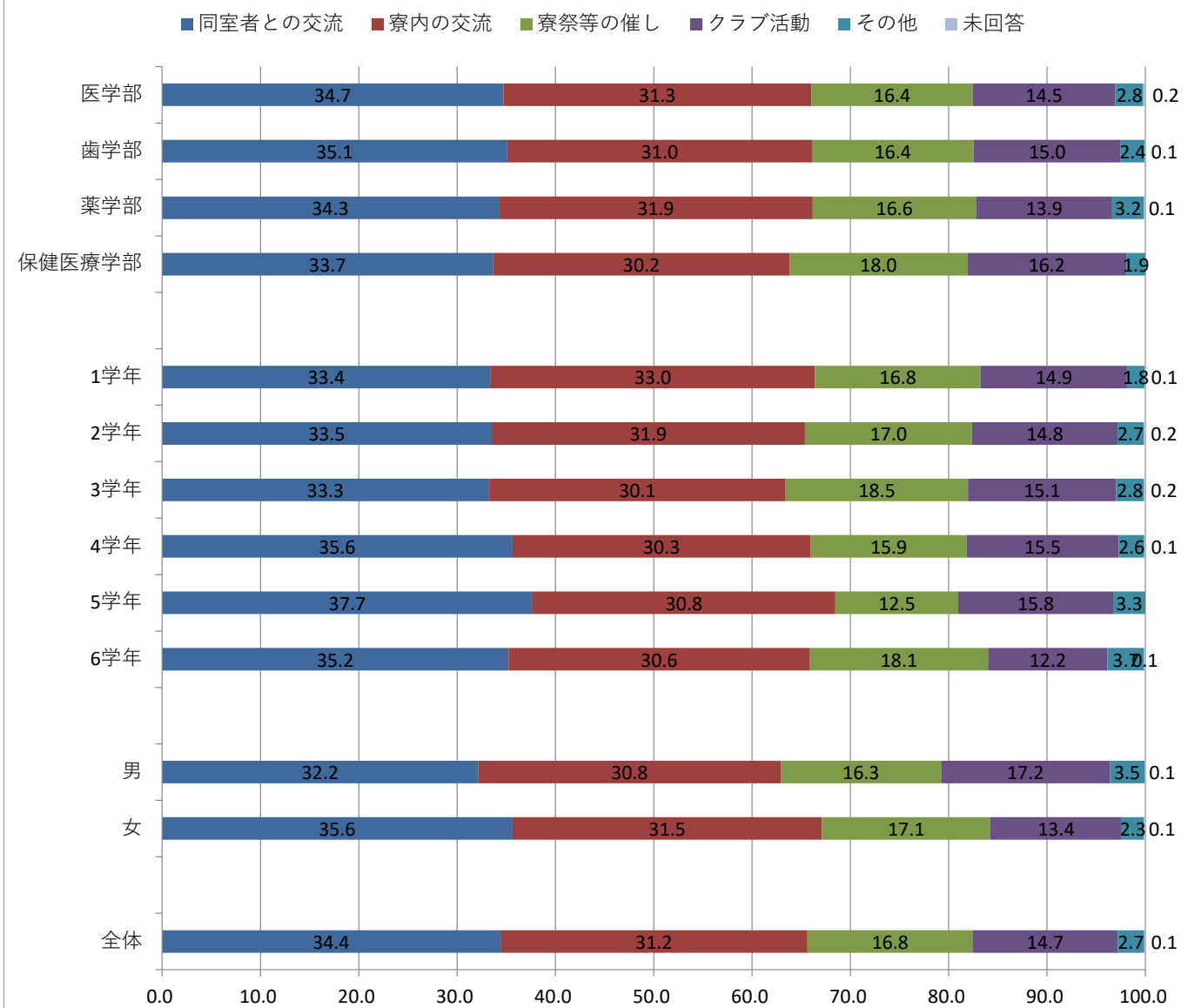
12.寮生活で、他学部の人との交流をはかれたと思いますか



5年生で「とても思う」と回答した学生が6年生より上級学年と比較して低い値を示しているが、これはコロナ禍の影響で入寮期間が約2ヶ月と例年と比べて短かったことが影響していると思われる。その他の学年は「とても思う」と「少し思う」で90%台を推移している。

13.「12」で「とても思う」と答えた方に質問します。それはどのようなものを通して思いましたか

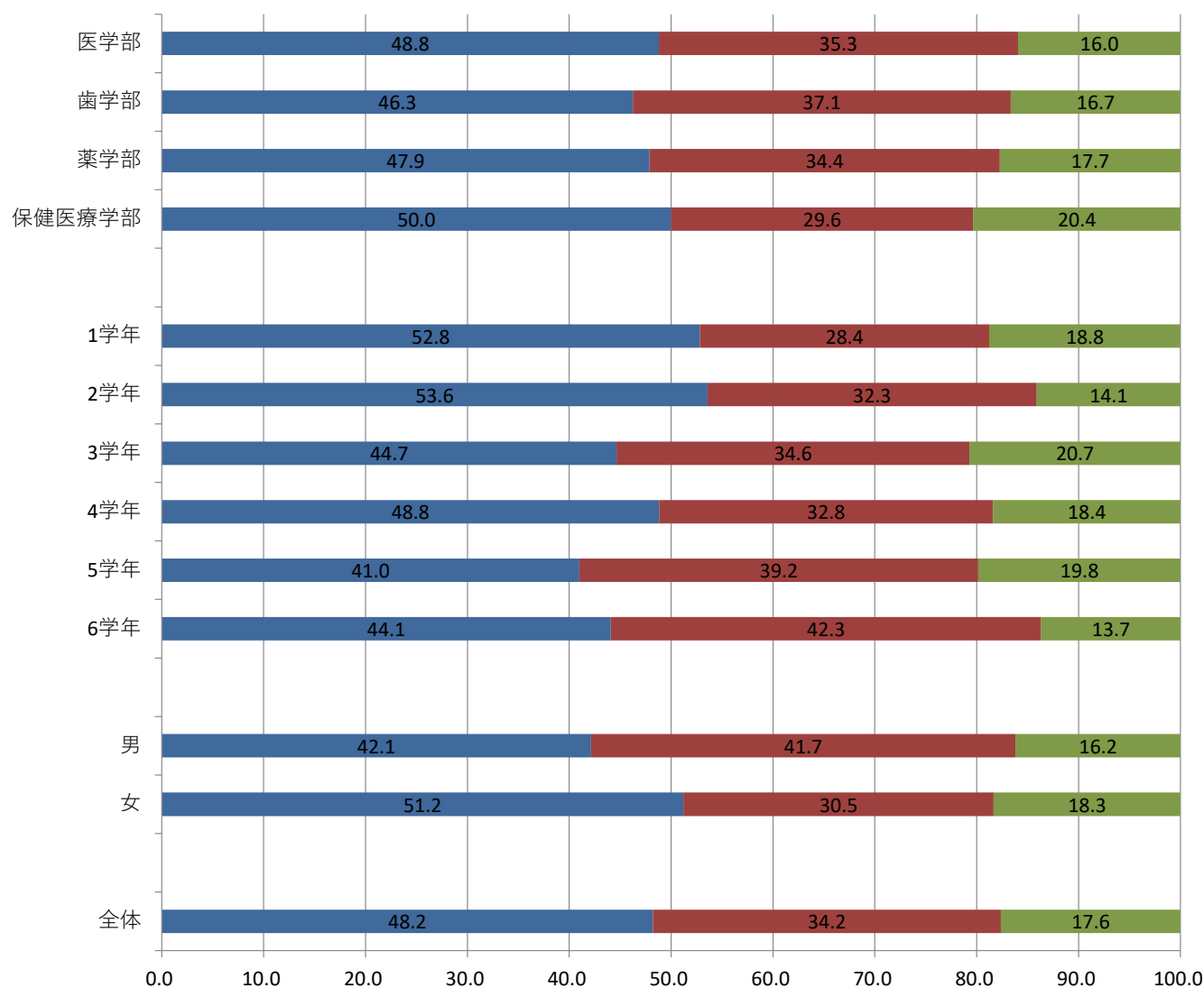
*複数回答可



「同室者との交流」と「寮内の交流」と答えた学生が、前回調査(令和3年度)と同様の結果であり、生活の基盤である寮が交流の中心でもあることが明らかである。また12の結果を裏付けるように寮祭等の催しが学部、寮を超えた交流の場となっていることがわかる。

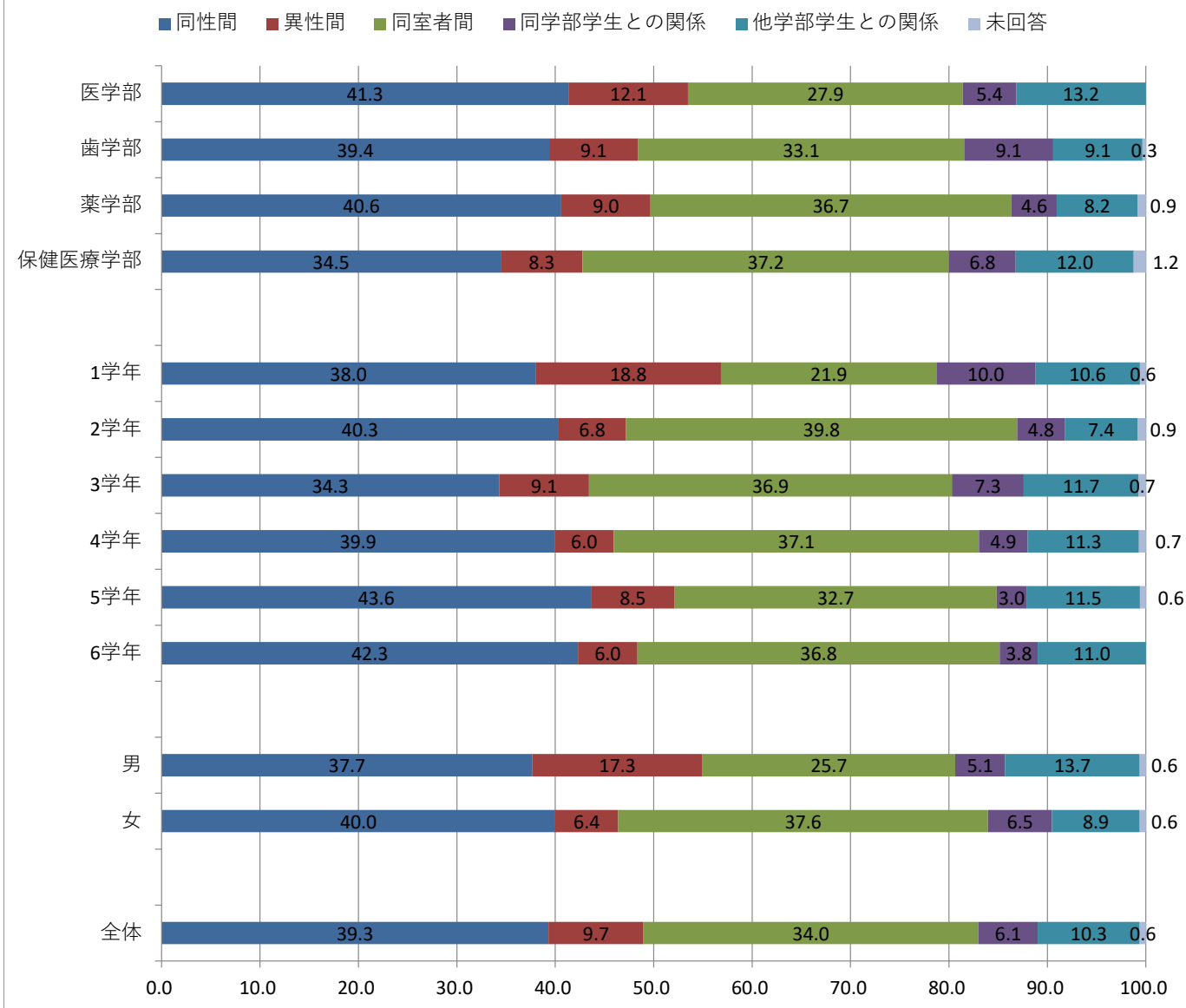
14.寮生活で他の人との交流が難しいと感じたことがありましたか
(感じるがありますか)

■ はい ■ いいえ ■ どちらともいえない ■ 入寮しなかった ■ 未回答

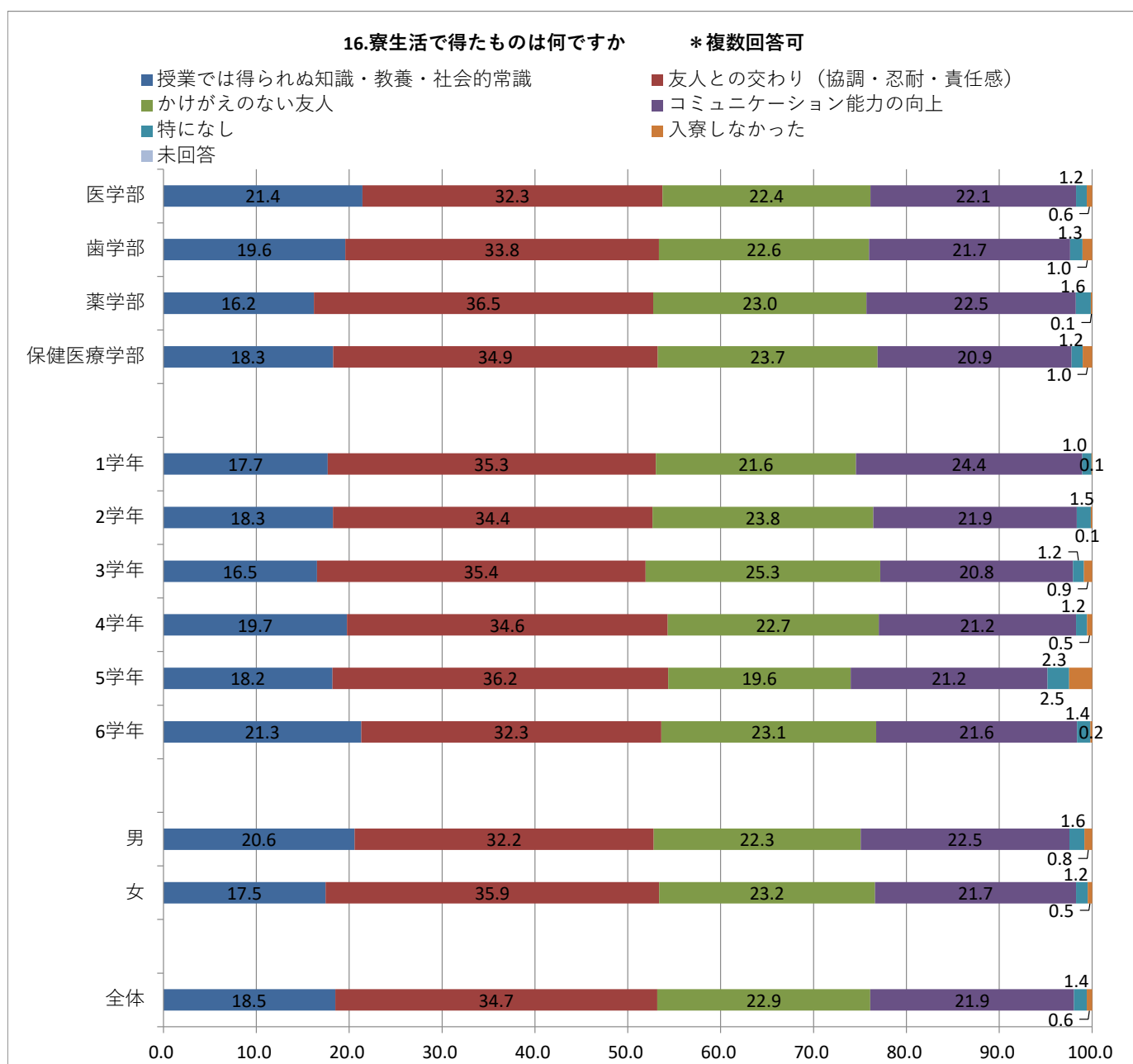


「交流が難しい」と感じたことがある割合が男子学生と女子学生ともに、前回調査(令和3年度)と比較し増加しており(男子学生:37%から42.1%(5.1%増加)、女子学生:46.8%から51.2%(4.4%増加))、人間関係の難しさが存在するようだ。

15.「14」で「はい」と答えた方に質問します。具体的にはどのような関係が最も難しいと実感しましたか

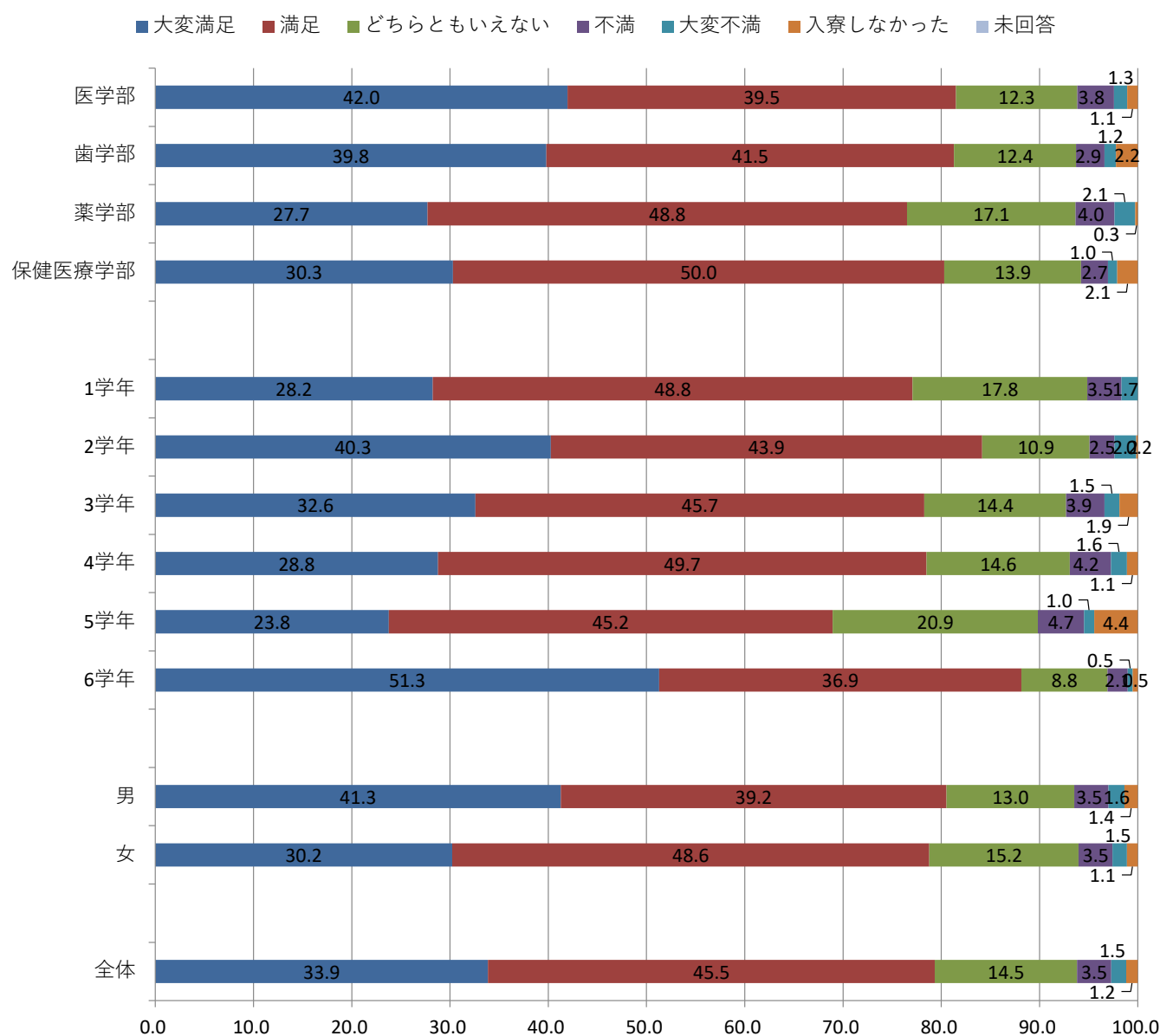


14の回答の詳細として女子学生では「同室者」と「同室者以外の同性者間」の人間関係の難しさをあげている学生が76.3%であった。また、前回調査(令和3年度)では同室者との関係が難しいとの理由として性格が合わない、生活パターンの違いなどがあがっていた。



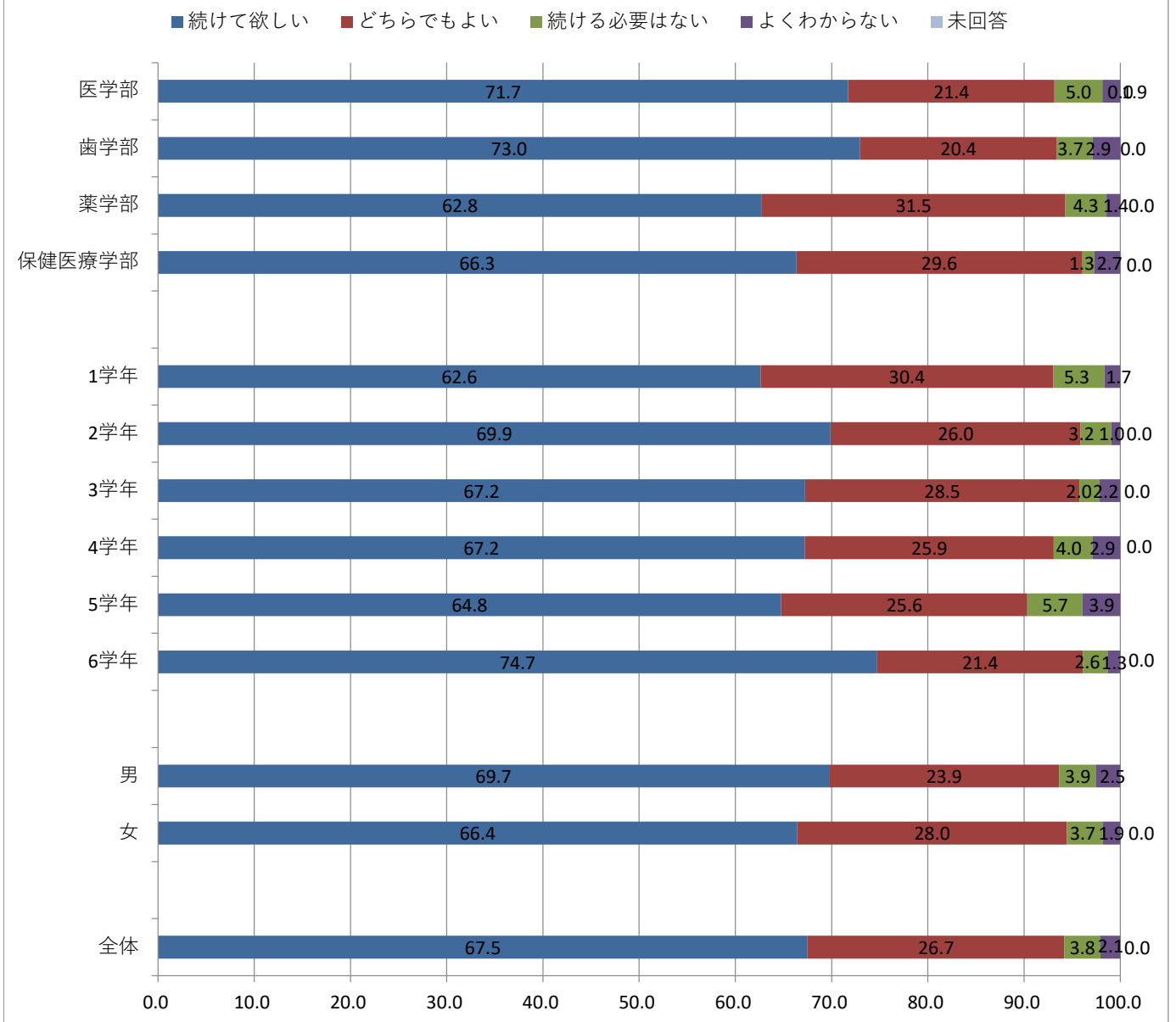
前回調査(令和3年度)同様割合に大きな変更はなく、「友人との交わり」が34.7%(前回:35.5%)「かけがえのない友人」が22.9%(前回:23%)であった。

17.全寮制教育の満足度はどうでしたか (どうですか)



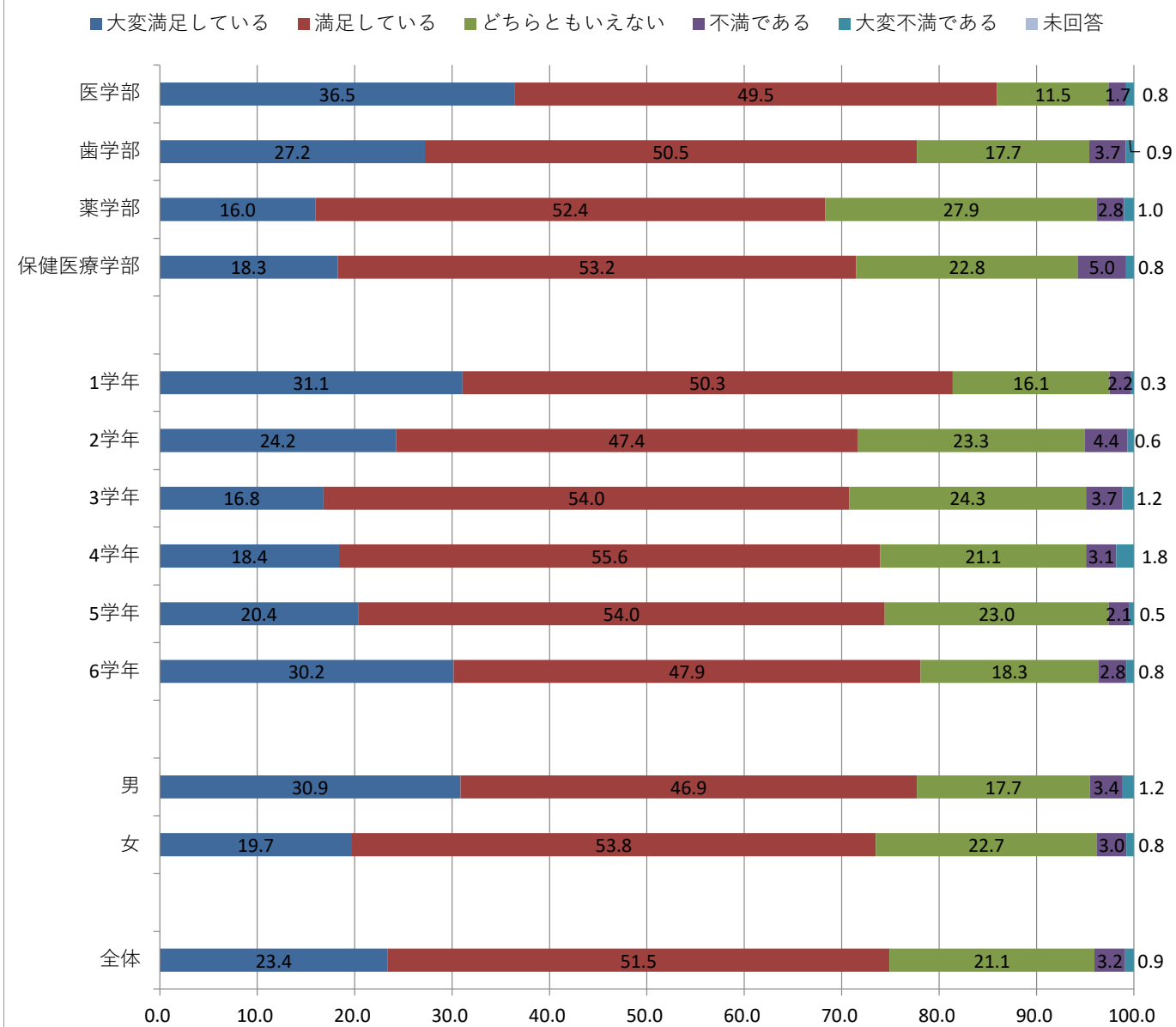
5年生が「大変満足」と「満足」で69%と低い回答となっており、コロナ禍の影響で例年とは異なる制限が寮生活にかかったことなどが影響している可能性があると思われる。また、男子学生では前回調査(令和3年度)と比較し、0.7%増加しているのに対し、女子学生は2.9%減少している結果であった。

18.本学は今後も「全寮制度」を存続させた方が良いと思いますか

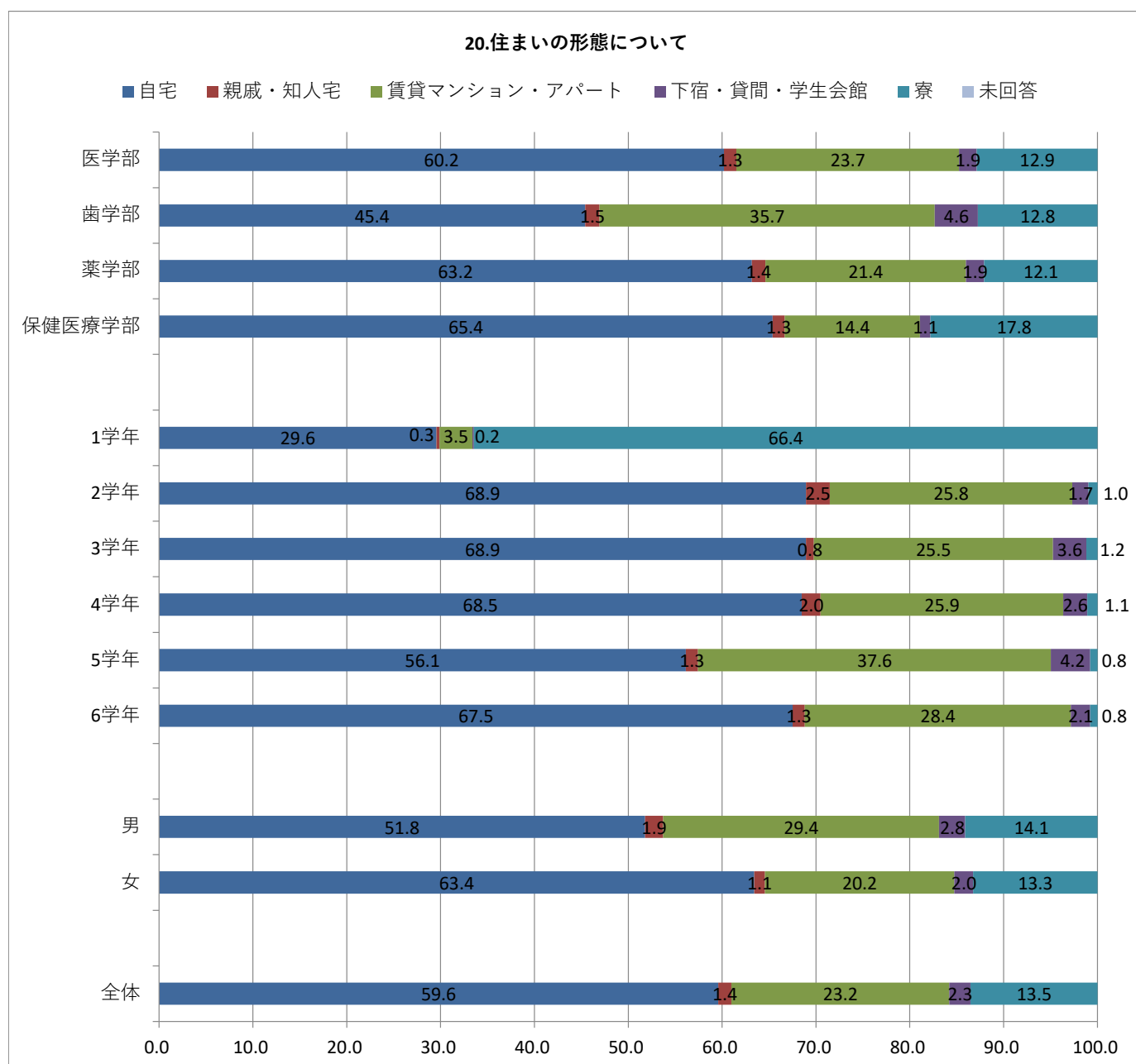


前回調査(令和3年度)では「続けて欲しい」が73.3%であったが、今回は67.5%であり4.8%減少している結果であった。薬学部が前回と比較し5.4%と大きく減少していた。

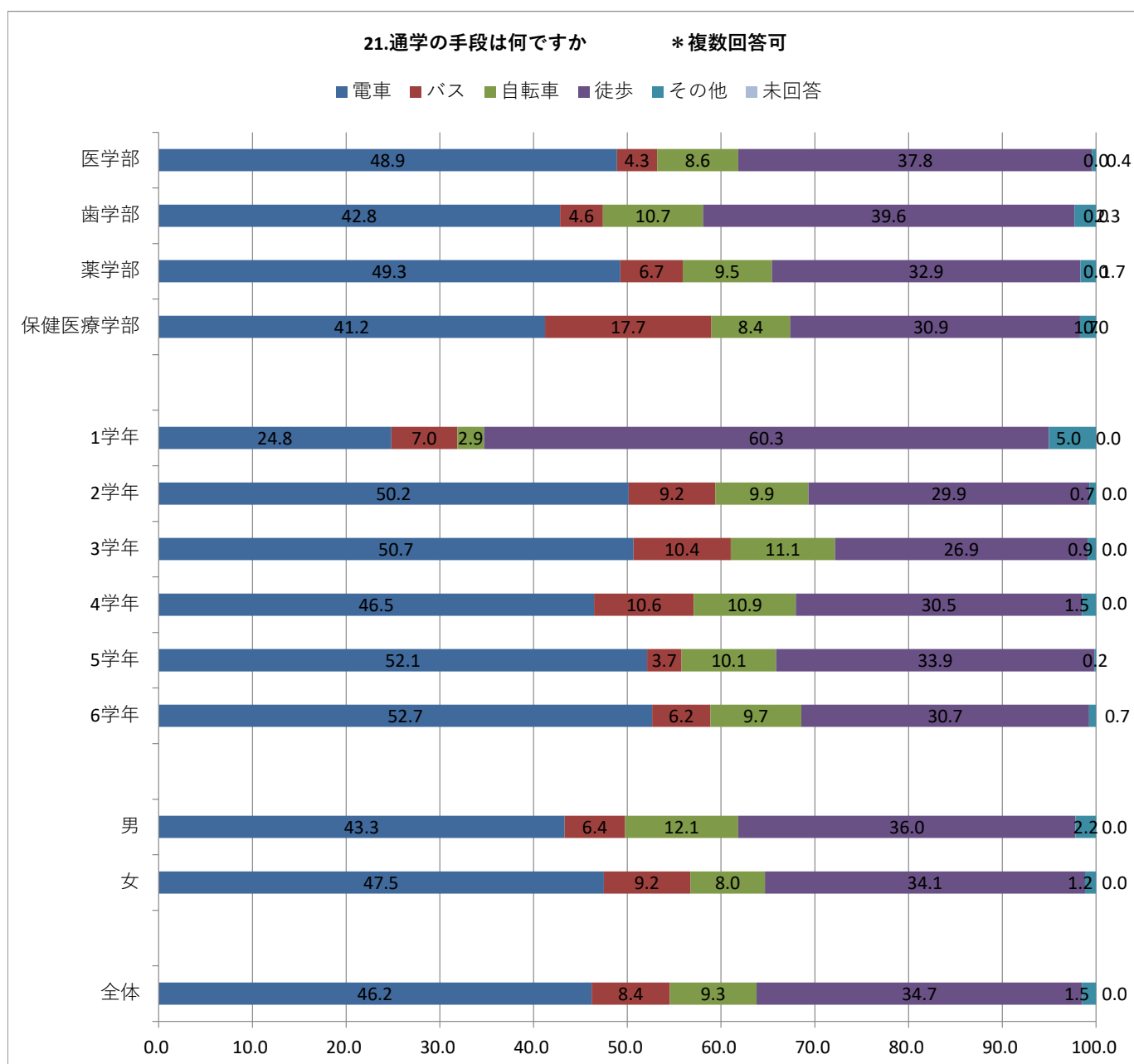
19.大学生活に満足していますか



前回調査(令和3年度)では「大変満足している」と「満足している」の合計が63.6%であったが、今回は74.9%であり11%増加している結果であった。コロナ渦による様々な活動制限が解除されたことなど影響しているかもしれない。

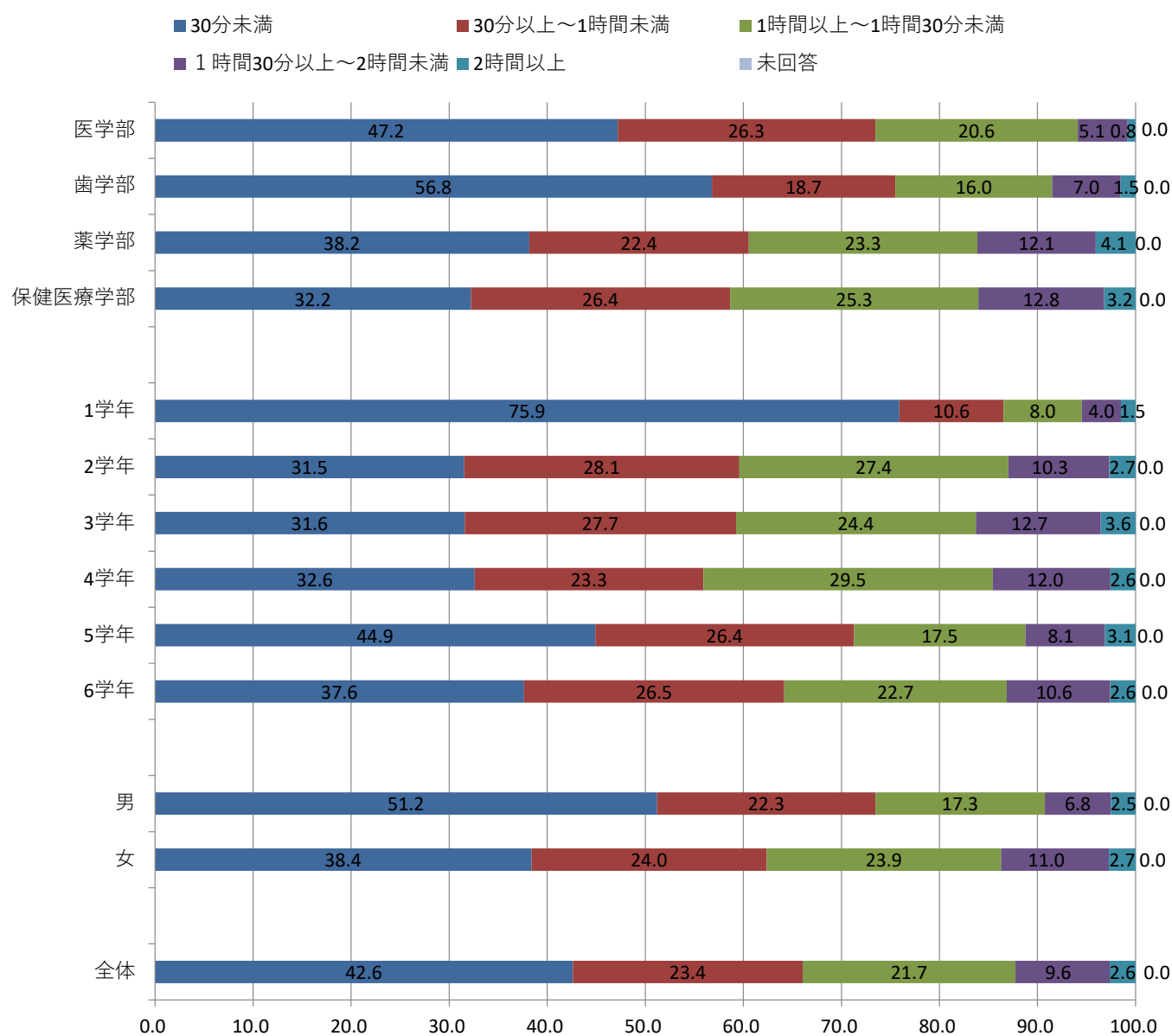


学年が上がるに従い(特に5,6学年)自宅から通う学生数が減少し、賃貸住居や学生会館等の学生が増加する。病院実習や国家試験の勉強が影響していると思われる。

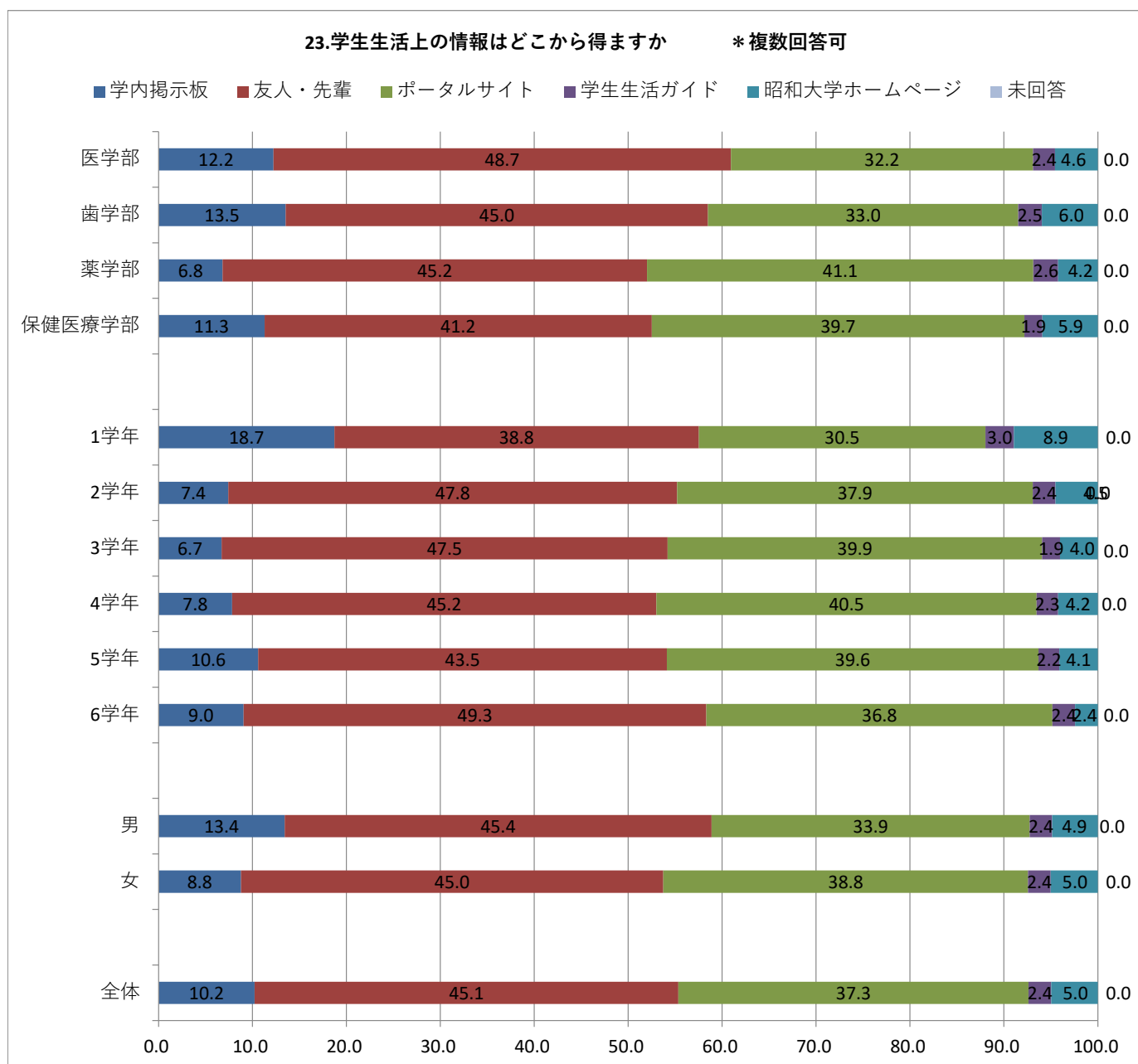


項目20の通り、30%程度の学生が賃貸住居で生活し、徒歩の学生もほぼ同数なので、賃貸住居に住んでいる学生は大学近辺に居住していることが想像できる。学生の約半数が公共交通機関を利用している。

22.通学の片道の所要時間はどの位ですか

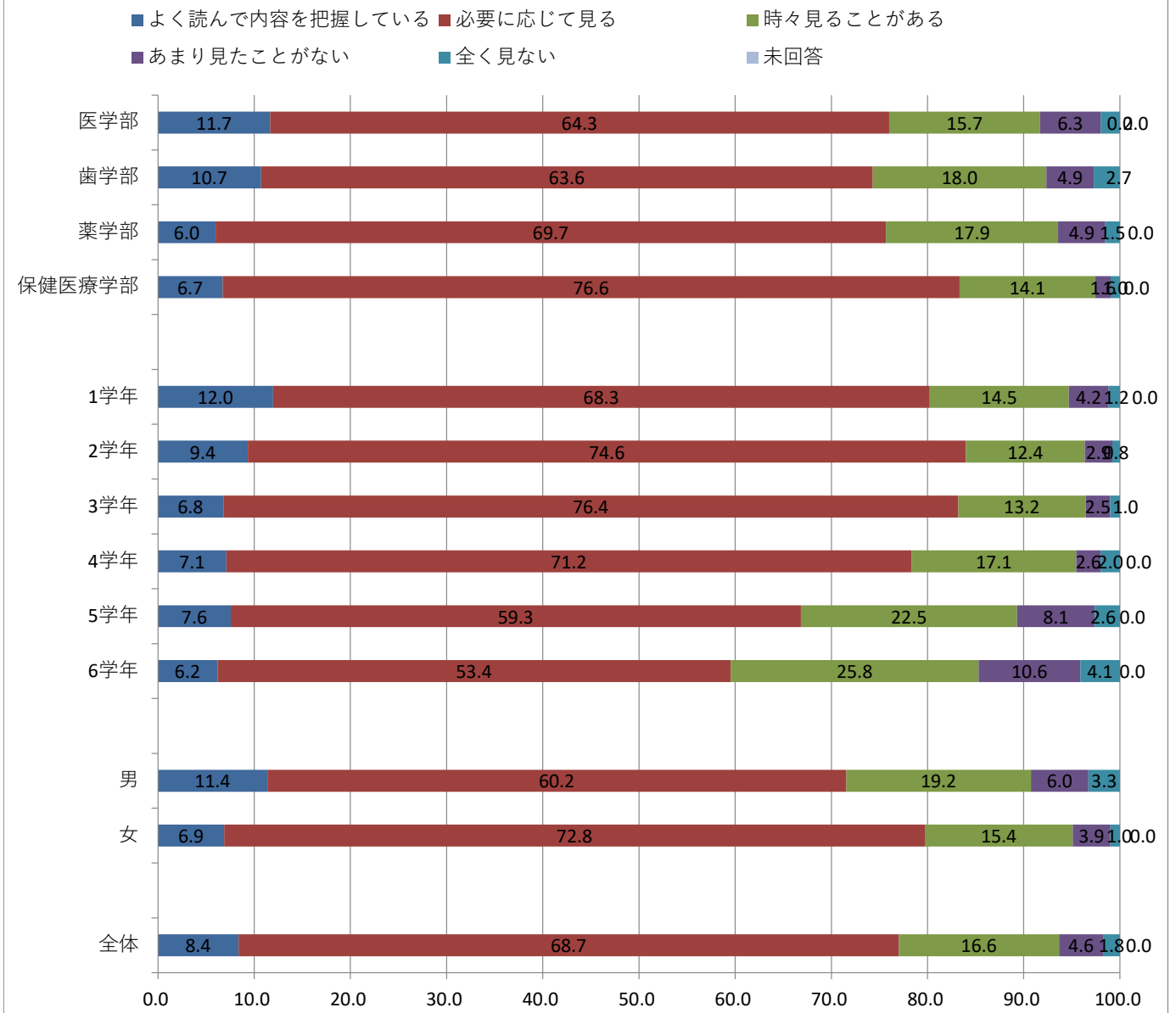


項目21の通り、学年が上がるに従い賃貸住居に居住する学生が増える傾向があるため、通学の所要時間も学年が上がるに従い30分未満の学生の割合が増える傾向にある。また、2時間以上かかる学生の割合は5学年までは減少傾向を示すが、6学年になると2学年と同等にまで増加する。国試勉強のため、生活環境(特に食事や家事等)を家族に頼る学生が増加するためと考えられる。

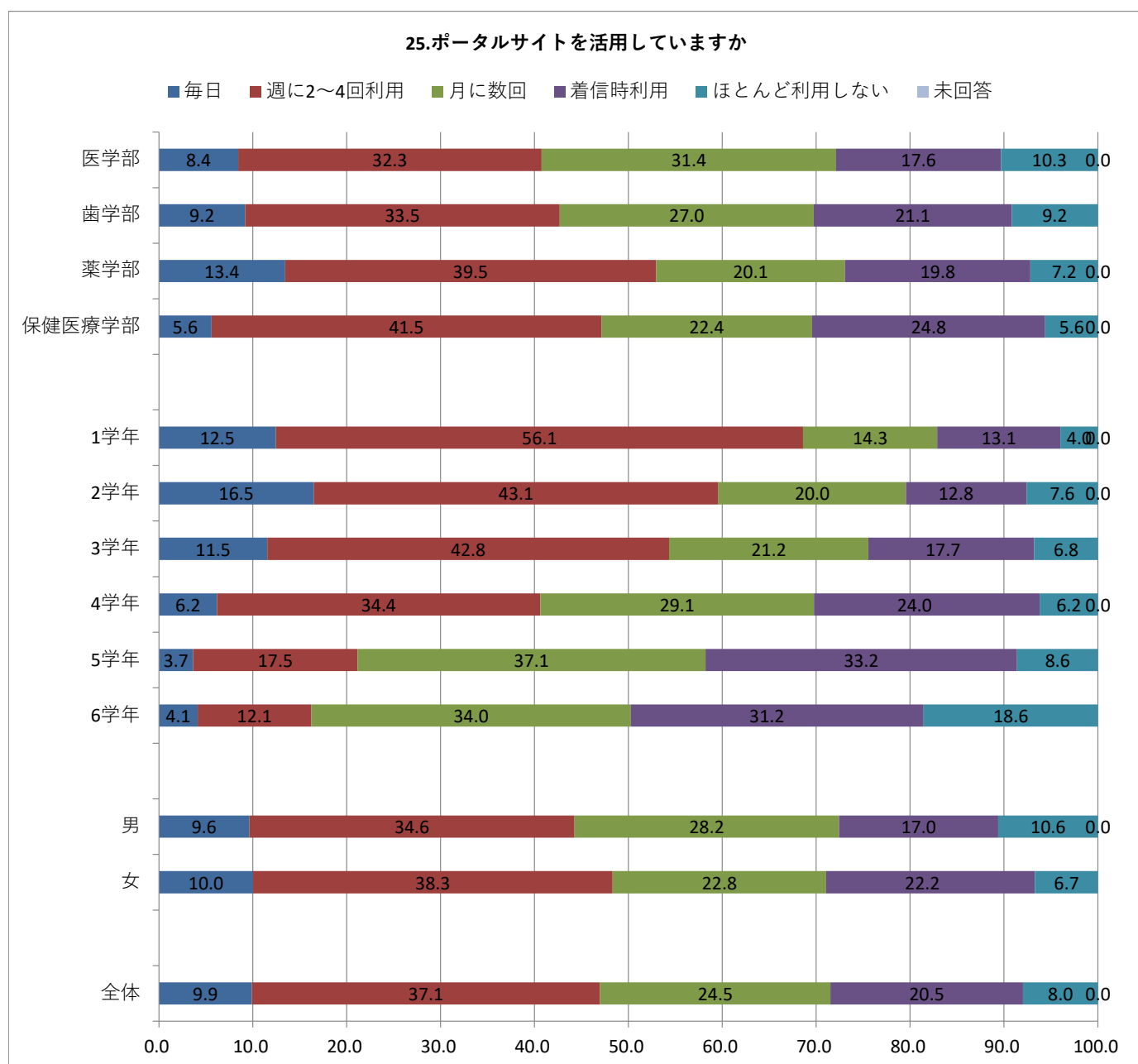


約80%の学生が友人・先輩からの伝言や、ポータルサイトより学生生活上の情報を得ており、掲示板等はあまり見ていない傾向がある。

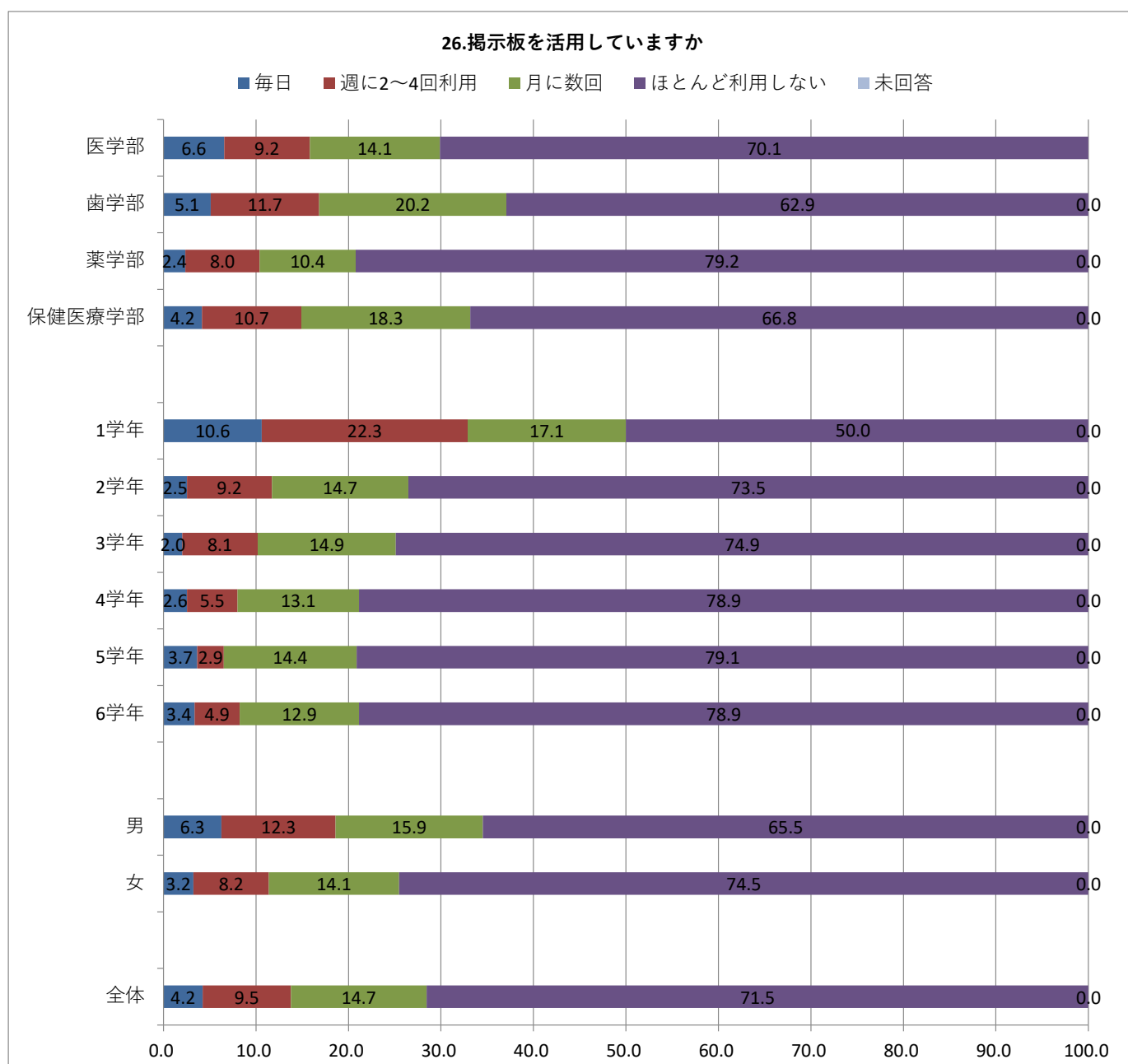
24.シラバスについて



「よく読んで内容を把握している」「必要に応じて見る」「時々見ることもある」という学生が全体では90%を超えるが、6学年になると「あまり見たことがない」「全く見ない」が増加している。



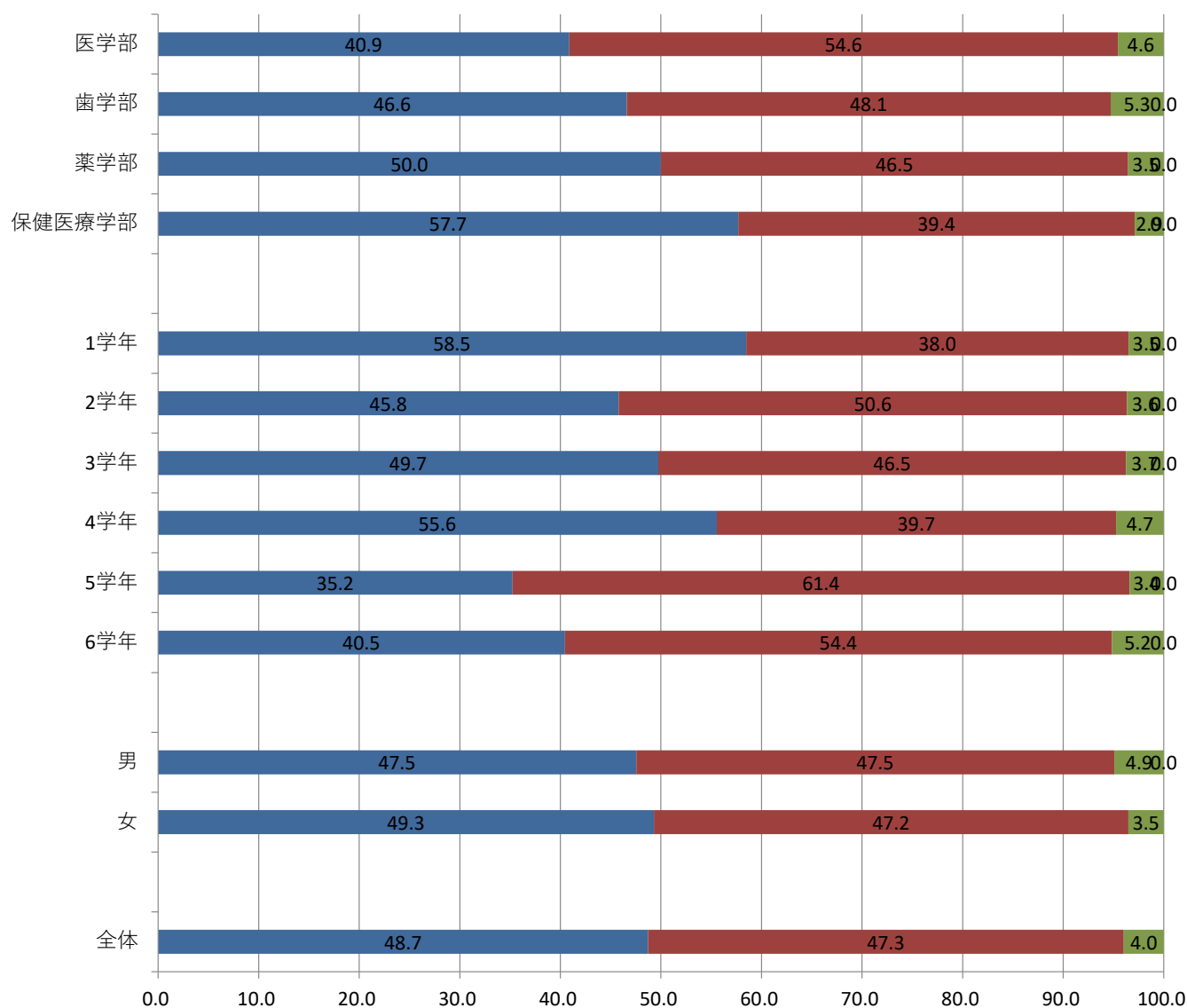
項目24のシラバスと同様、学年が上がるに従い、ポータルサイトを活用する学生が減少している。また、前回調査（令和3年度）と比較し「週に2〜4回利用」が9.7%減少し、「月に数回」が6.4%増加しており、ポータルサイトの情報頻度・量の多さに、学生も見ることが少なくなっていると思われる。



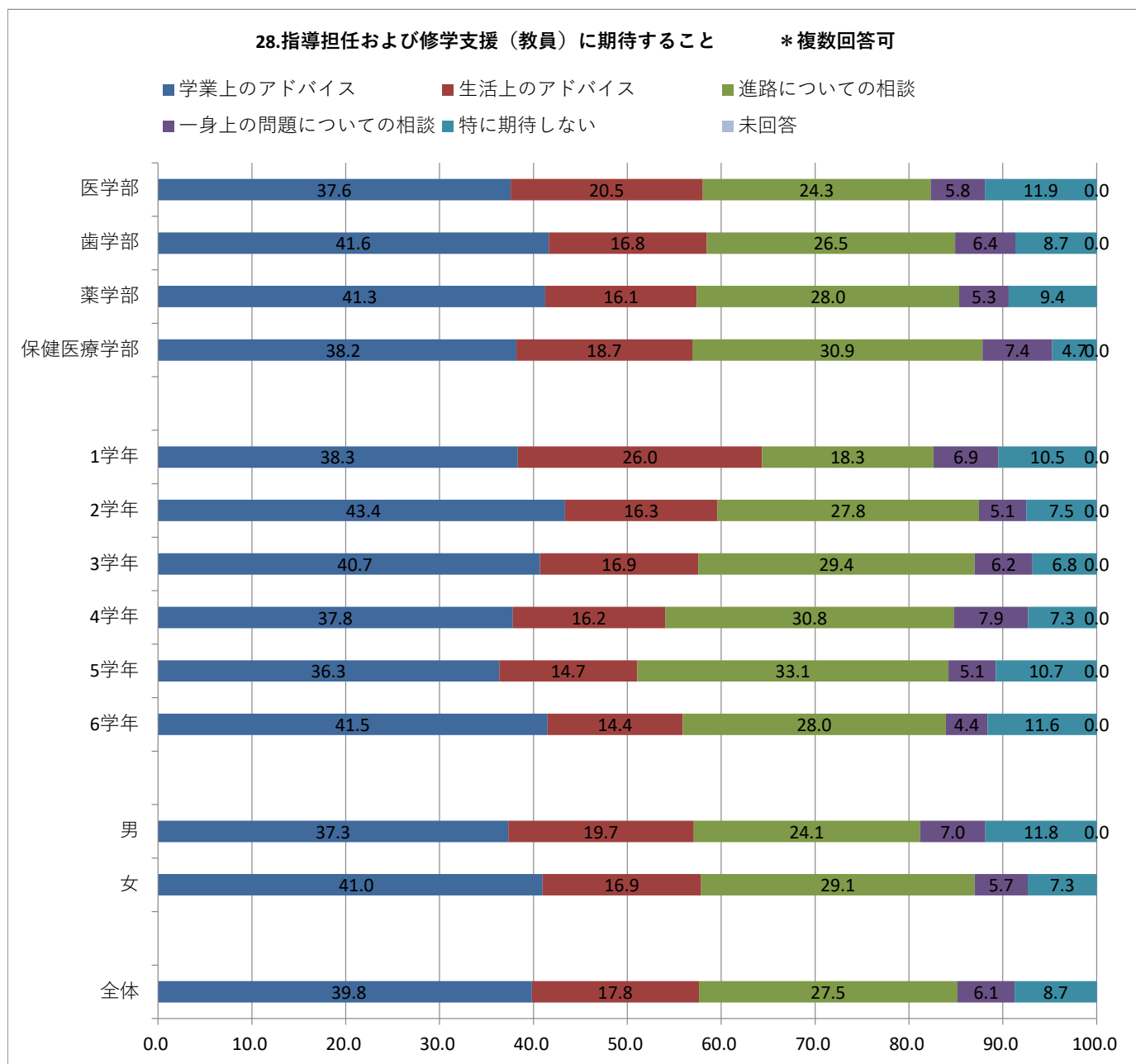
項目25の通り、約70%の学生はほとんど掲示板を見ていない。

27.指導担任および修学支援（教員）はどのような存在ですか

■ 頼れる存在である ■ あまり関わりがない ■ 頼りにならない ■ 未回答

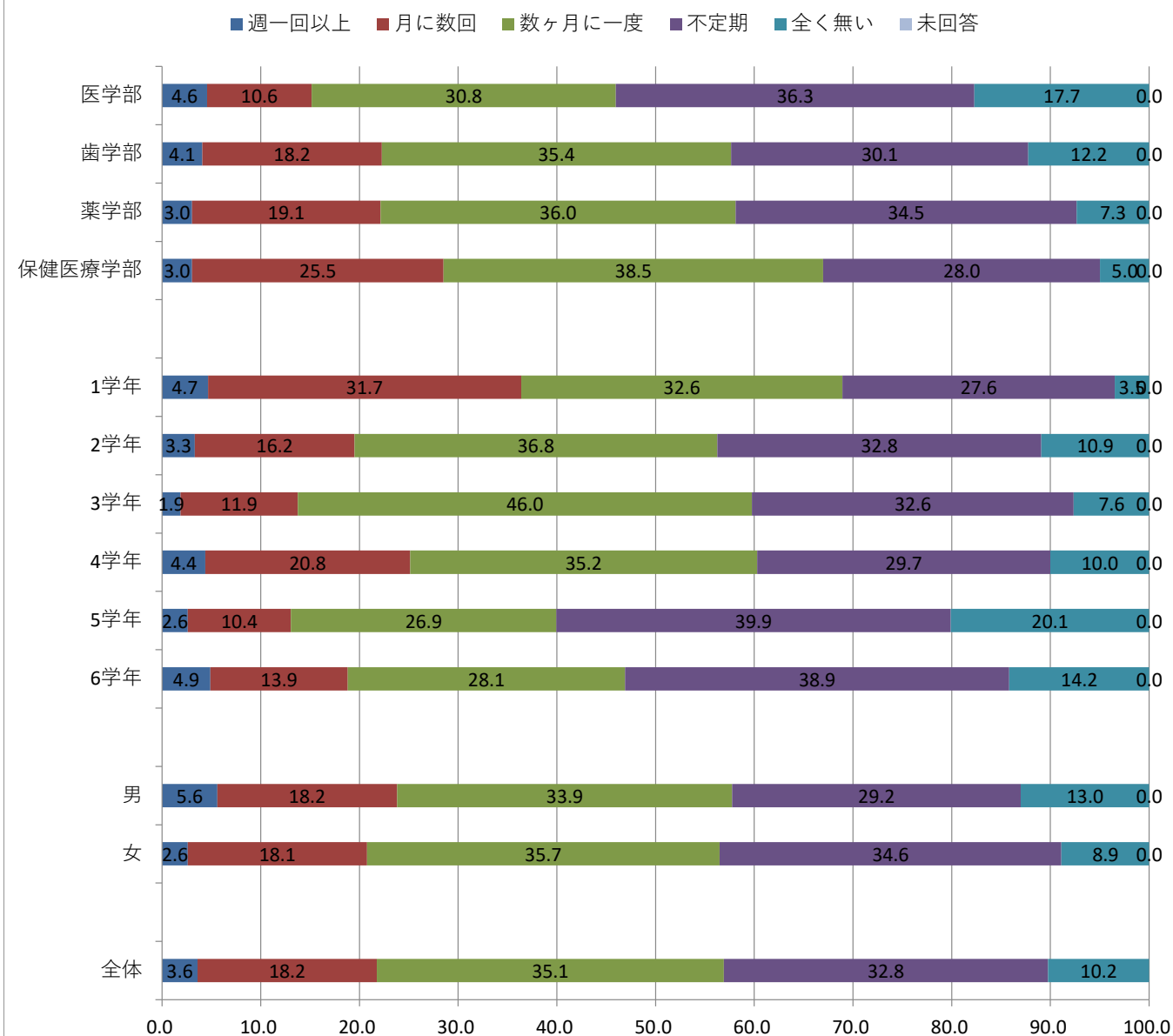


前回調査（令和3年度）と比較し、「頼れる存在である」が48.7%（4.5%増加）しており、CBTが実施される4学年で関わりが多くなる傾向があった。また、1学年が前回と比較し58.5%（6.5%減少）であった。全体で各学部で増加しているが保健医療学部だけが減少している結果であった。

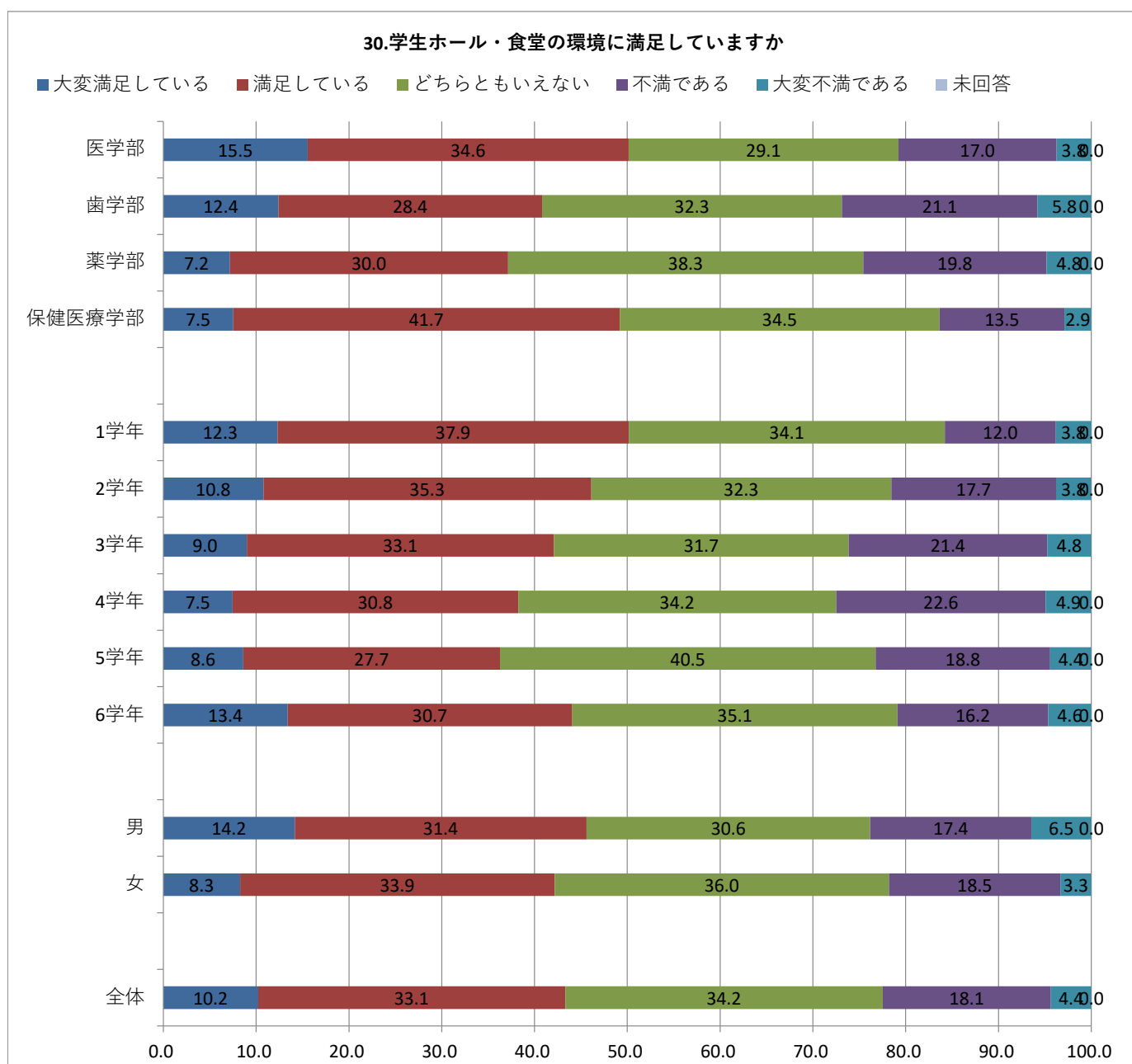


前回調査（令和3年度）と比較し大きな変動はなく、学業上のアドバイスが約40%、続いて進路についての相談が約28%の結果であった。

29.担当の指導担任および修学支援（教員）とどの程度コンタクトを取っていますか

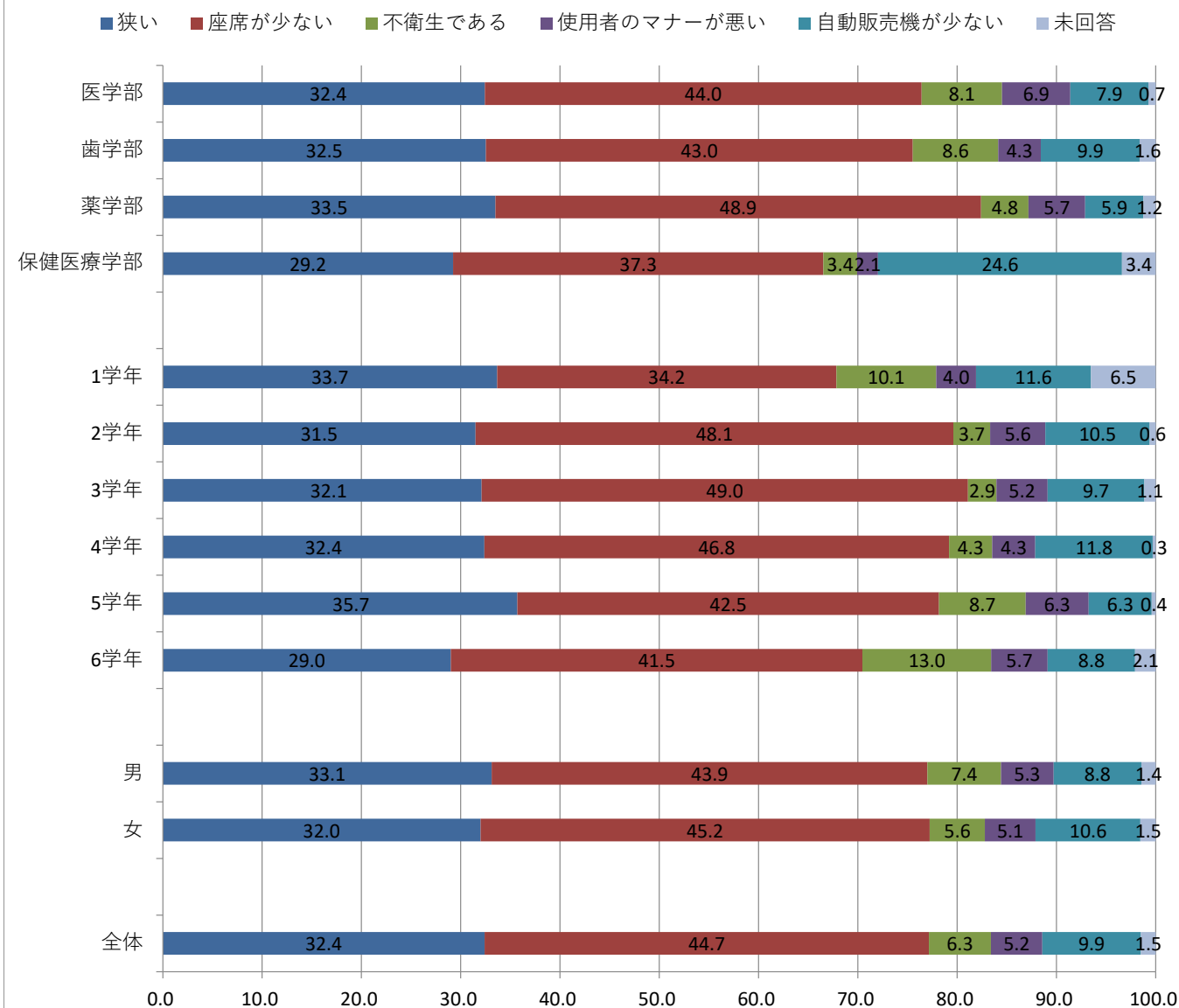


指導担任や修学支援教員と頻繁にコンタクトを取っているのは1学年である。また、前回調査（令和3年度）と比較し全体で「月に数回」が18.2%（3.9%減少）で、「数ヶ月に一度」が35.1（8.9%増加）しており、コンタクトをとる頻度が減少している傾向である。



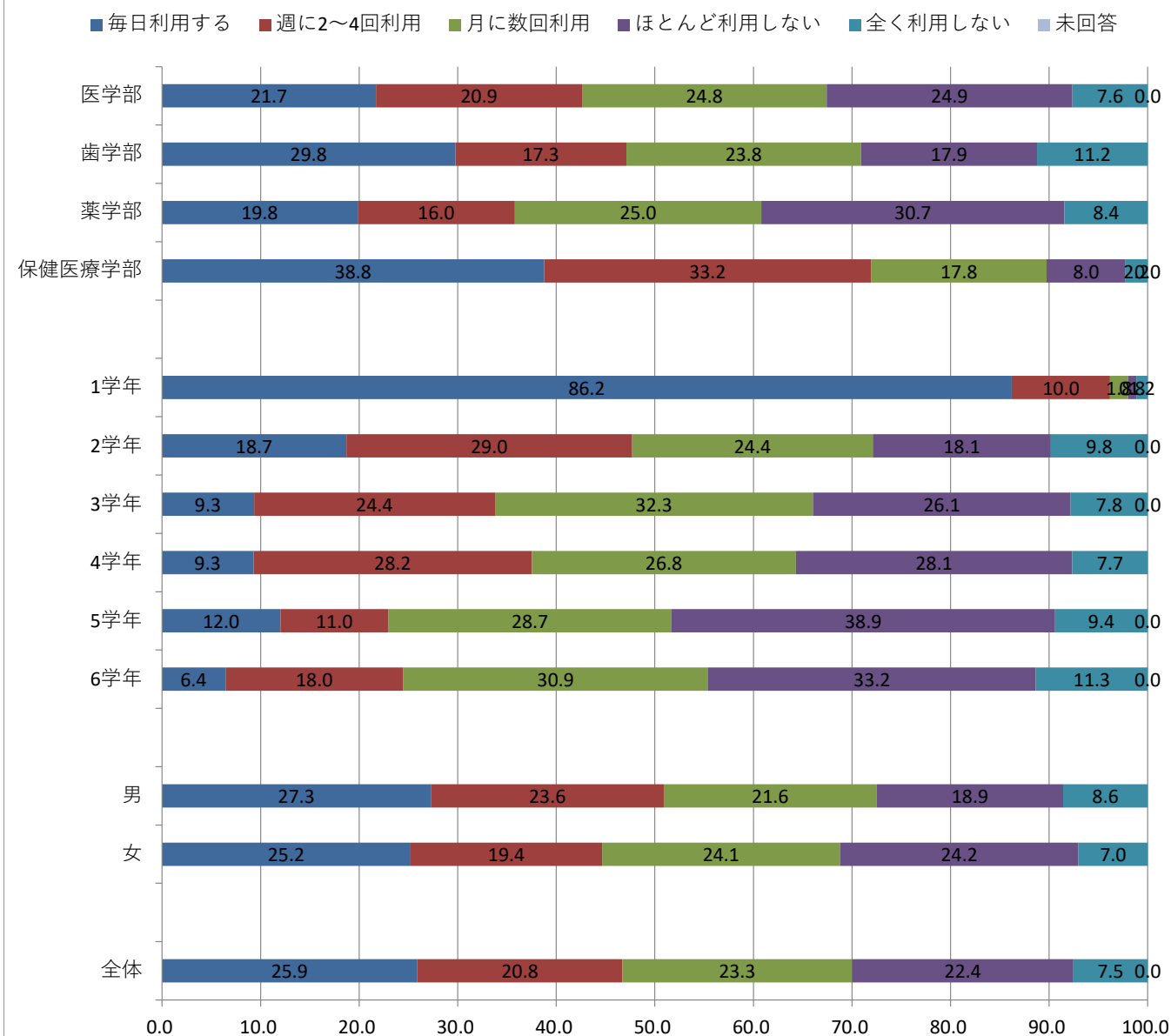
前回調査(令和3年度)と比較し、「大変満足している」、「満足している」の割合は7%増加(37.3%から43.3%)しているが、学生ホールに多少なりとも満足している学生は40%たらずで、残りはあまり満足はしていないような傾向がある。

31. 「30」で「不満である」「大変不満である」と答えた方に質問します。学生ホール・食堂に不満を持っている理由は何ですか *複数回答可



今後、記述式で回答してもらい学生の目線で改善箇所や希望を調査したい。

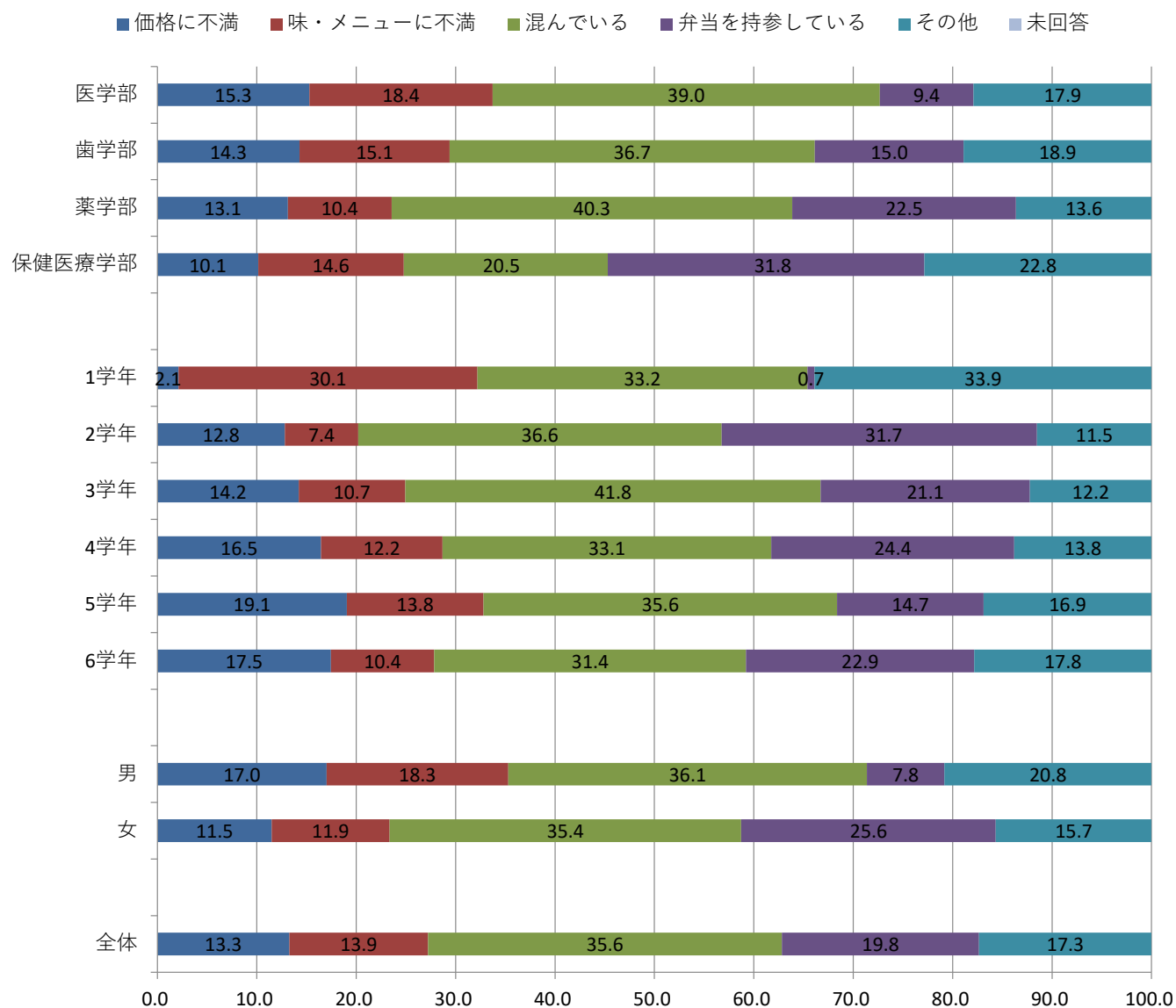
32.学生ホール・食堂の利用状況について



学生ホール・食堂の利用状況は、「ほとんど利用しない」「全く利用しない」を合わせると全体で45.7%と半数近くある傾向であった。

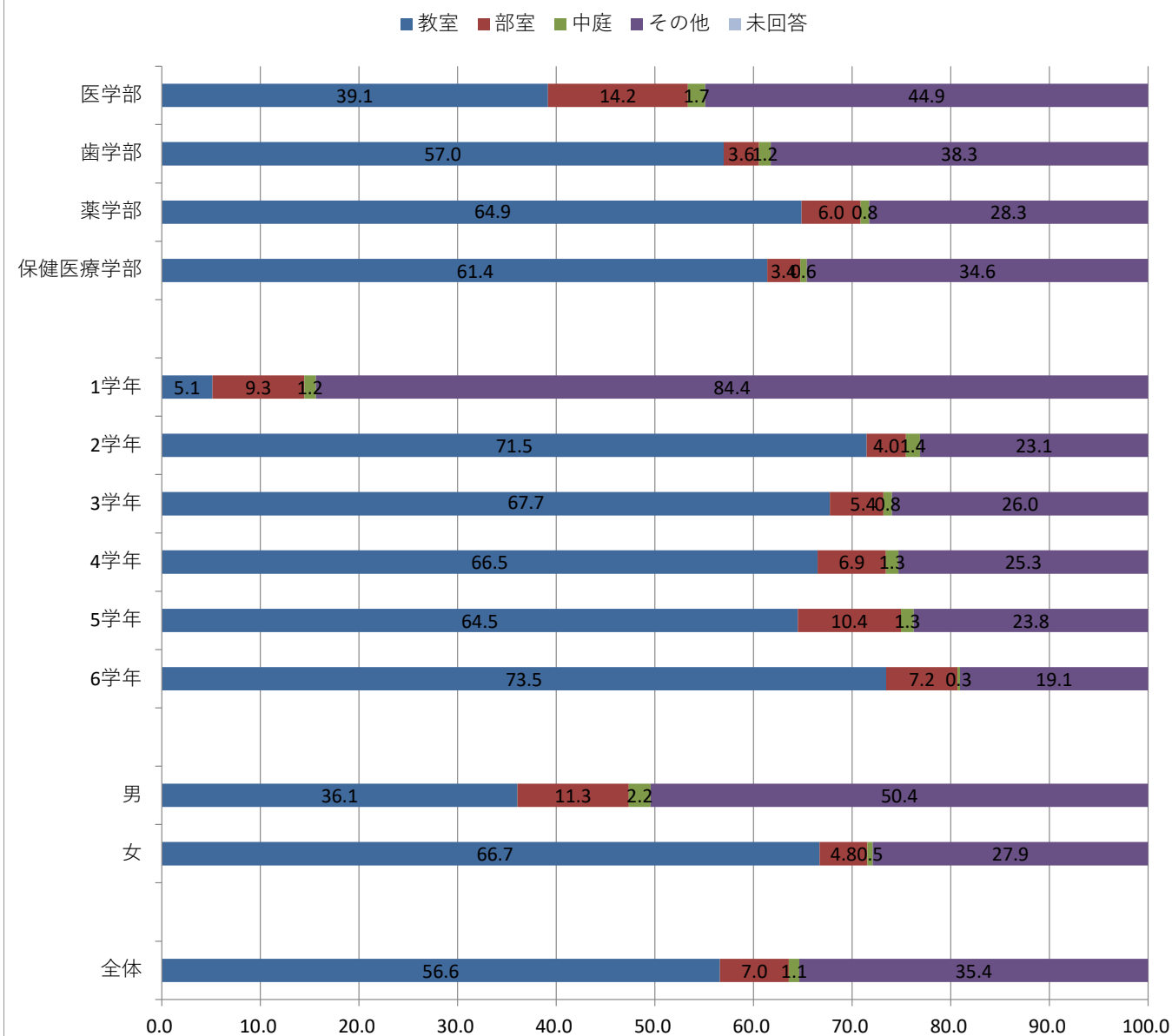
33.学生ホール・食堂を利用しない理由について

*複数回答可

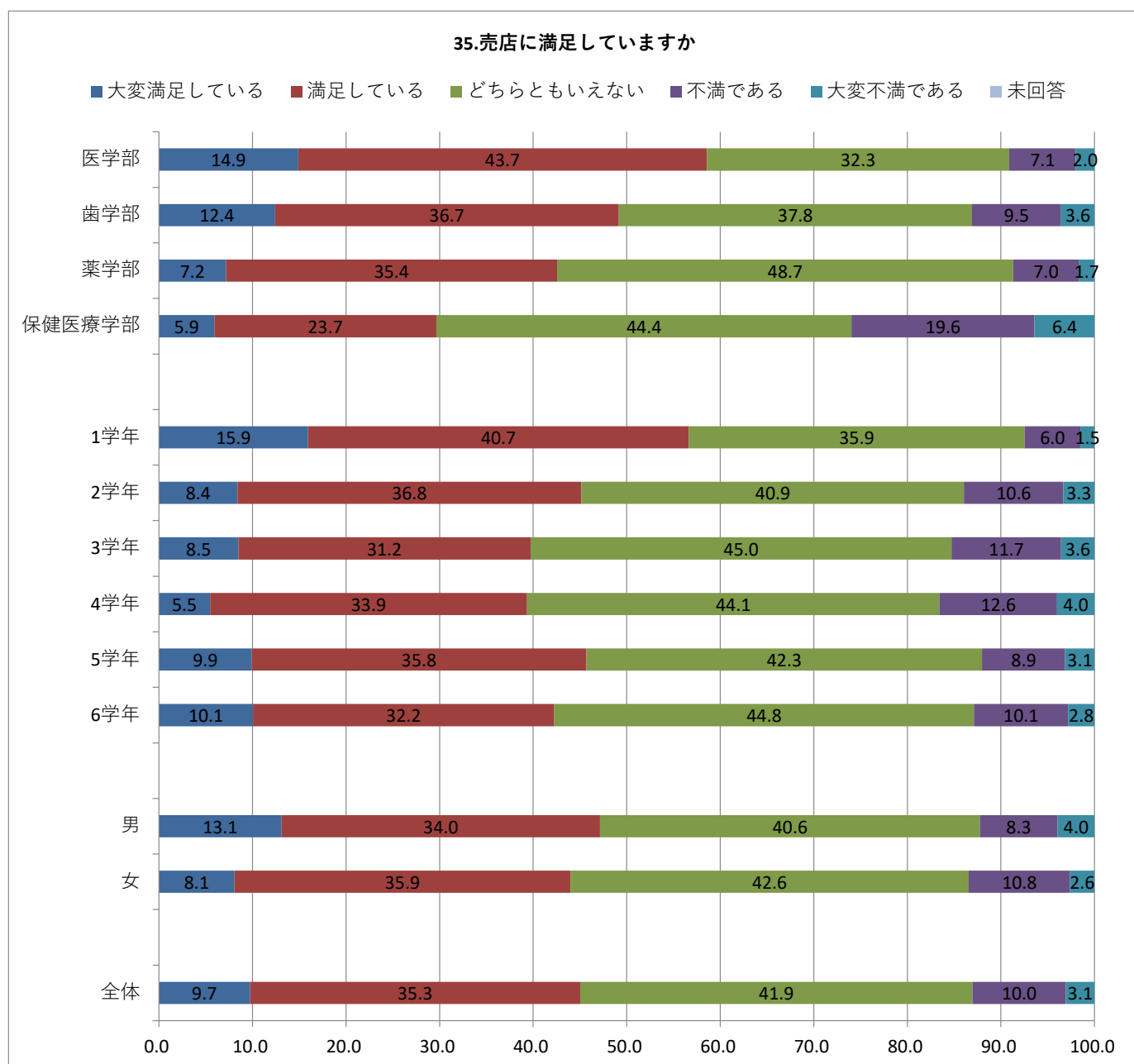


学生ホール・食堂を利用しない理由として、保健医療学部は「弁当を持参している」31.8%であり、他の3学部(旗の台キャンパス)は「弁当を持参している」10~20%であり、校舎の立地やキッチンカー利用などや食堂の運営方法などが影響していると思われる。

34.学生ホール・食堂以外での昼食をとる場所について

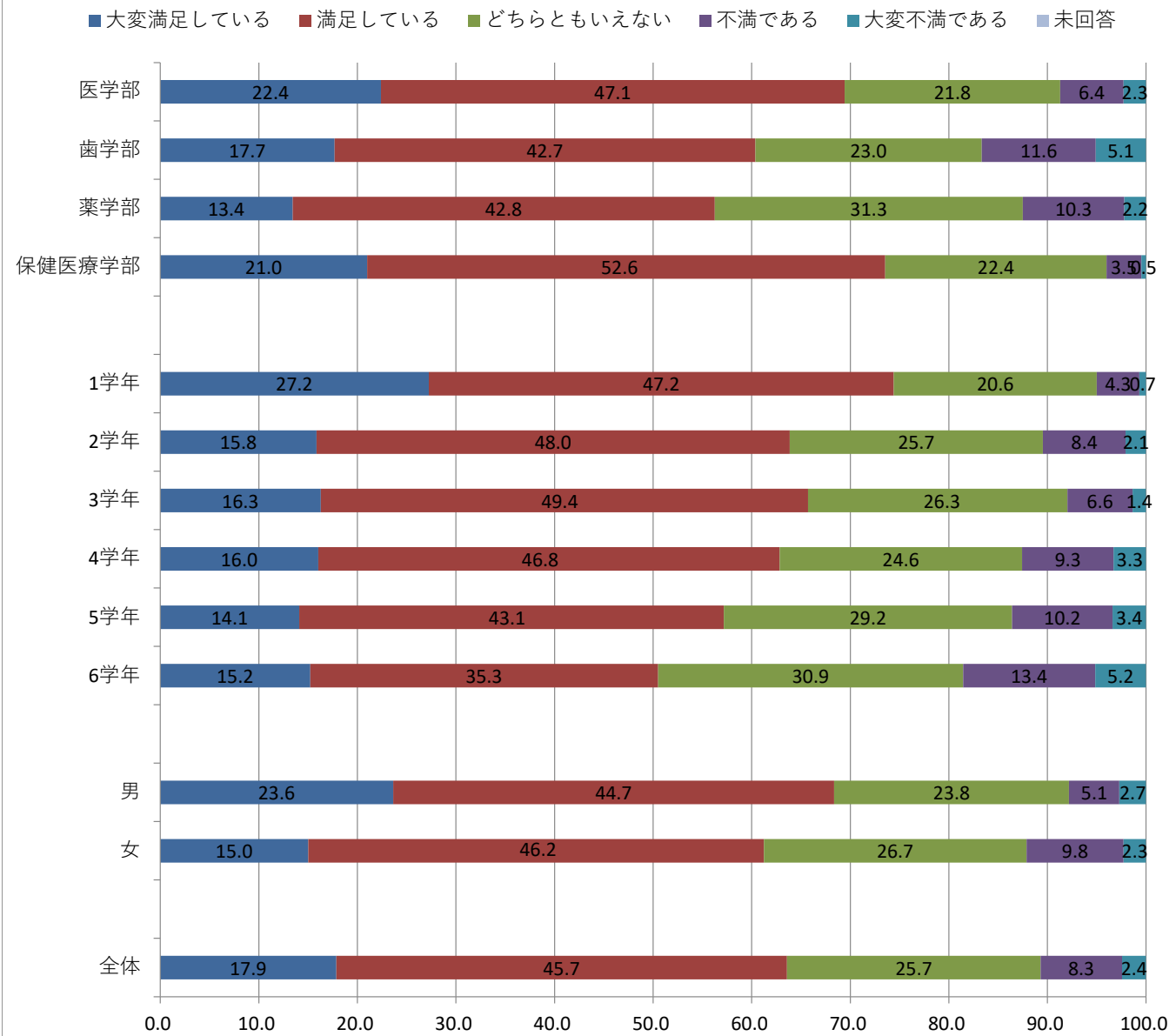


学生ホール・食堂以外で昼食をとる場所は、各学部とも教室が多く、コロナ渦でマスク会食が長く続いていたこともあり、現在でも昼食を教室で食べている傾向にあった。



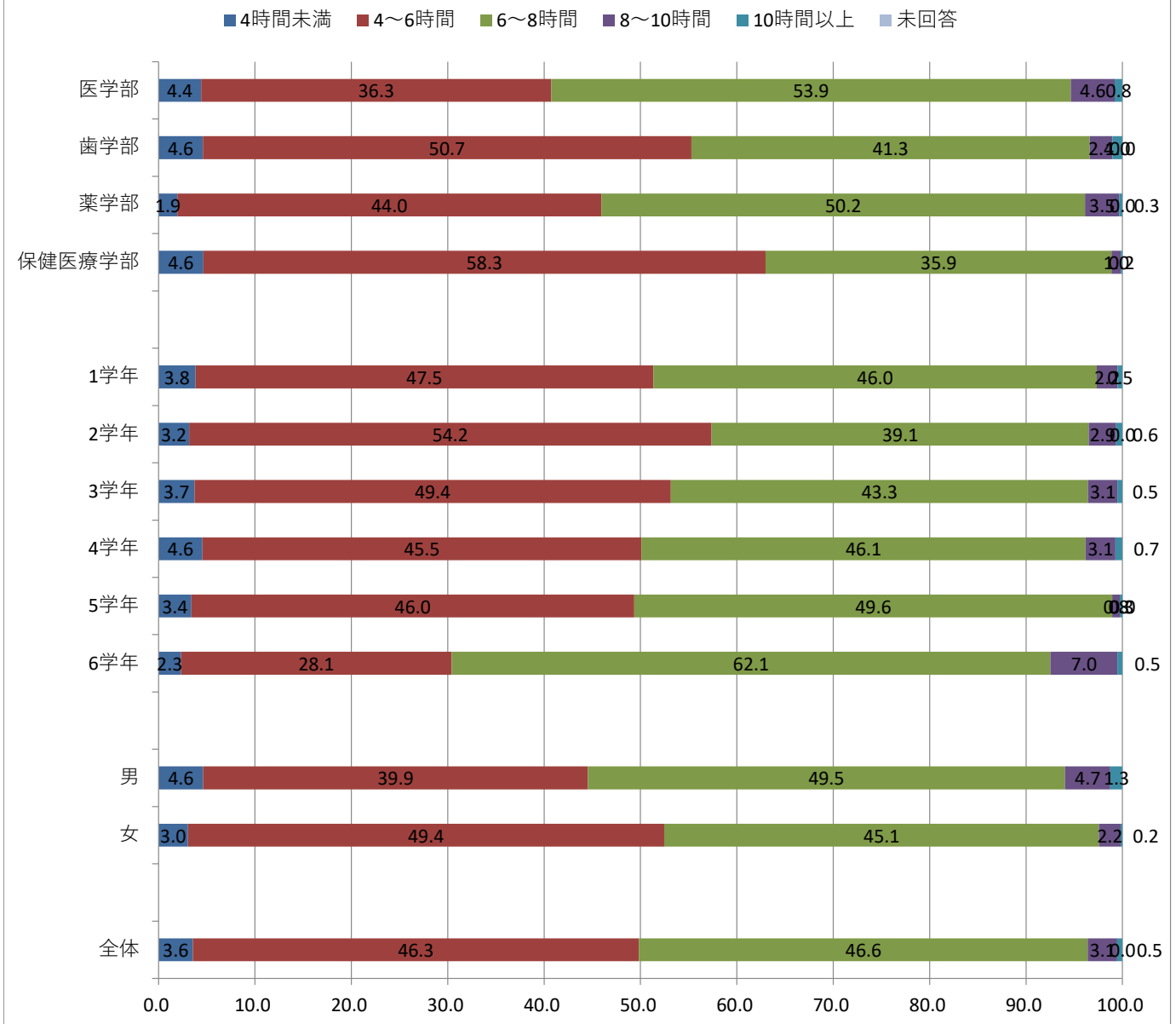
売店に対する満足度は、「大変満足している」「満足している」を合わせると全体で45%であり、前回調査(令和3年度)と比較し約5%減少していた。キャッシュレス決済が使用できないことに不満に感じている学生の声があった。

36.トイレの設備に満足していますか



トイレの設備に関しては全体で「大変満足している」「満足している」を合わせると63%であり、「不満である」が25.7%であり、校舎の老朽化等の影響が考えられる。

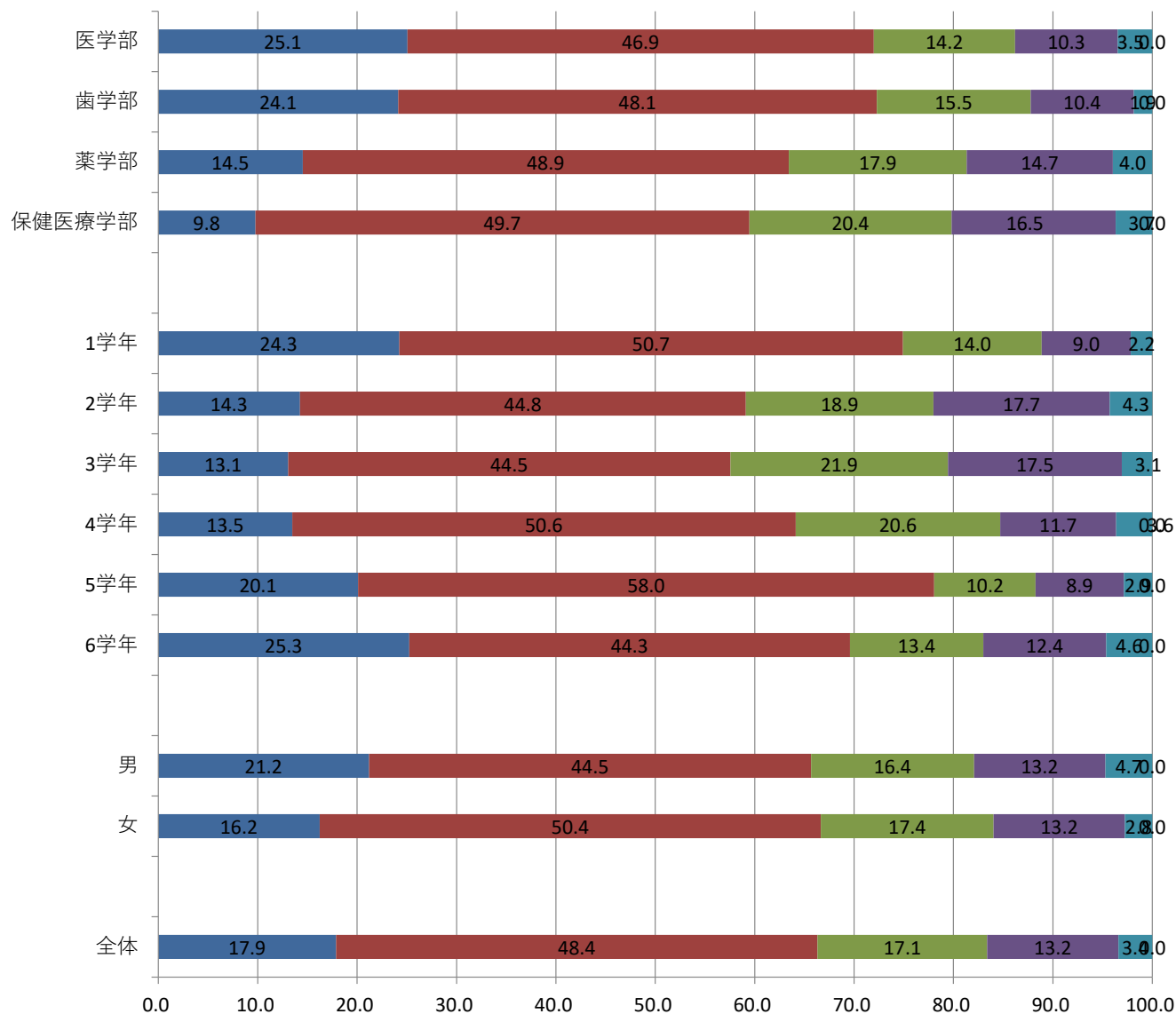
37. 1日の平均睡眠時間はどの位ですか



1日の睡眠時間は、前回調査(令和3年度)では「4～6時間」が全体で40.4%で46.3%と5.9%増加しており、3学部では約5%～8%に対し、歯学部が約15%増加している傾向であった。

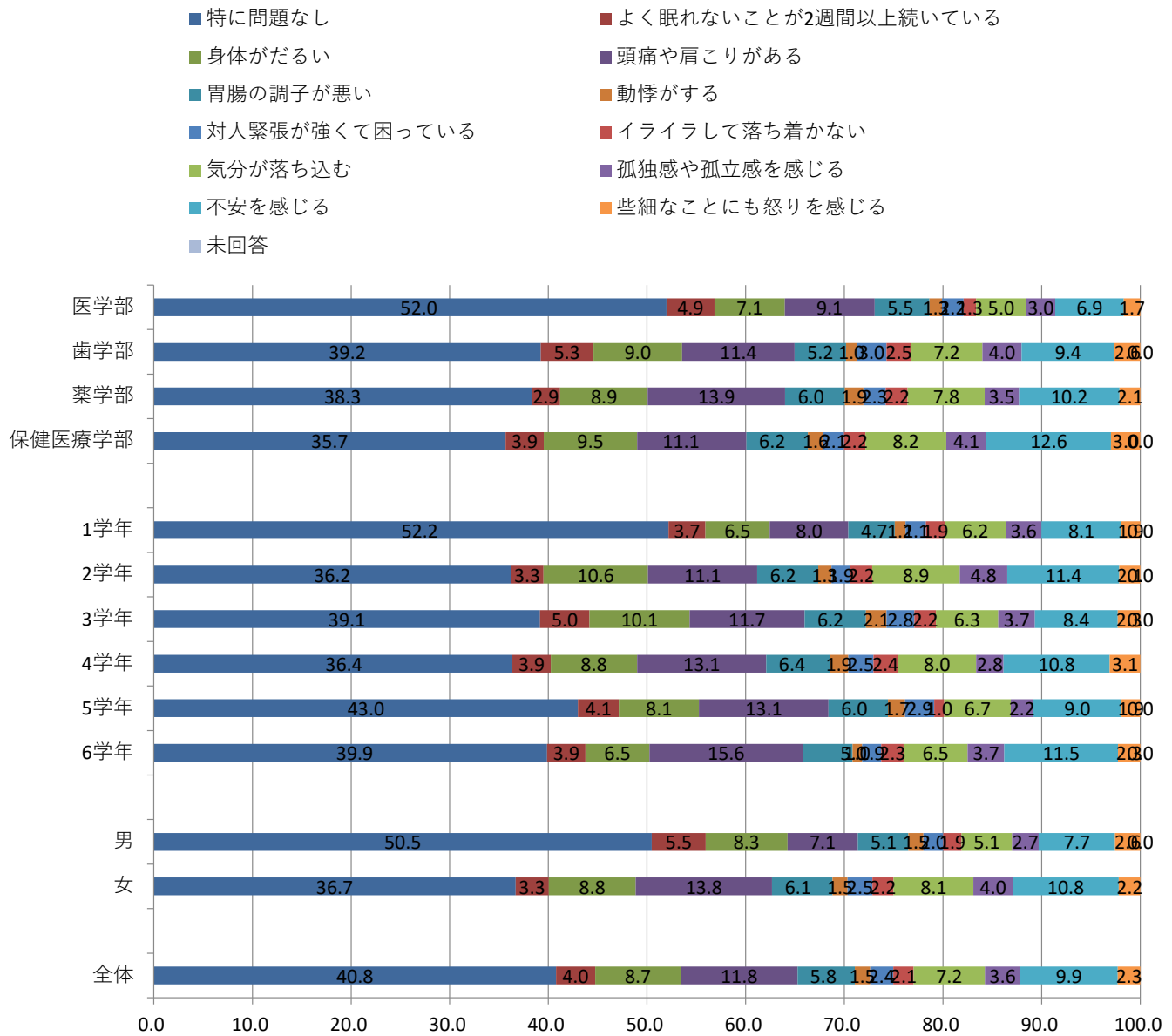
38.規則正しい生活が送れていますか

■送れている ■まあまあ送れている ■どちらともいえない ■あまり送れていない ■送れていない ■未回答



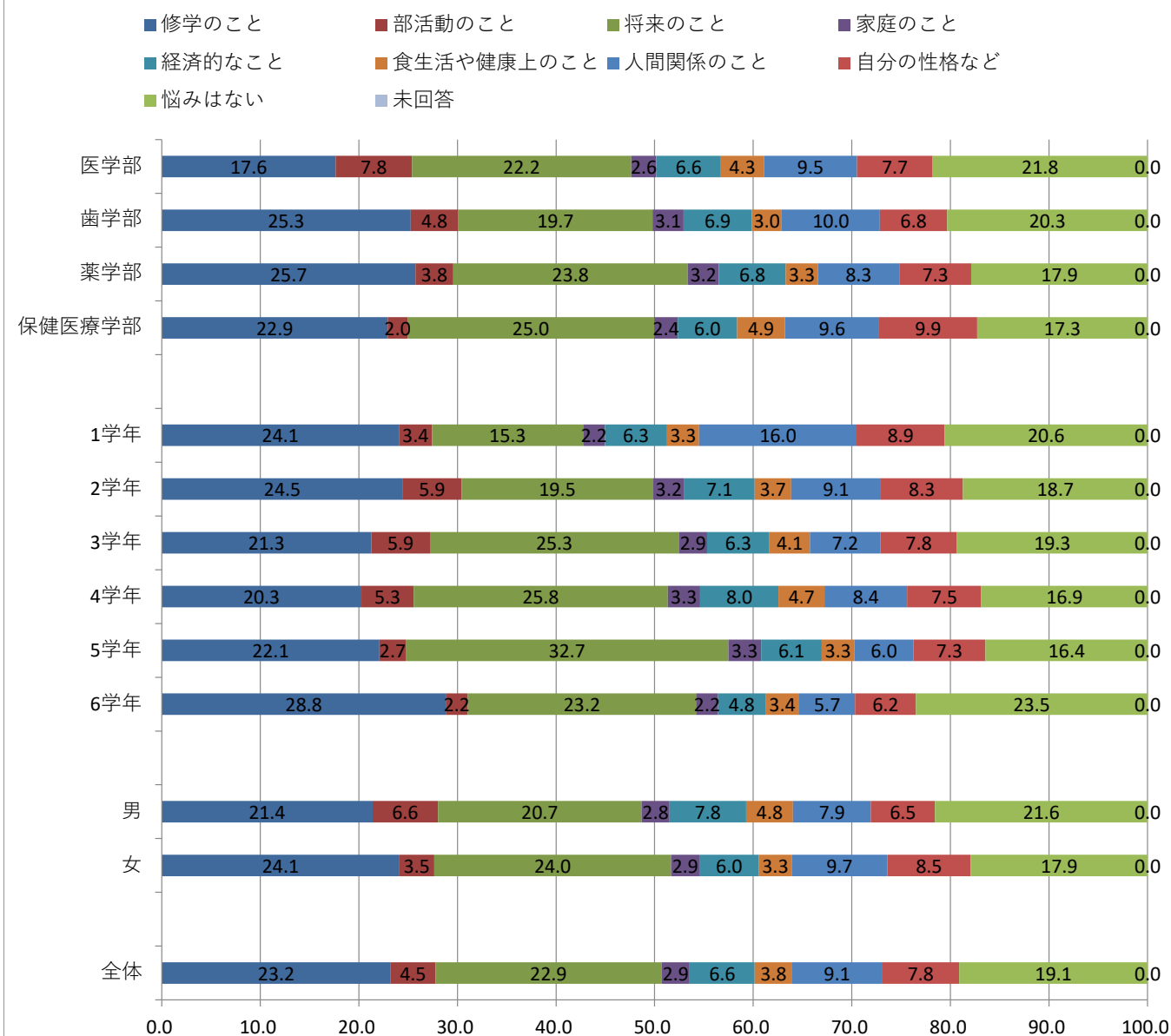
規則正しい生活が送れているかについて、「送れている」「まあまあ送れている」を合わせると全体で約65%であり、前回調査(令和3年度)と大きな変化はなかった。一方で4学年で「送れている」割合が前回より8.5%減少しており、これらの学年に対する指導が必要と思われる。

39.現在の健康状態はどうか *複数回答可



現在の健康状態について「特に問題なし」と回答し、前回調査(令和3年度)と比較すると、女子が40.0%から36.7%(3.3%減少)、男子が57.8%から50.5%(7.3%減少)している結果であった。また、「孤独感や孤立感を感じる」割合が増加傾向であった。

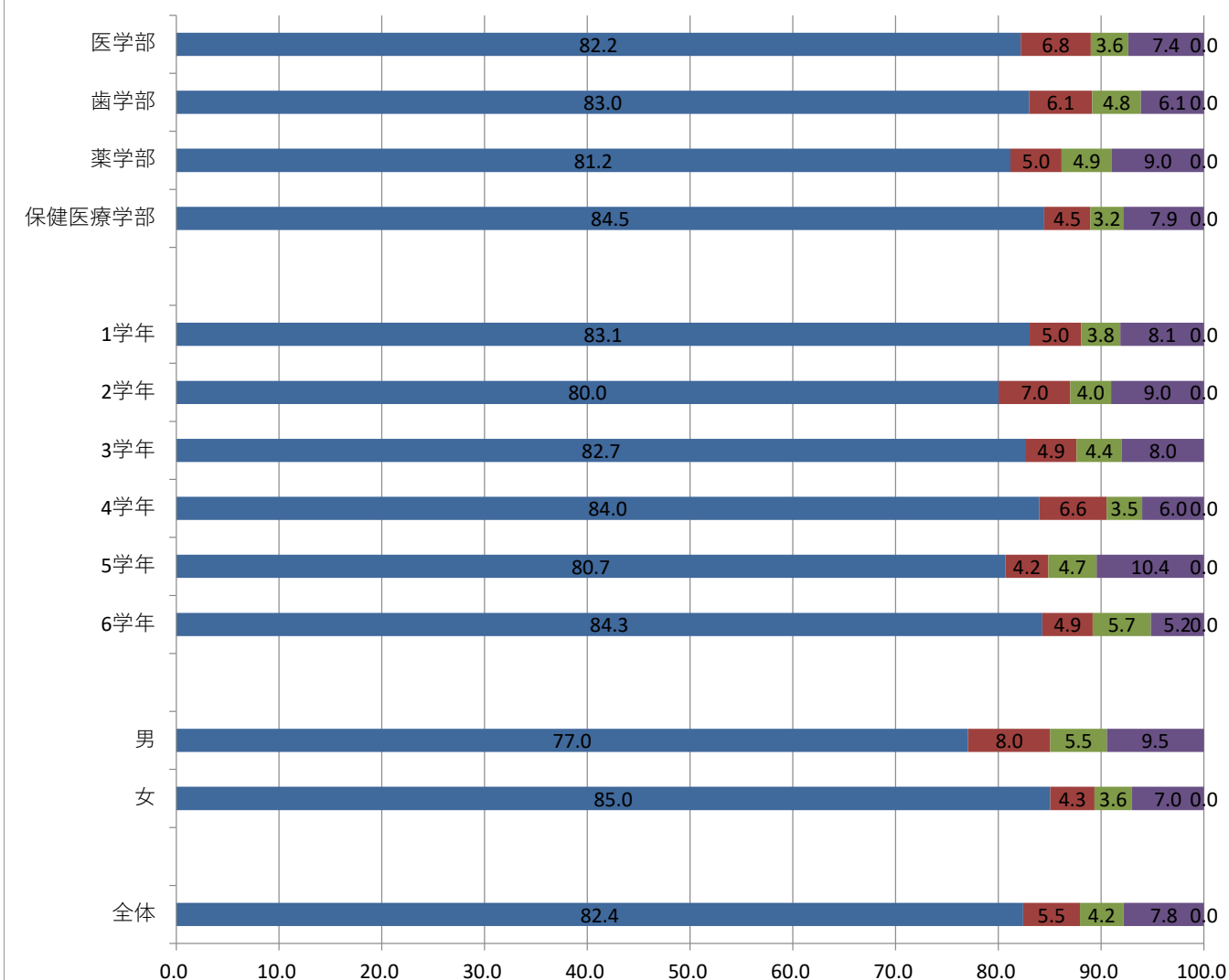
40. 学生生活の中で悩みがありますか *複数回答可



学生生活の中での悩みについて、前回調査(令和3年度)と比較し「悩みはない」と回答したのは13.6%から19.1%と増加していた。特に「修学のこと(23.2%)」「将来のこと(22.9%)」に関する悩みが多く、「人間関係のこと(9.1%)」「自分の性格など(7.8%)」の悩みもみられた。

41.悩みごと・困りごとがあった時に相談できる人はいですか

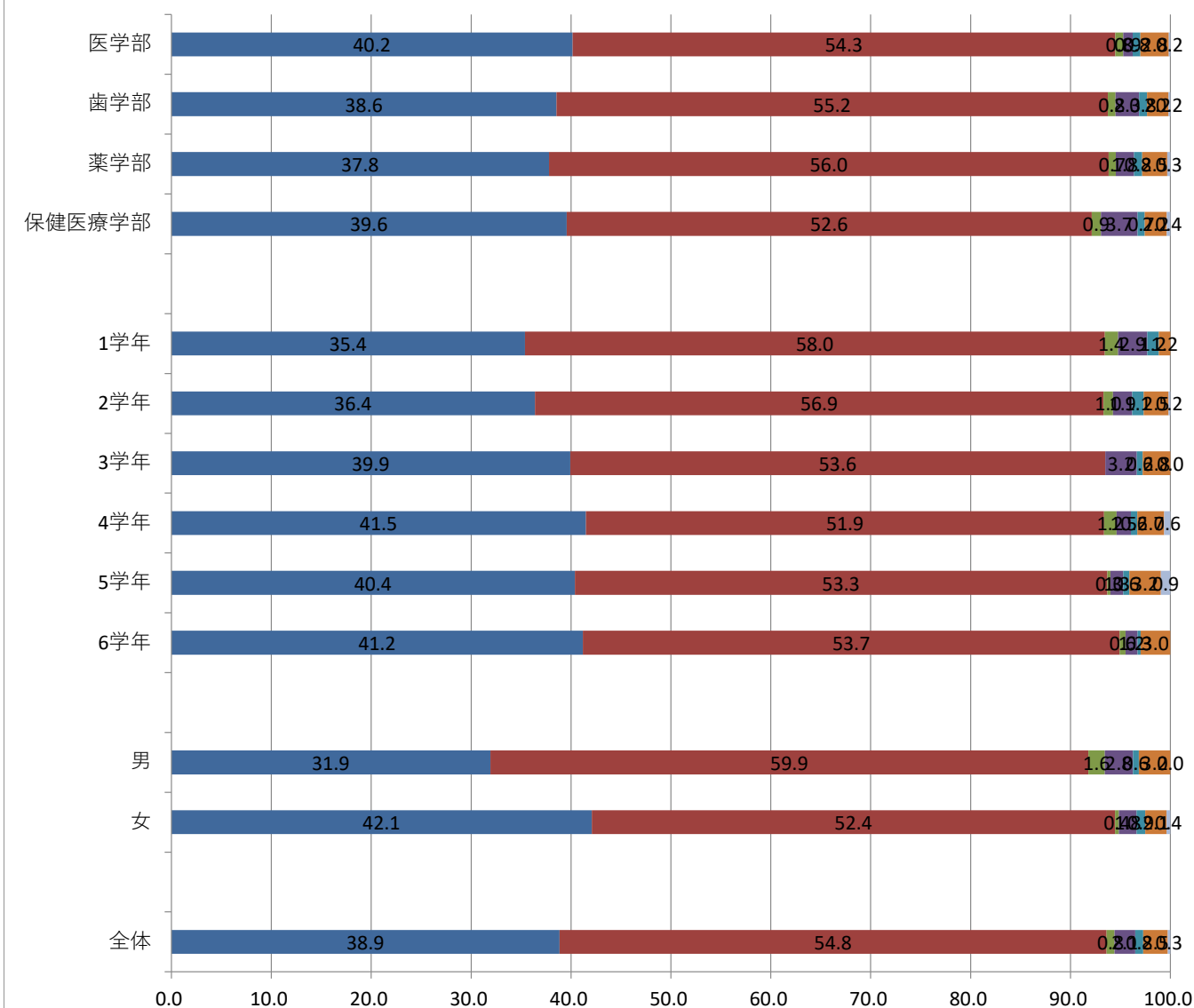
■ いる ■ いないが欲しい ■ いないが欲しいと思わない ■ どちらともいえない ■ 未回答



悩みごと・困りごとがあった時に、「相談できる人がある」と回答した学生は82.4%であり、前回調査(令和3年度)と比較すると、1.7%増加していた。しかし、「いないが欲しいとは思わない」も4.2%おり、これらの学生の悩みにいち早く気づいてあげることが重要と思われる。

42. 「41」で「いる」を選んだ場合、困りごとを相談できる相手はどんな人ですか

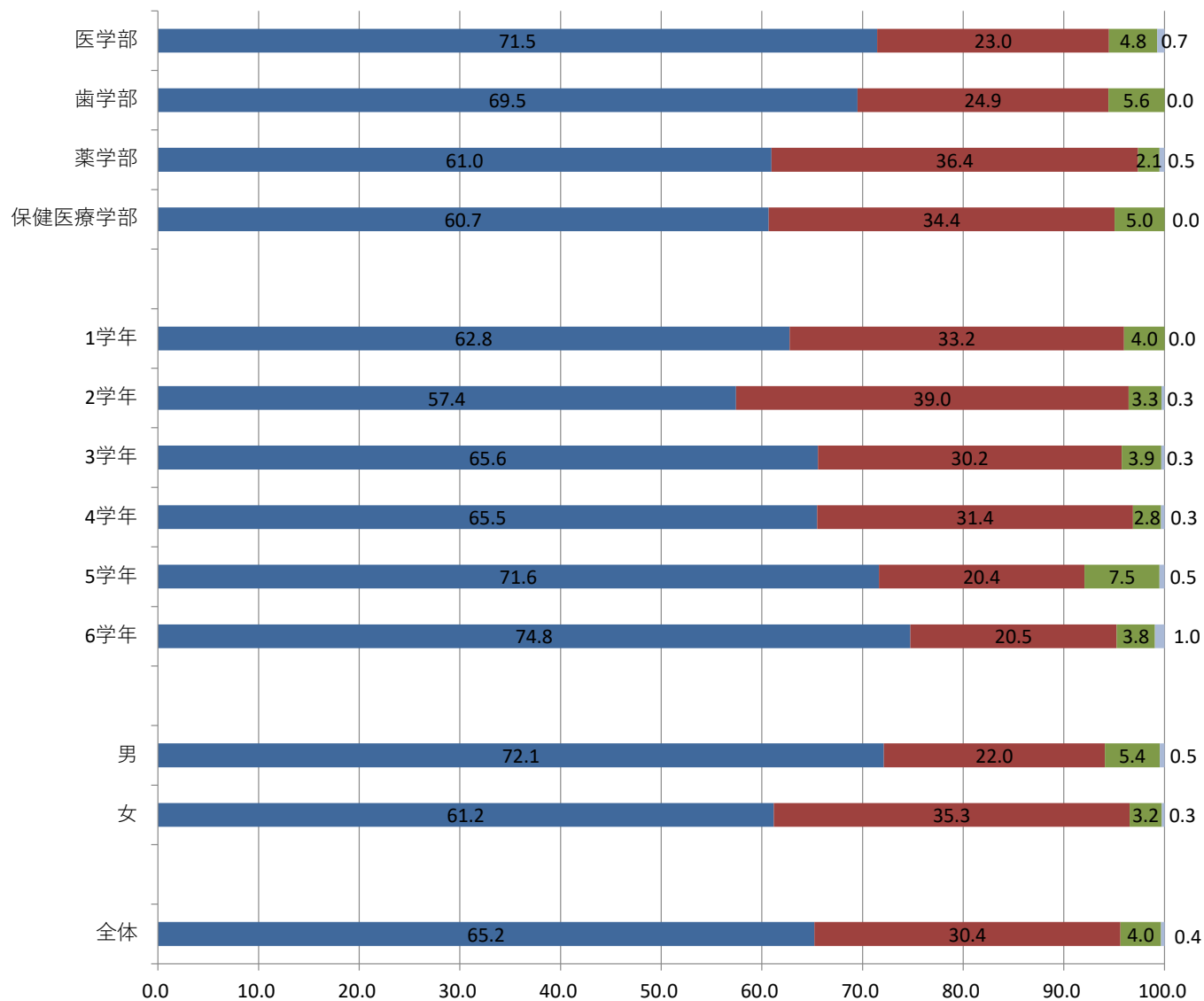
■ 家族 ■ 友人 ■ SNS ■ 指導担任 ■ 学生相談室のカウンセラー ■ その他 ■ 未回答



困りごとを相談できる相手は家族と友人を合わせて93%で、指導担任は2.1%と非常に少なかった。今後、より一層、指導担任がきめ細かな指導をすることが必要である。

43.「42」で「友人」を選んだ場合、いつの友人が多いですか

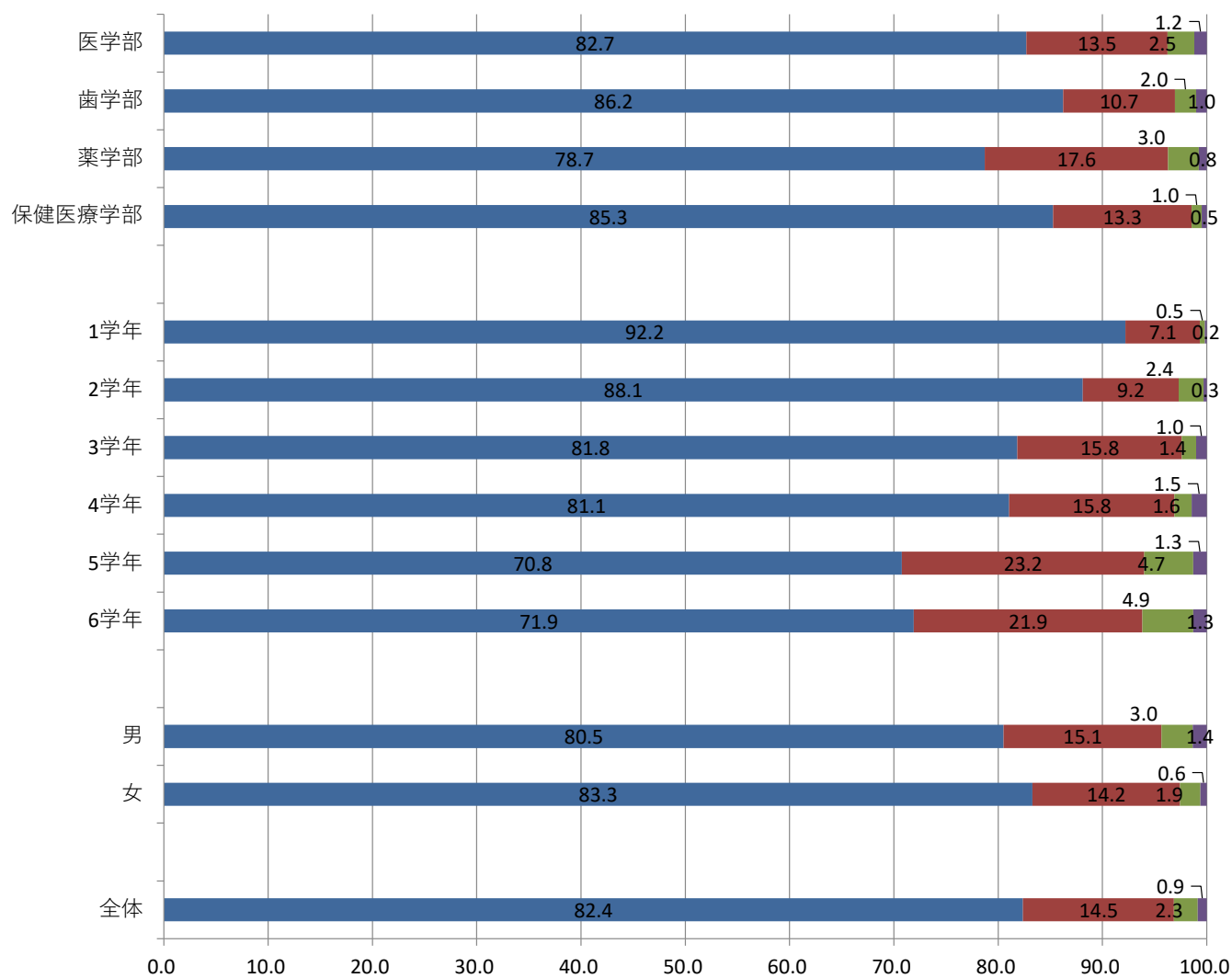
■ 大学入学後の友人 ■ 高校までの友人 ■ その他 ■ 未回答



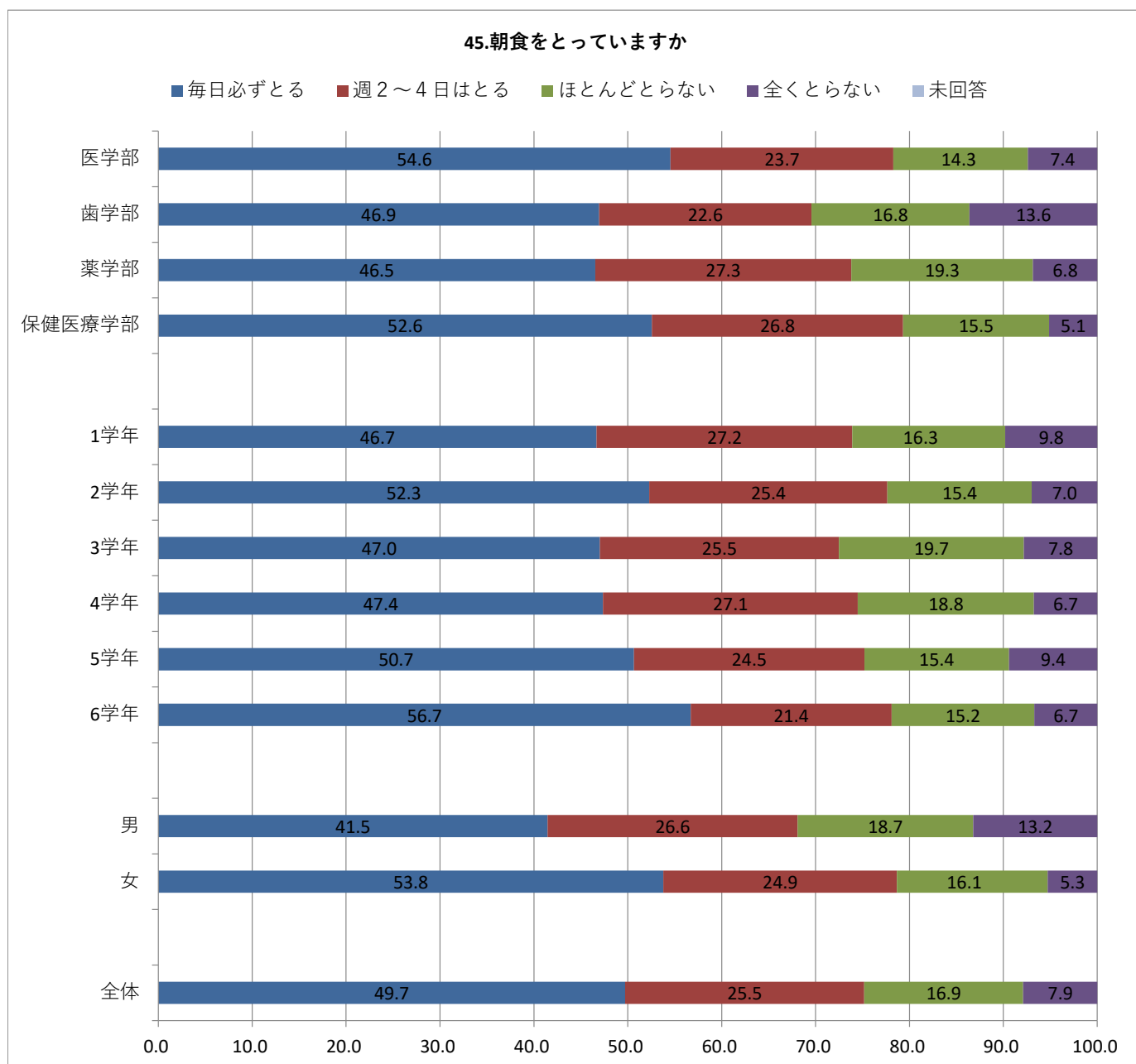
困りごとを相談できる友人は、「高校までの友人(30.4%(4.8%減少))」に比べて、「大学入学後の友人(65.2%(3.2%増加))」の方が多かった。大学生活を送っていくうえでよりよい友人関係を築き上げていることがわかった。

44.同級生や友人とコミュニケーションが取れていると感じますか

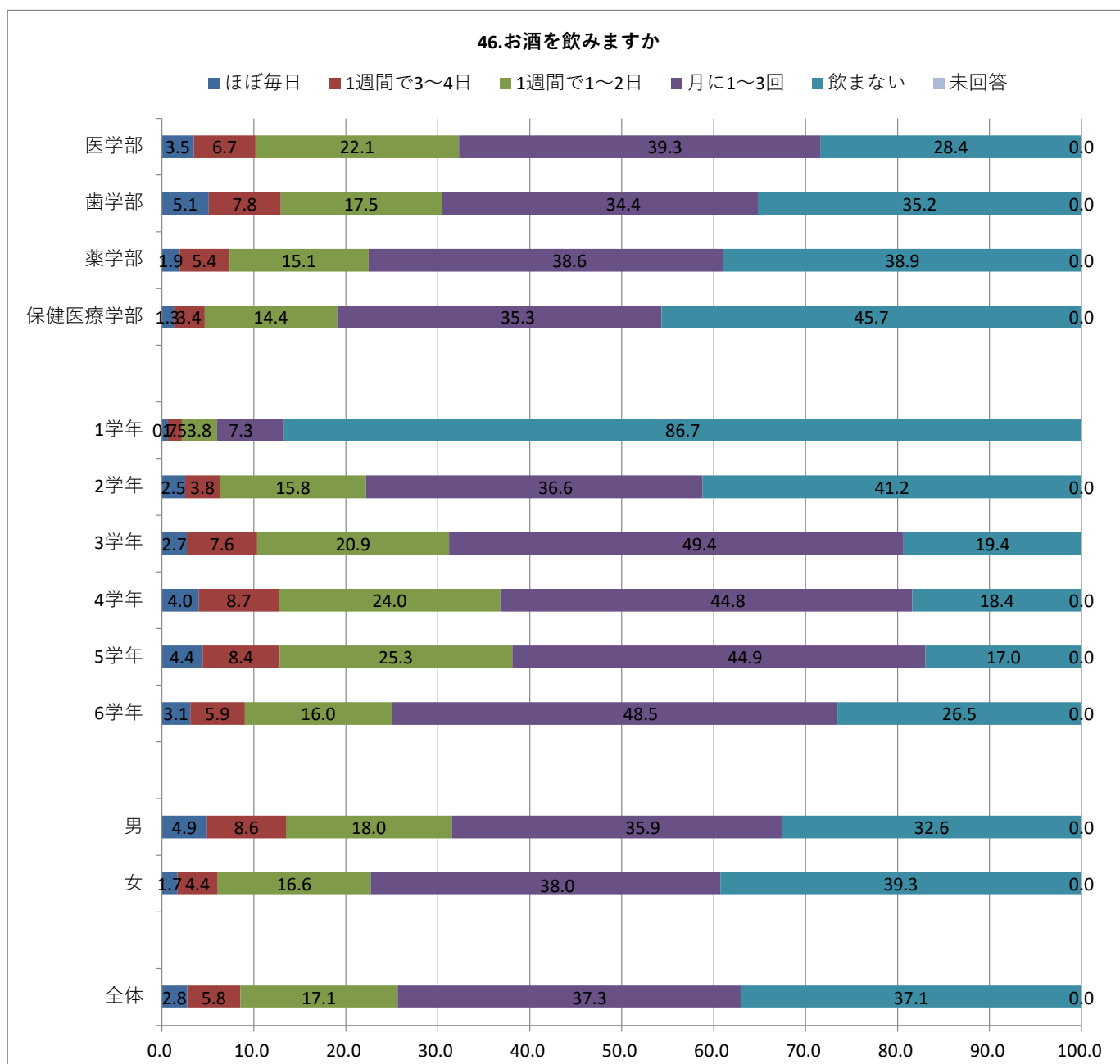
- 十分に取れている（1週間に数回程度）
- やや取れている（1週間に1回程度）
- あまり取れていない（1か月に1回程度）
- ほとんど取れていない
- 未回答



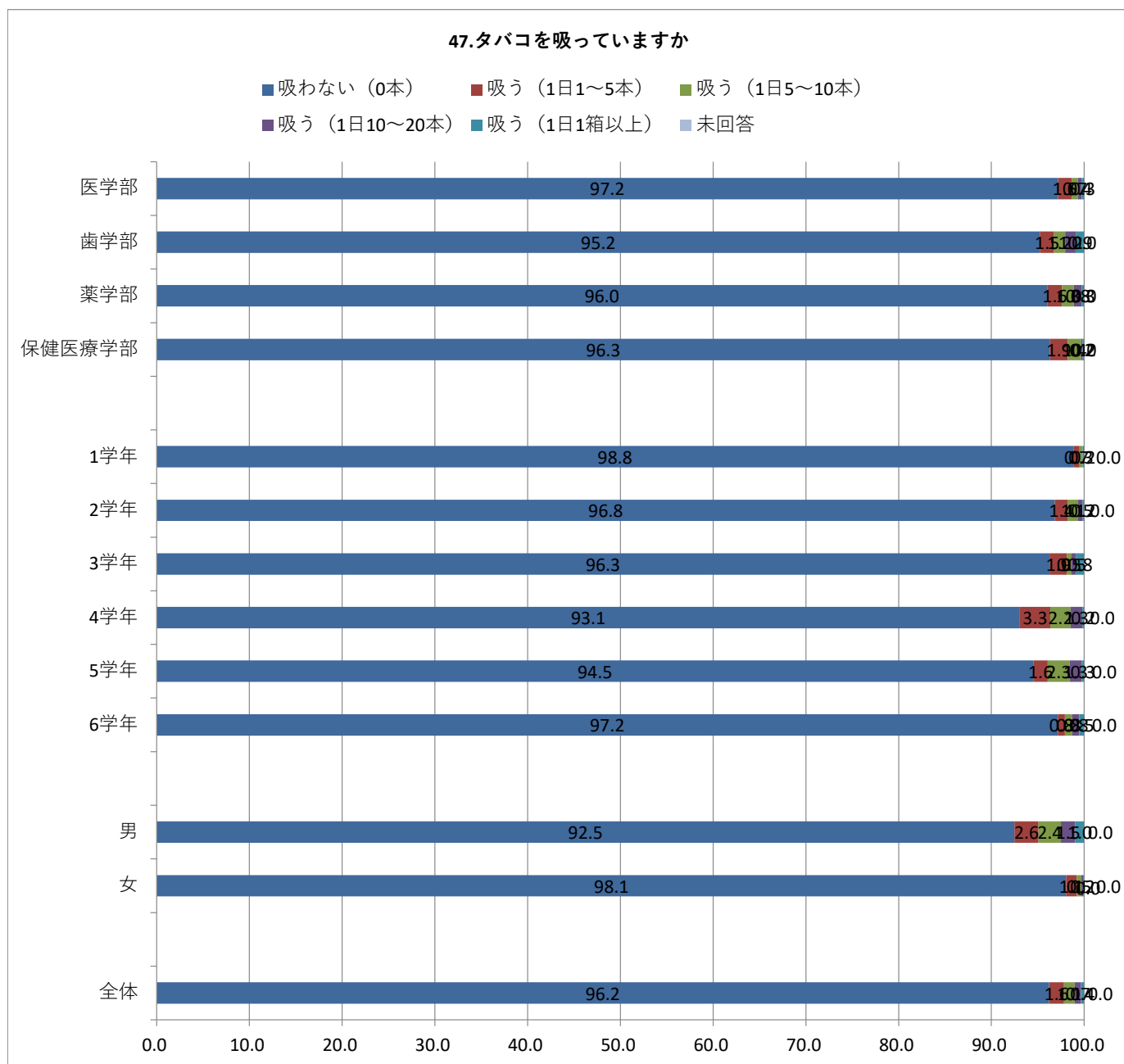
同級生や友人とコミュニケーションについて、「十分に取れている」「やや取れている」を合わせて96%（前回：93.7%）と良好であった。「あまり取れていない」が2.3%（前回：5.0%）であり、コロナ渦の様々な制限が解除されたことも影響している考える。



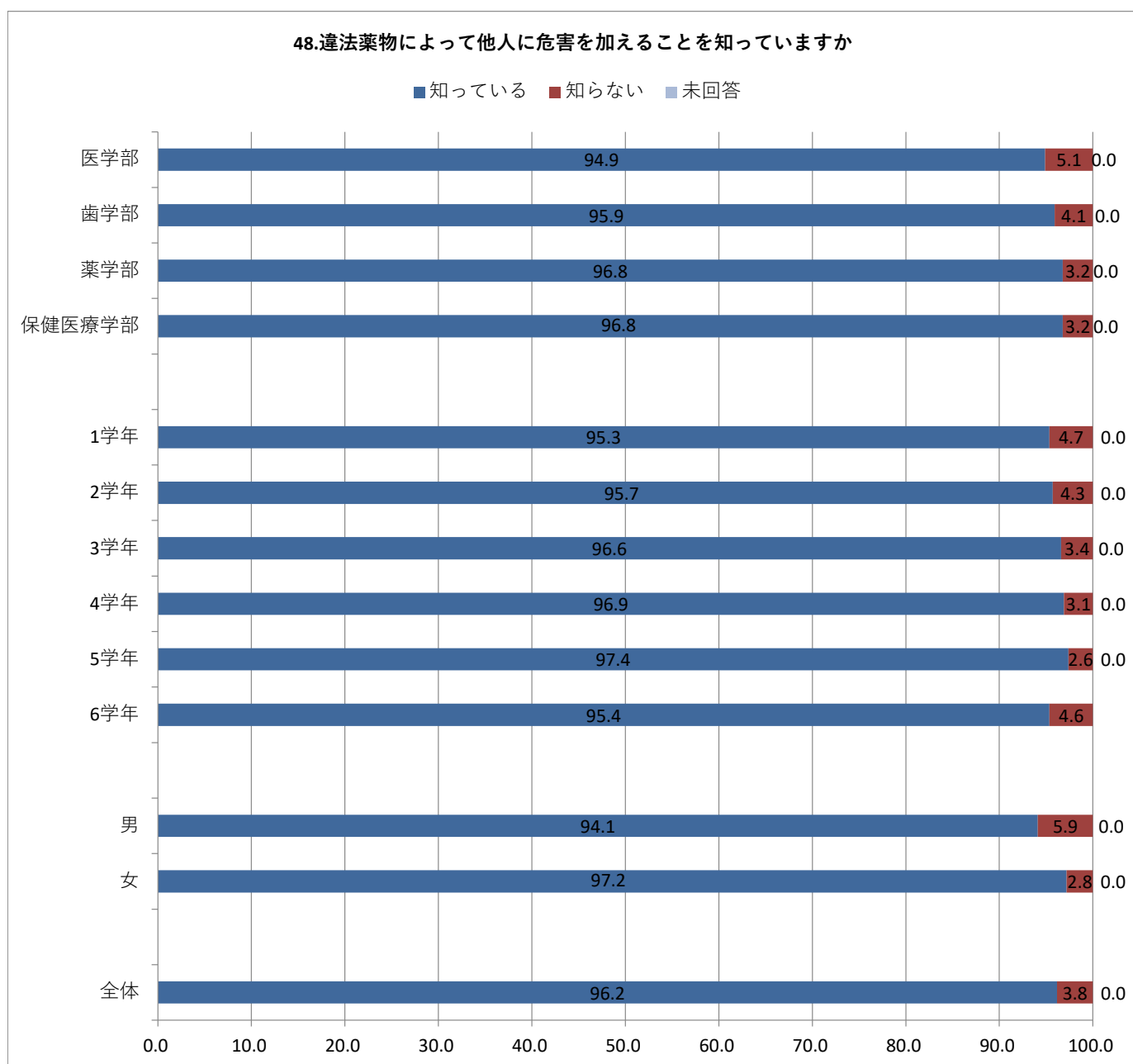
朝食を「毎日必ずとっている」「週2～4日はとる」が75%（前回：81%）で、「ほとんどとらない」「全くとらない」が24%（前回：18.9%）であった。前回調査（令和3年度）と比較し朝食をとる割合が減少している傾向であった。



お酒を飲まない学生は37.1%（前回：49.0%）で、女子が39.3%（前回：53.3%）、男子が32.6%（前回：40.6%）であった。前回調査（令和3年度）と比較し、お酒を飲む機会が増加している傾向であった。また、保健医療学部45.7%（（前回：57.4%）と3学部と比較し、お酒を飲まない学生が多い傾向であった。

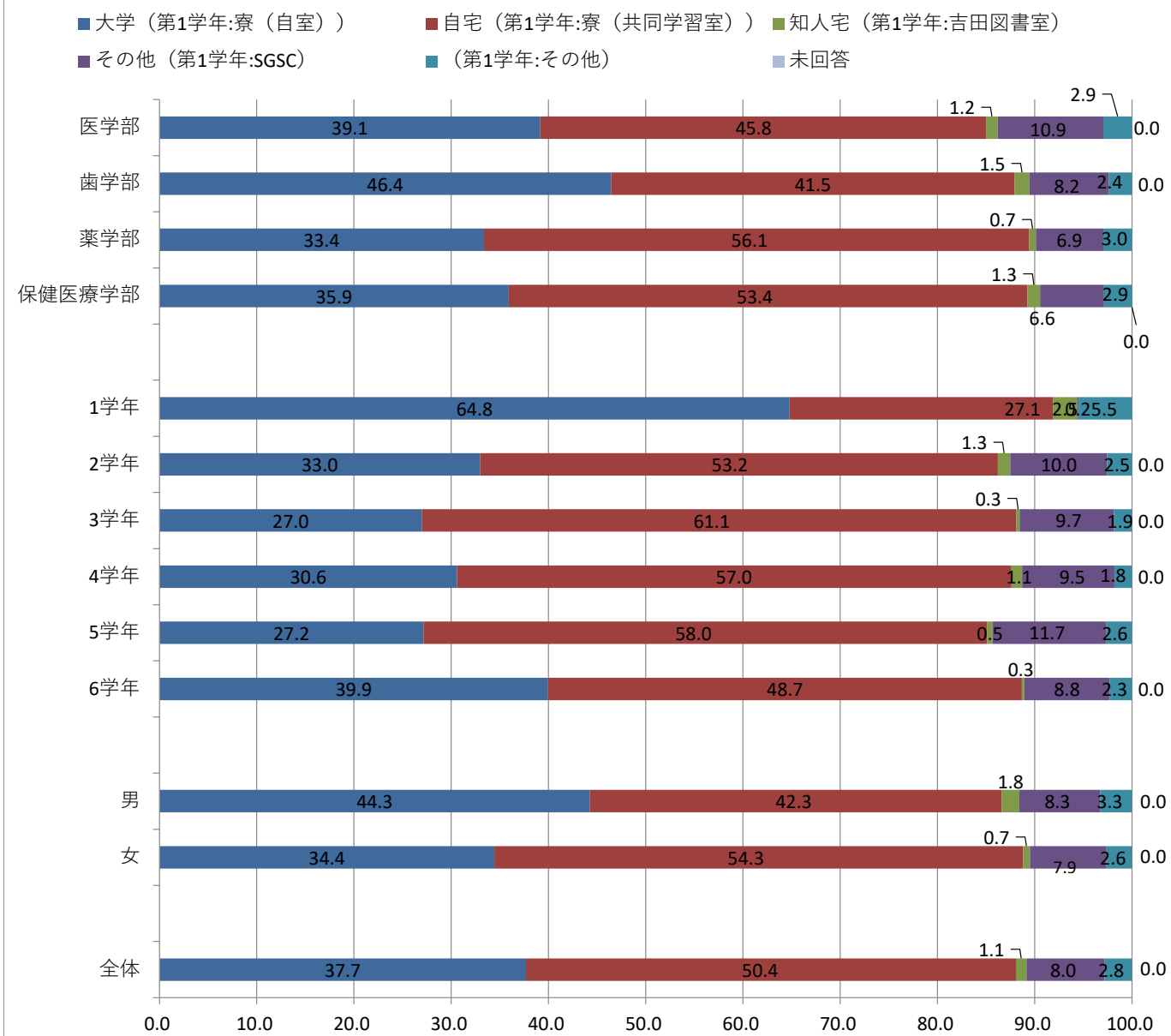


タバコを吸わない学生は96.2%であり、医療人としての自覚がうかがえた。一方で、3%（前回：2.8%）とはいえ喫煙者がいることを考えると喫煙マナーの指導が必要である。

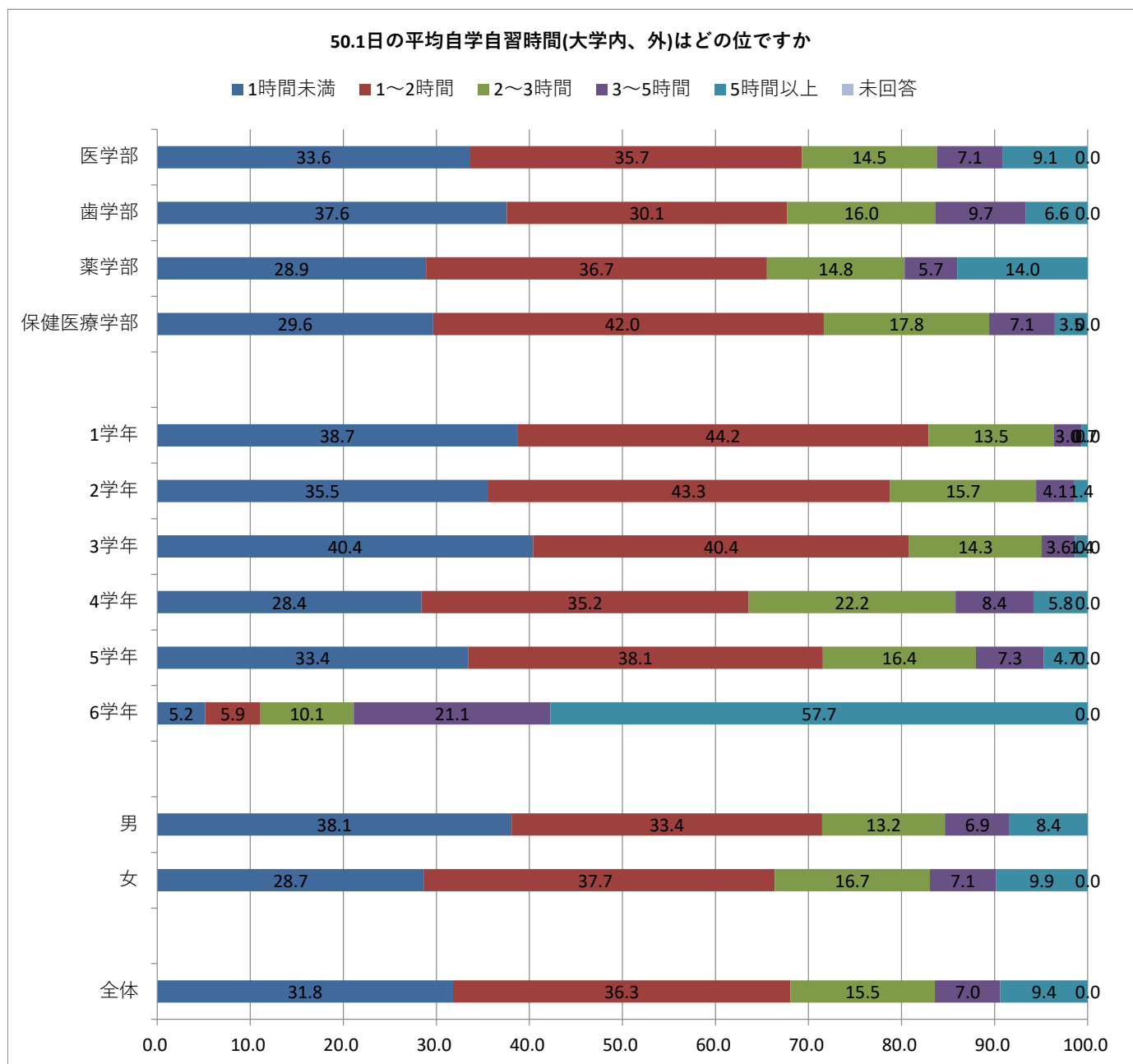


違法薬物によって他人に危害を加えることを知っていた学生は96.7%(前回:97.2%)で、おおむね違法薬物に対する認識があることがうかがえた。

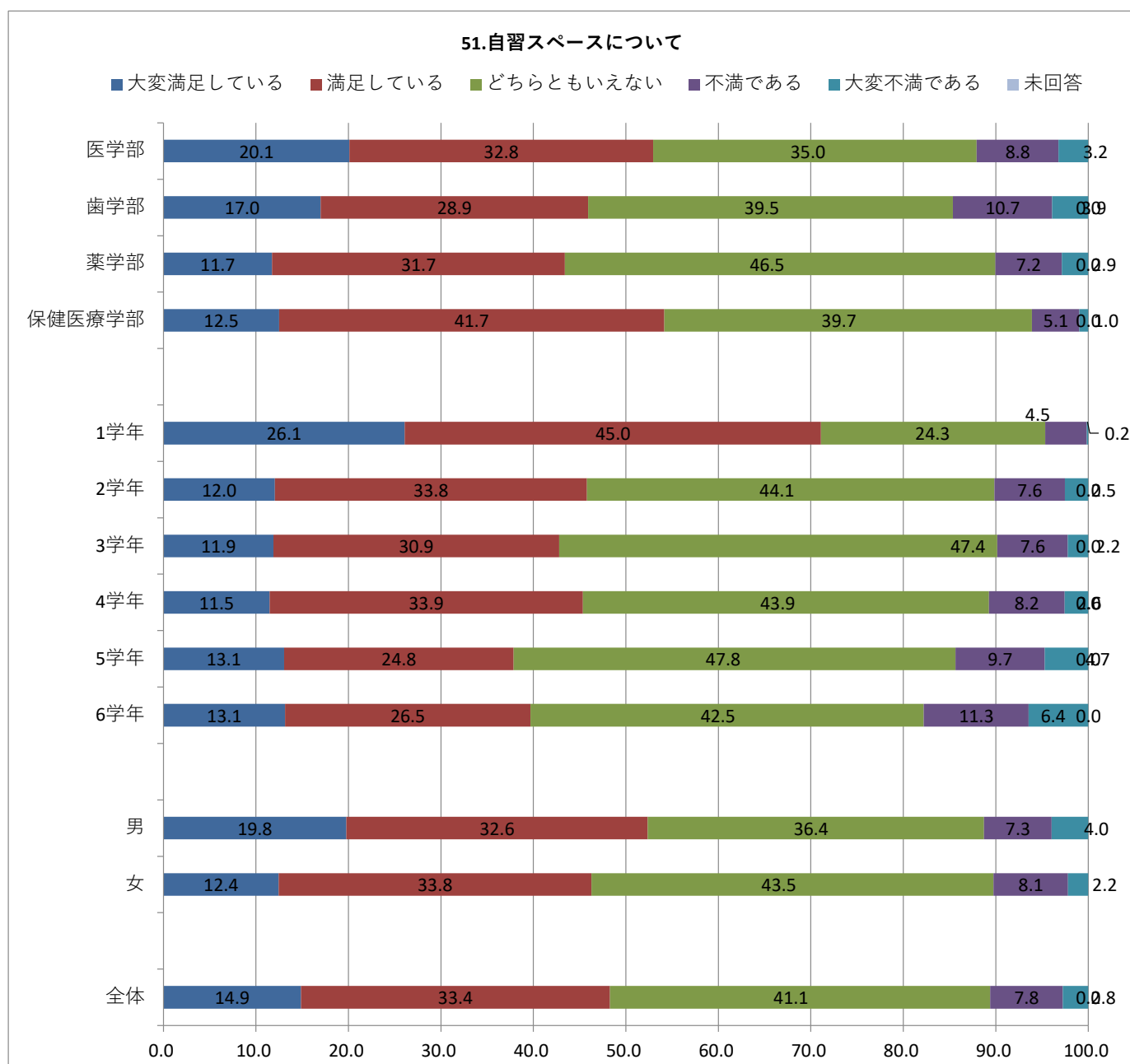
49.最も多く、自習をする場所はどこですか



もっとも多く自習をする場所として、平均で自宅が50.4%（前回:64.1%）、大学が37.7%（前回:27.7%）であったか、6年生になると、大学で学習する学生が増えている34.4%（前回:45.1%）。卒業試験や国家試験に向け、より集中力を高めたい、あるいは友人との情報交換が行いやすいなどの理由が考えられる。

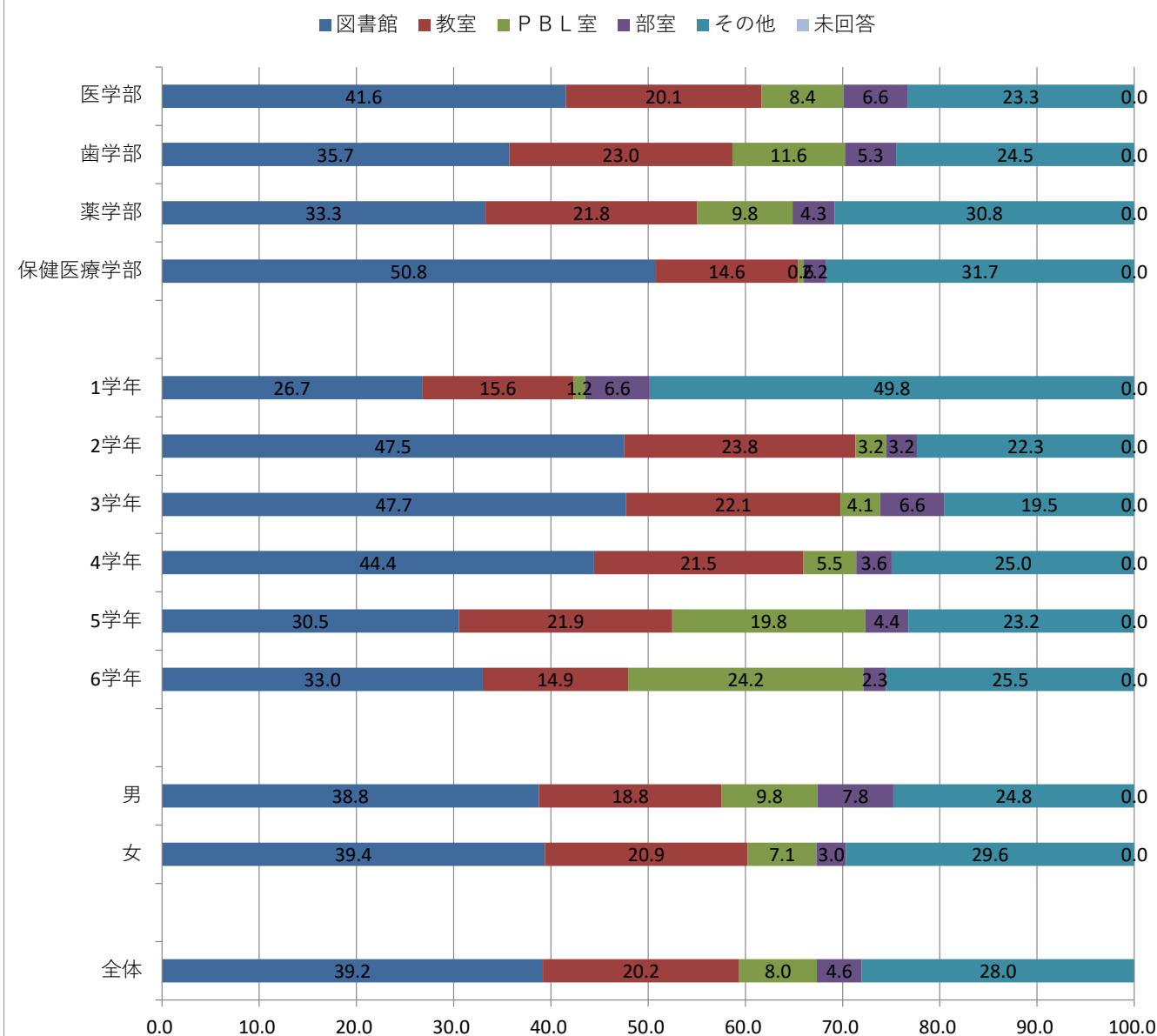


1日の平均自学自習時間は、「1時間未満」が31.8% (前回: 16.8%) であり、「2～3時間」、「3～5時間」の自習時間が減少傾向にある。一方、当然の結果ではあるが、第6学年になると学習時間は大幅に増え、約57.7% (前回: 69.6%) が5時間以上行っている。しかし、前回調査から11%減少しており、この結果が国家試験にどの様に影響しているか検討が必要。



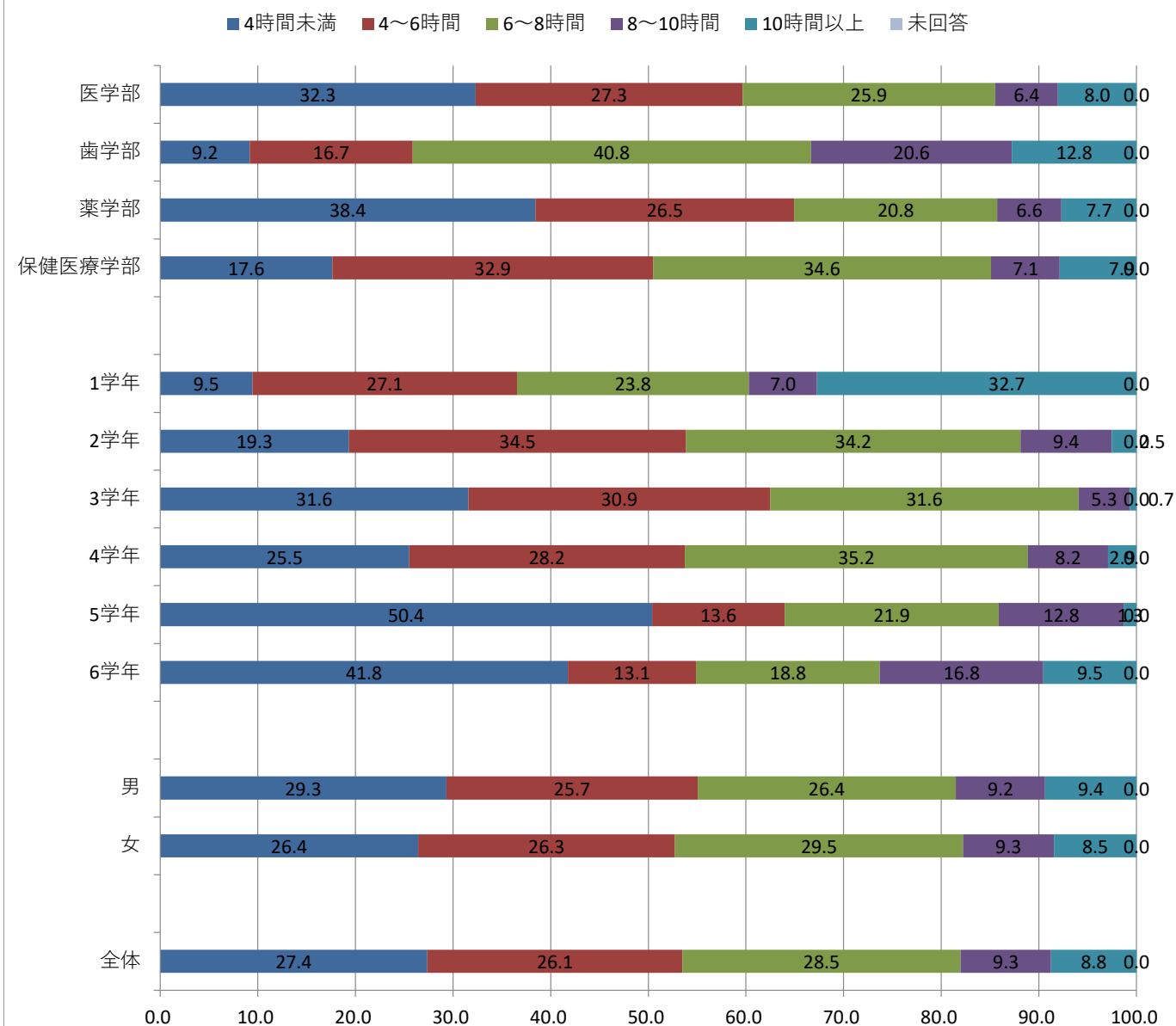
自習スペースは、「大変満足している」、「満足している」を合わせ48.3%(前回:41%)であり7.3%増加しており、第1学年(富士吉田キャンパス)は71%(前回:64%)であり、前回調査と比較し全学年で増加傾向であった。

52.自習スペースとしてどこを利用していますか



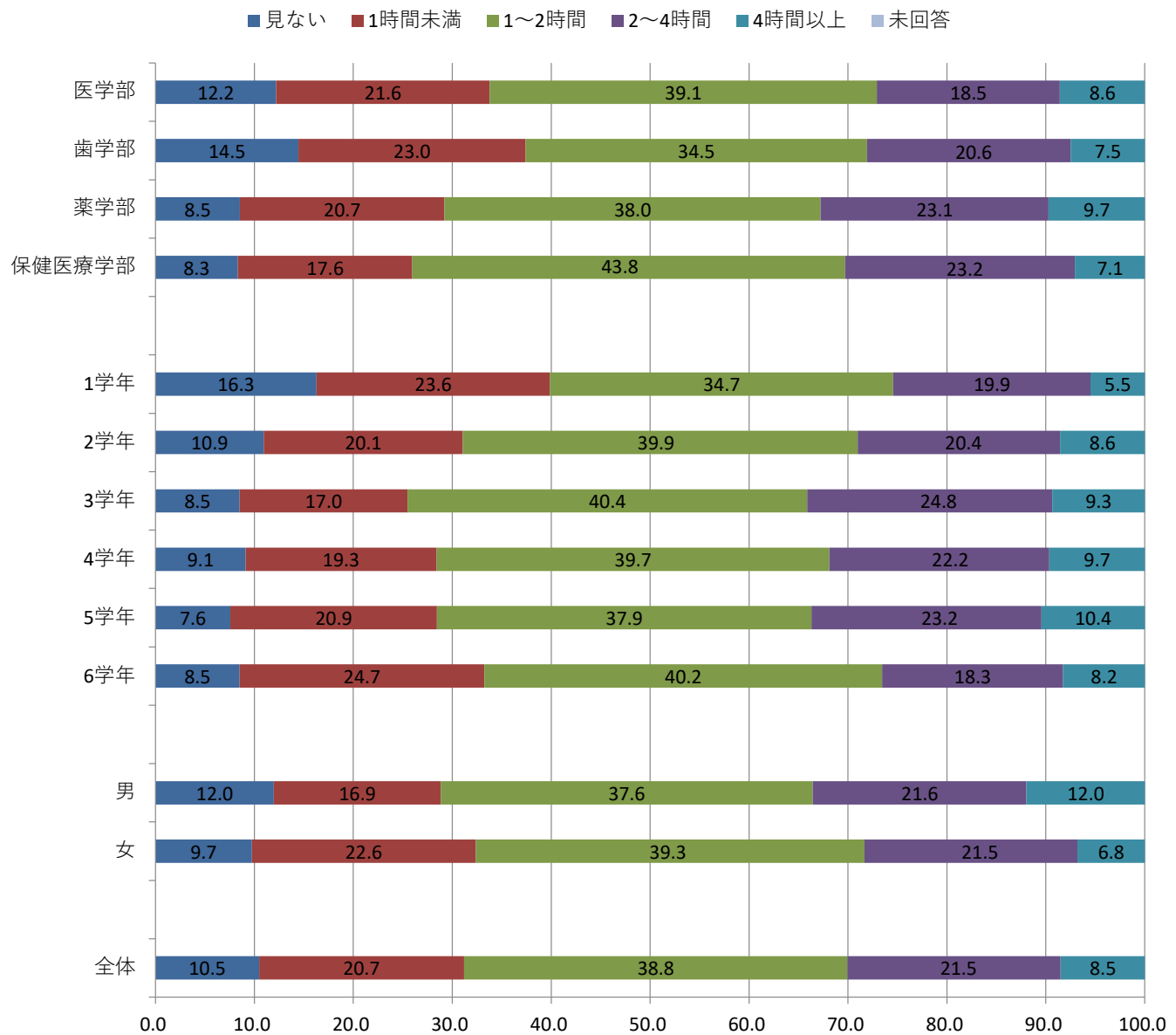
第2～5学年の平均は、図書館が約49%、教室が約21%、PBL室が約4%であった。第6学年では図書館が33%、教室が14.9%、PBL室が24.2%と、前回調査（令和3年度）と比較しPBL室の利用割合が増え、その分、図書館の利用率が低下していた。これは、第6学年に優先的にPBL室を開放しているためと思われる。

53. 1日平均のキャンパス内にいる時間(大学にいる時間、課外活動含)はどの位ですか



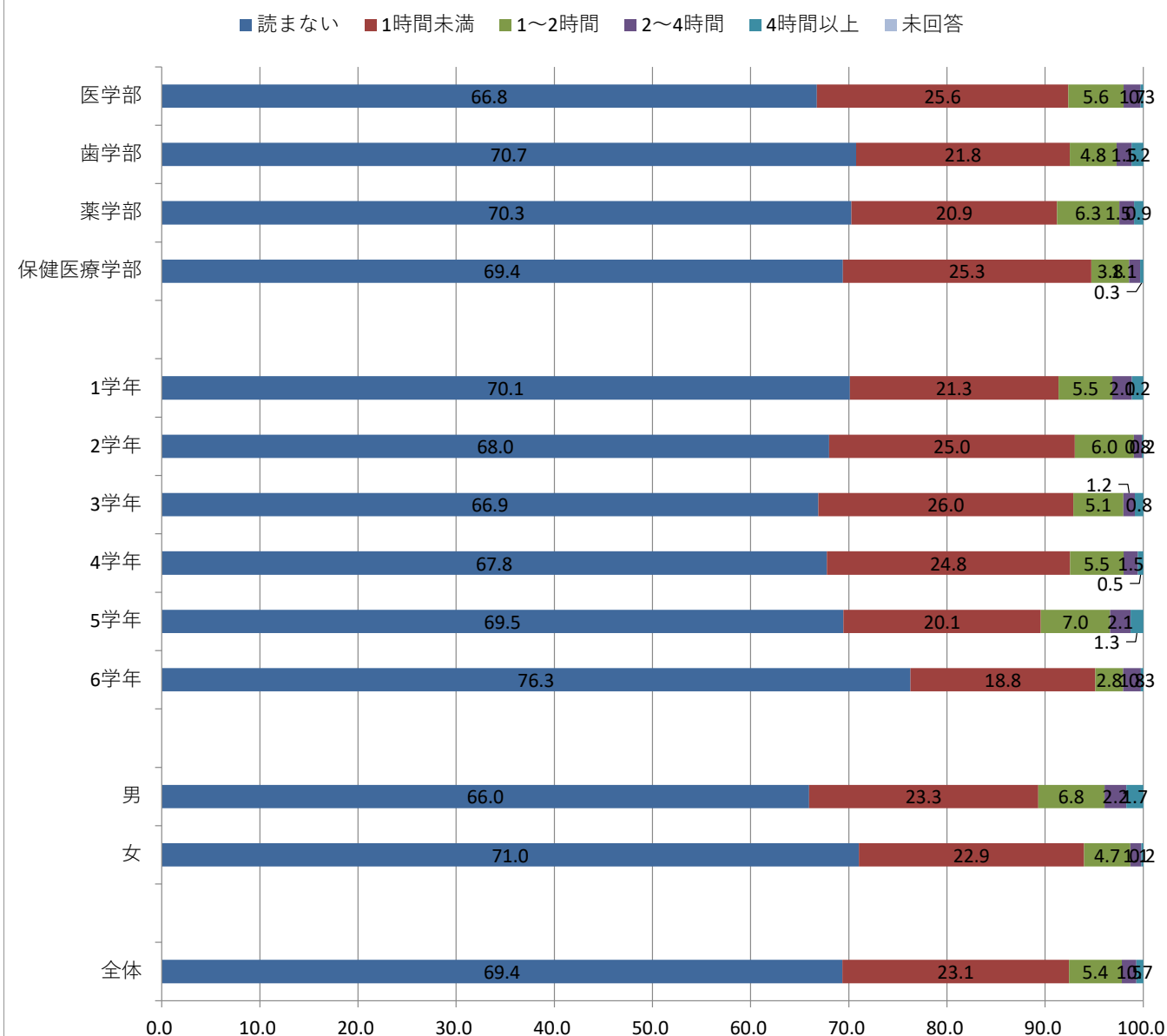
学部また学年で異なった結果であり、前回調査(令和3年度)と比較し、新型コロナウイルス感染症の影響も少なくなったことで、1日のキャンパス内にいる時間が増加しており、オンデマンド講義が多い学部や学年は、短かい結果であった。

54. 1日の平均テレビ視聴時間(YouTube等含む)はどの位ですか

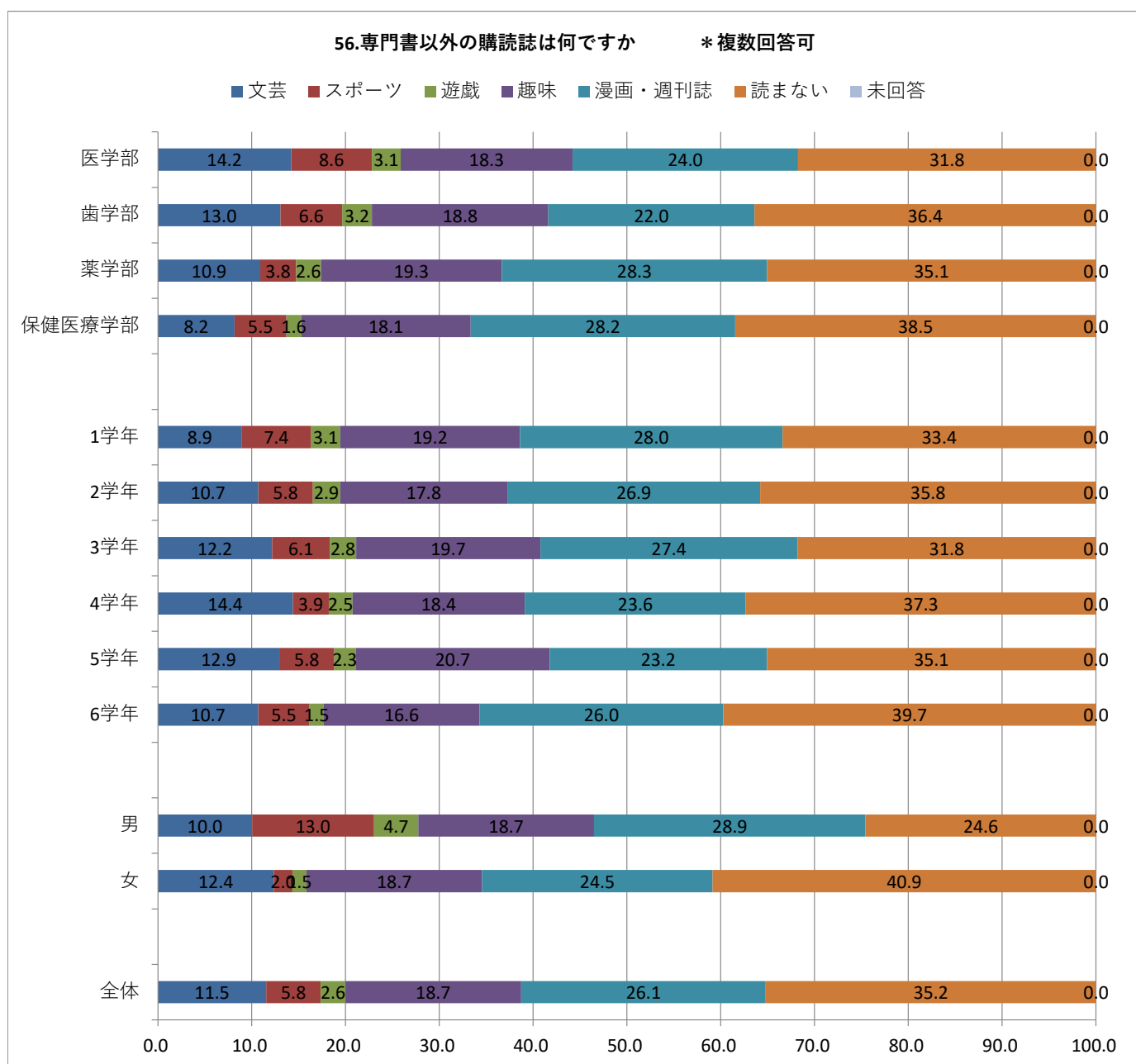


前回調査と比較し、「見ない」、「1時間未満」をあわせて31.2%（前回：21%）であり、10%以上視聴時間が減少している割合がみられた。第1学年が39.9%（前回：19.3%）、6学年が33.2%（前回：32.9%）とそれぞれ、割合が高い結果であった。6学年は、卒業試験、国家試験に向けての勉強に時間を費やしている分だけテレビの視聴時間は短くなっていると思われる。

55. 1日の平均読書時間(専門書以外)はどの位ですか

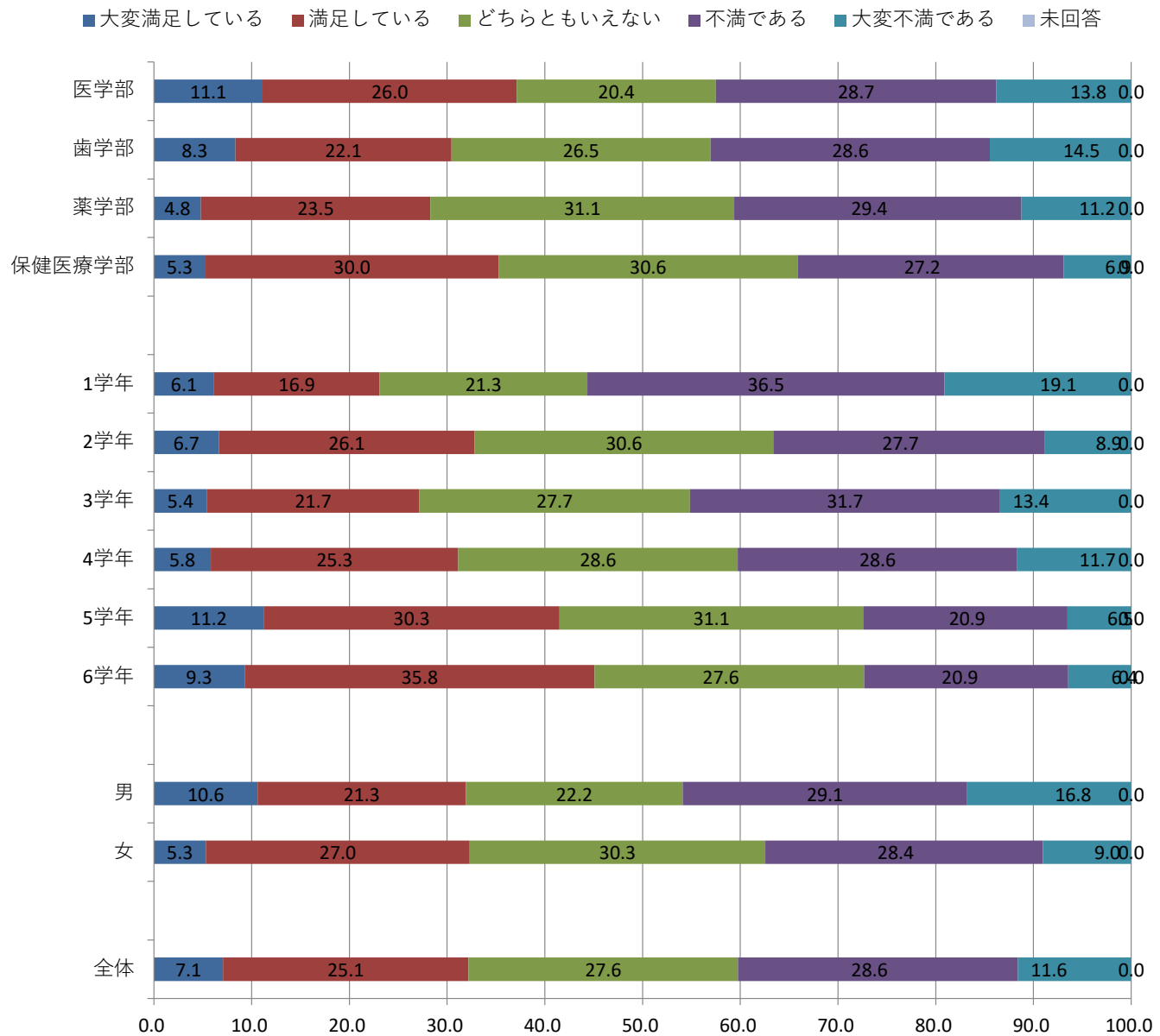


一般的に読書離れが進んでおり、「読まない」が69.4%(前回:61.6%)であった。色々な手段で簡単に情報が得られる時代になり、これは時代の流れかもしれない。しかし、正しく文章を書けない学生が増えている、その理由の一つに挙げられると



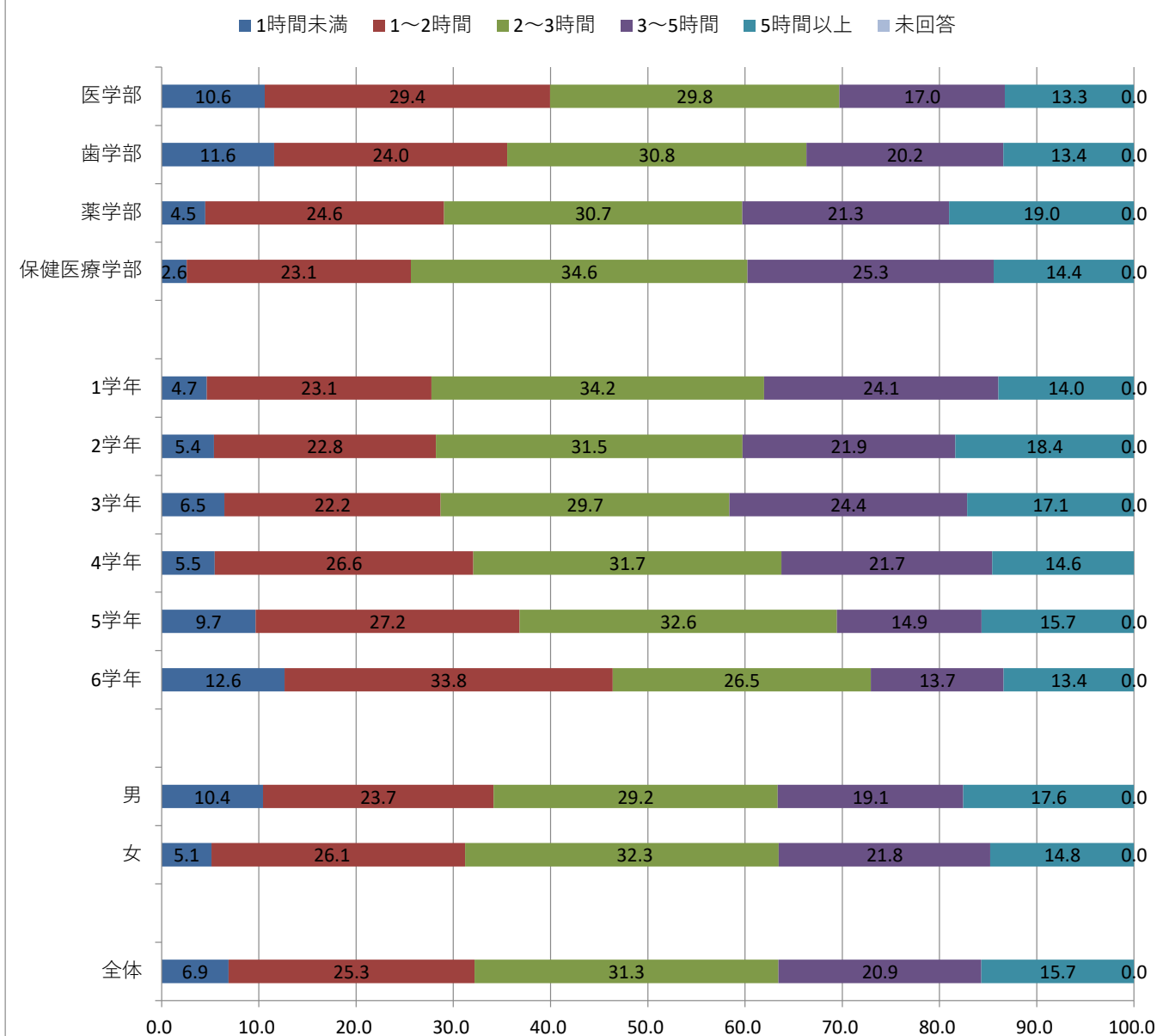
趣味が18.7%、漫画・週刊誌が26.1%で、これらで半数を占めた。一方で「読まない」も多く35.2%（前回：29%）であり、PCやスマホで簡単に情報が得られる時代になったためと思われる。

57.学内（また寮内）のインターネット環境について



「不満である」と「大変不満である」を合わせて、第2学年以上では平均約17%であったが、第1学年（富士吉田キャンパス）は55%（前回：約59%）であった。

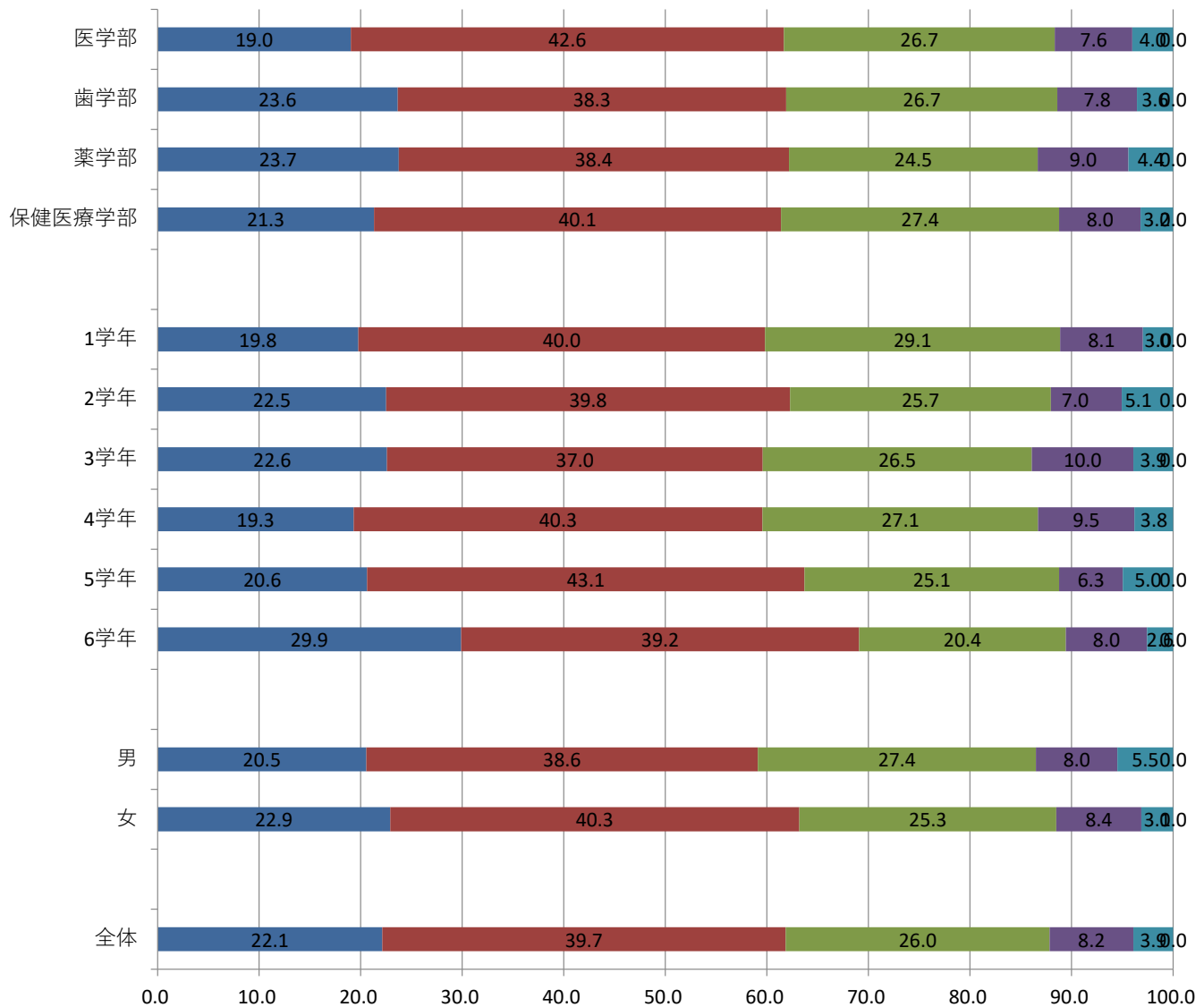
58.インターネット・アプリの1日の平均利用はどれ位ですか



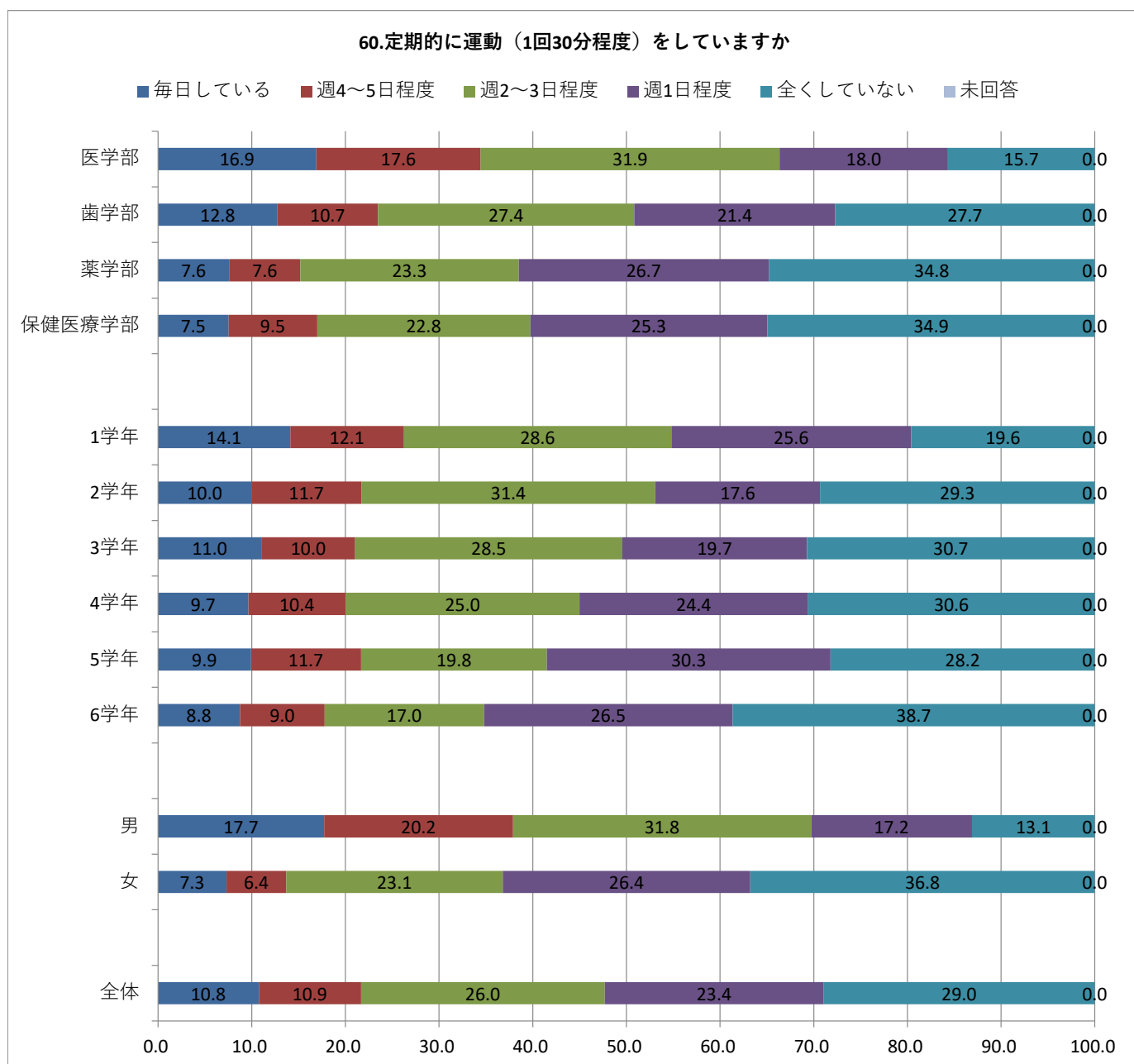
全体で67%(前回:64%)の学生が2時間以上利用していた。学習に利用しているのならいいが、この時間を少しでも読書にまわしてもらいたいと思う。

59. 1日の平均レジャー及び遊び時間 (交際・趣味・娯楽等)はどの位ですか

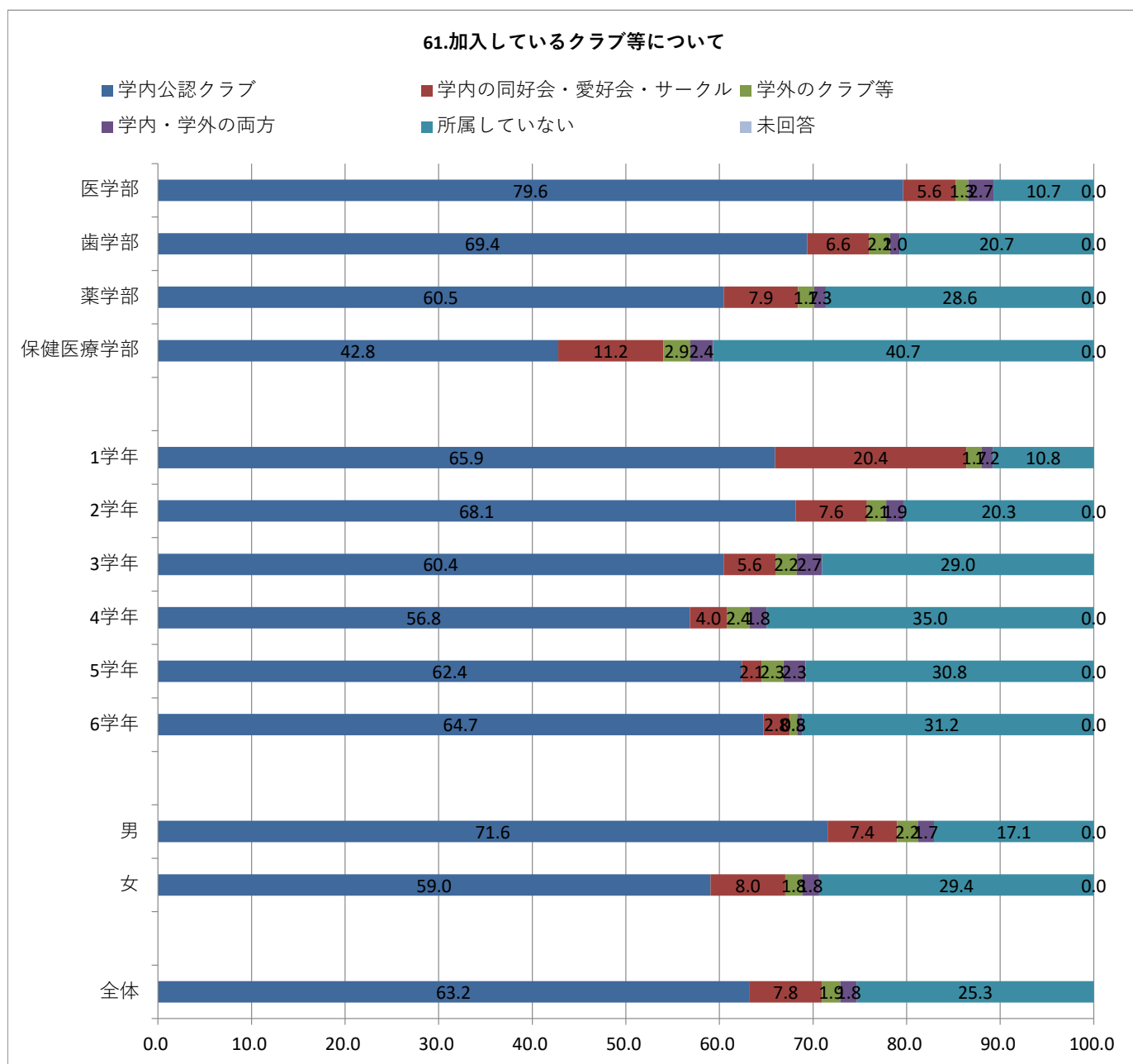
■1時間未満 ■1～2時間 ■2～3時間 ■3～5時間 ■5時間以上 ■未回答



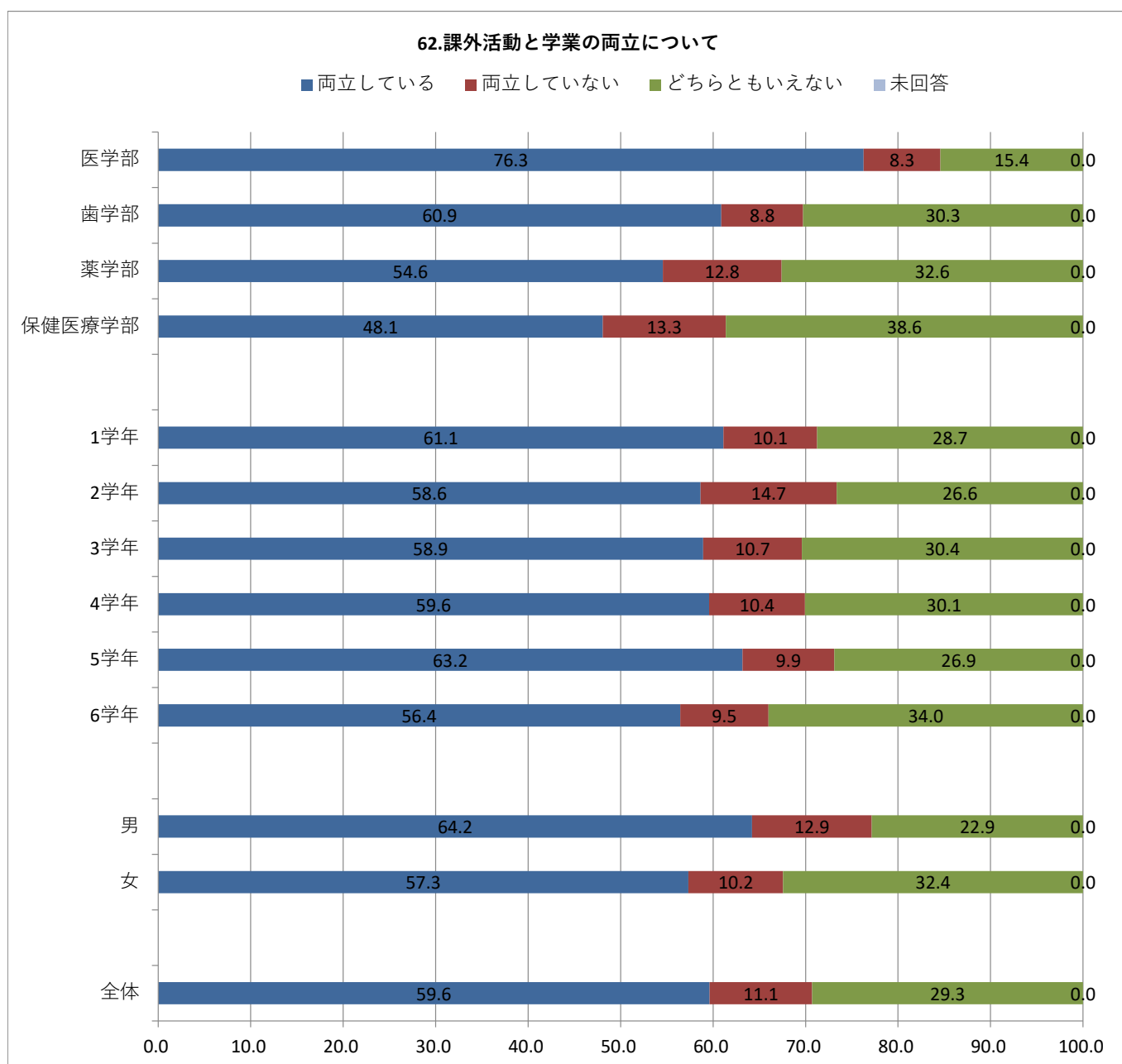
全体で「1時間未満」が22.1%（前回：22.6%）であり大きな変化は見られなかった。第6学年では29.9%（前回：35.9%）で6%増え、第6学年もストレスをためないために、前回調査よりは、適度な気分転換している割合は増えている傾向である。



全体で約1/3の29%（前回：33.1%）が全く運動を行っていない結果であった。自身の健康の維持、ストレス発散のためにも、適度な運動を行うよう指導していきたい。

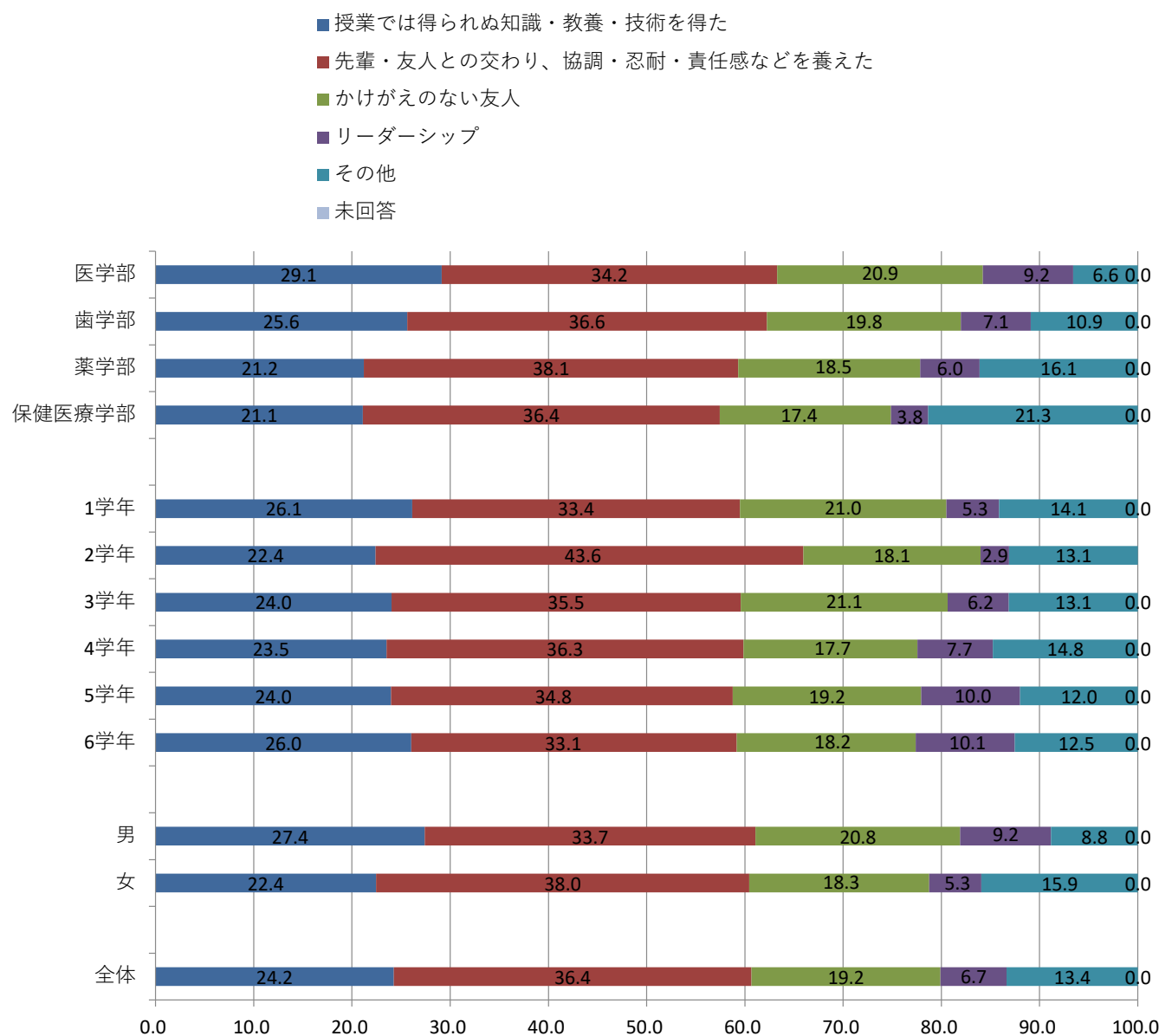


全体で74%(前回:72.3)が何らかのクラブに加入している傾向であった。医学部が89.3%(前回:87.5%)、歯学部が79.3%(78.6%)、薬学部が71.4%(68.8%)、保健医療学部が59.3%(56.1%)であった。

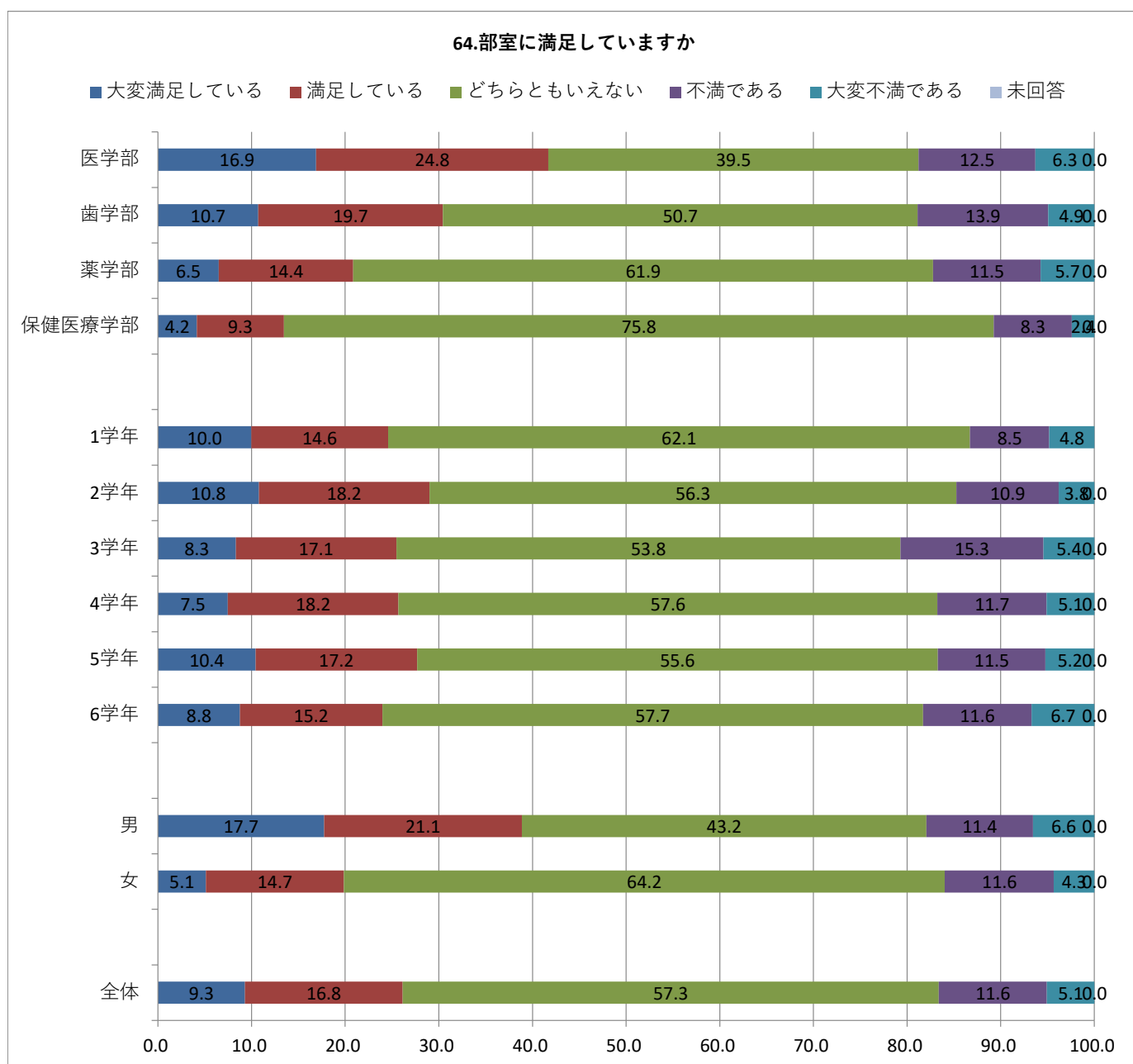


設問61同様に、学部で差が見られた。全体で59.6%(前回:47.1%)が「両立している」と回答しており、12.5%増加している傾向であった。また、「両立している」学生が保健医療学部で少ないのが気になる。

63.課外活動で得たもの *複数回答可



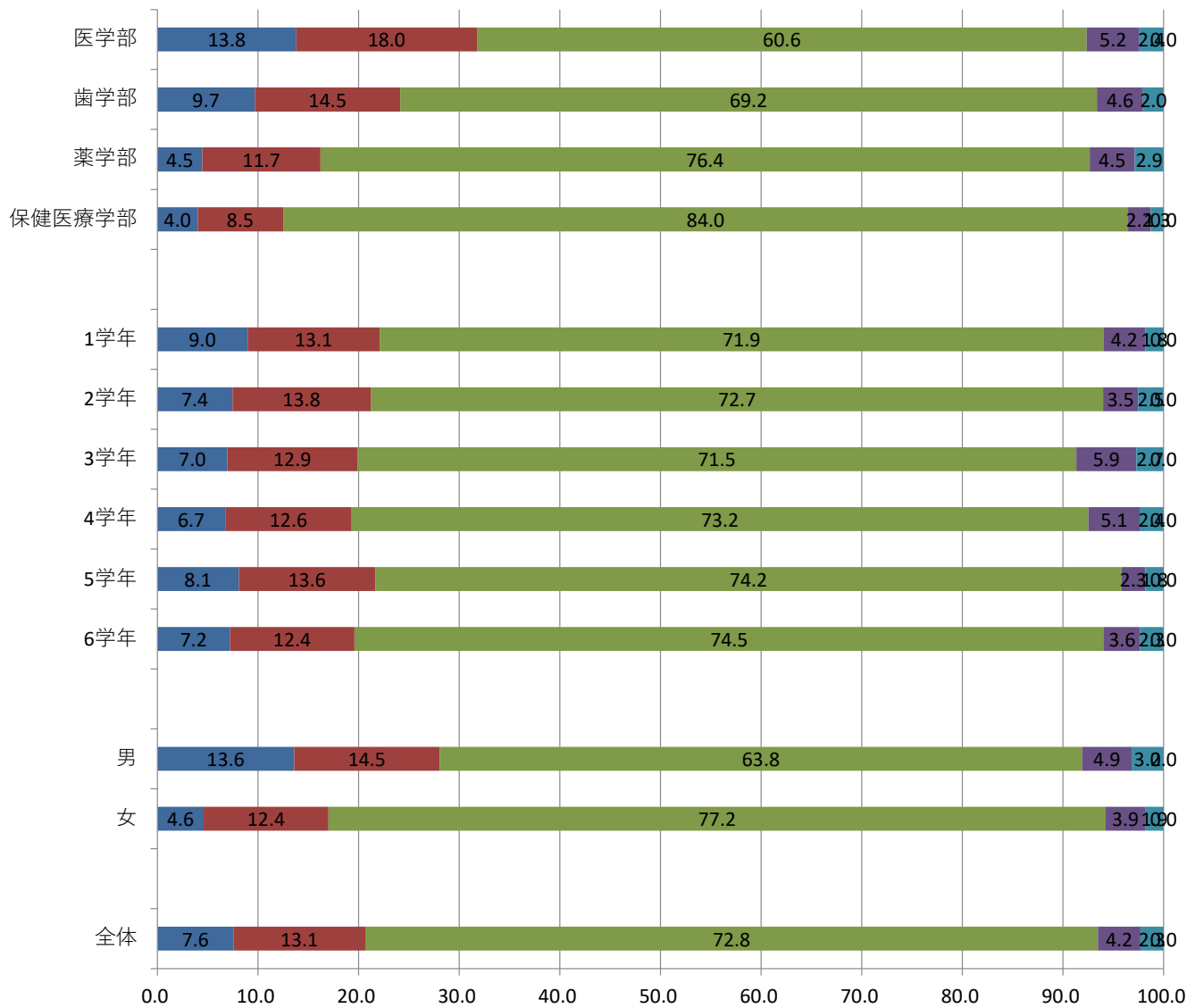
課外活動は人間関係の形成に非常に有用であることが本結果からも明らかとなった。「その他」が多い学部、学年は、課外活動を行っていない、行えていない学生が多いことが反映されていると思われる。



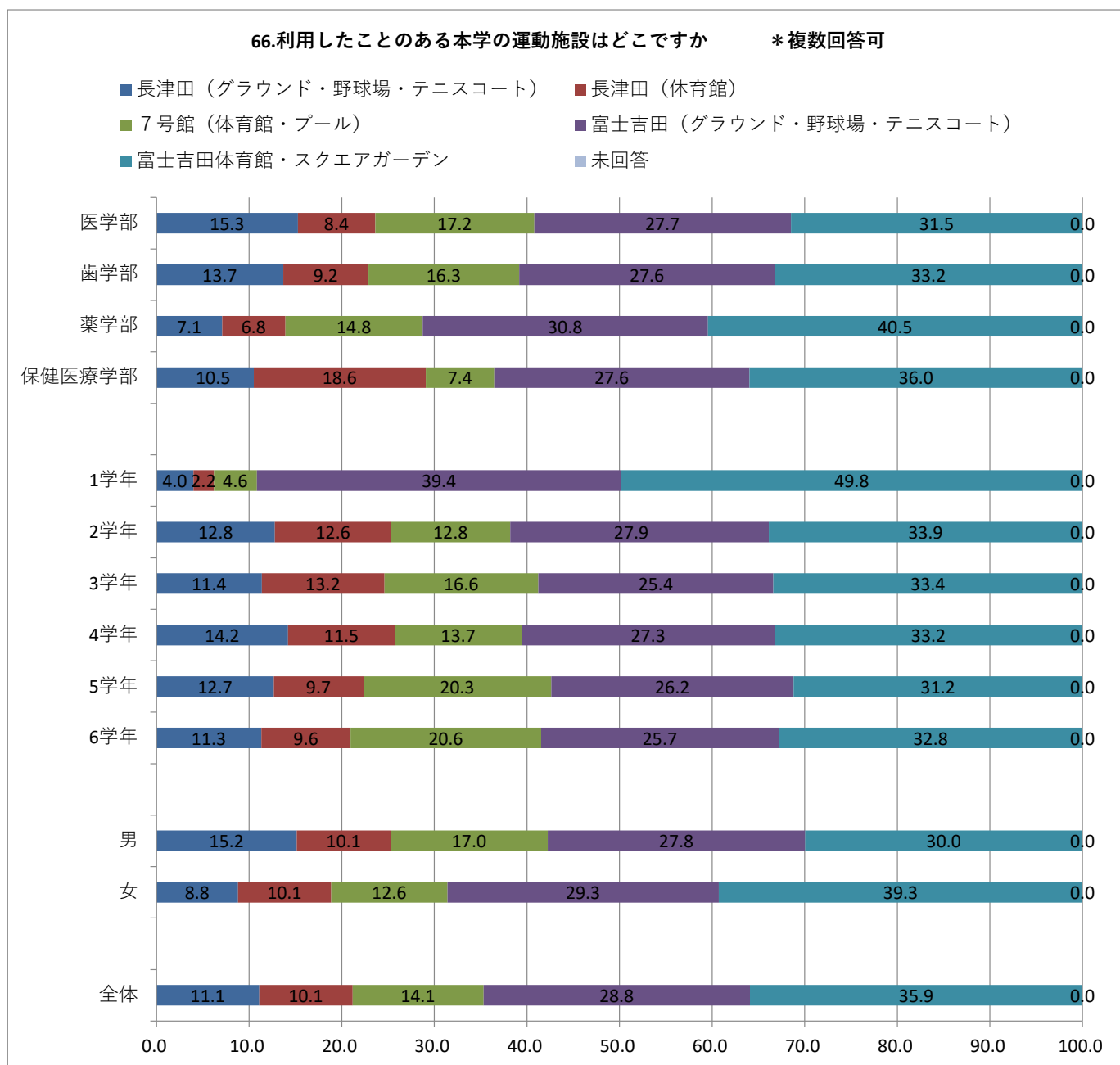
「大変満足している」「満足している」と回答した割合が26.1%（前回：17.6%）であり、前回より8.5%増加しているが、決して満足度は高くないと思われる。施設の物理的な問題もあるが、可能な限りの改善が望まれる。

65.文連系クラブで利用できる場所について満足していますか

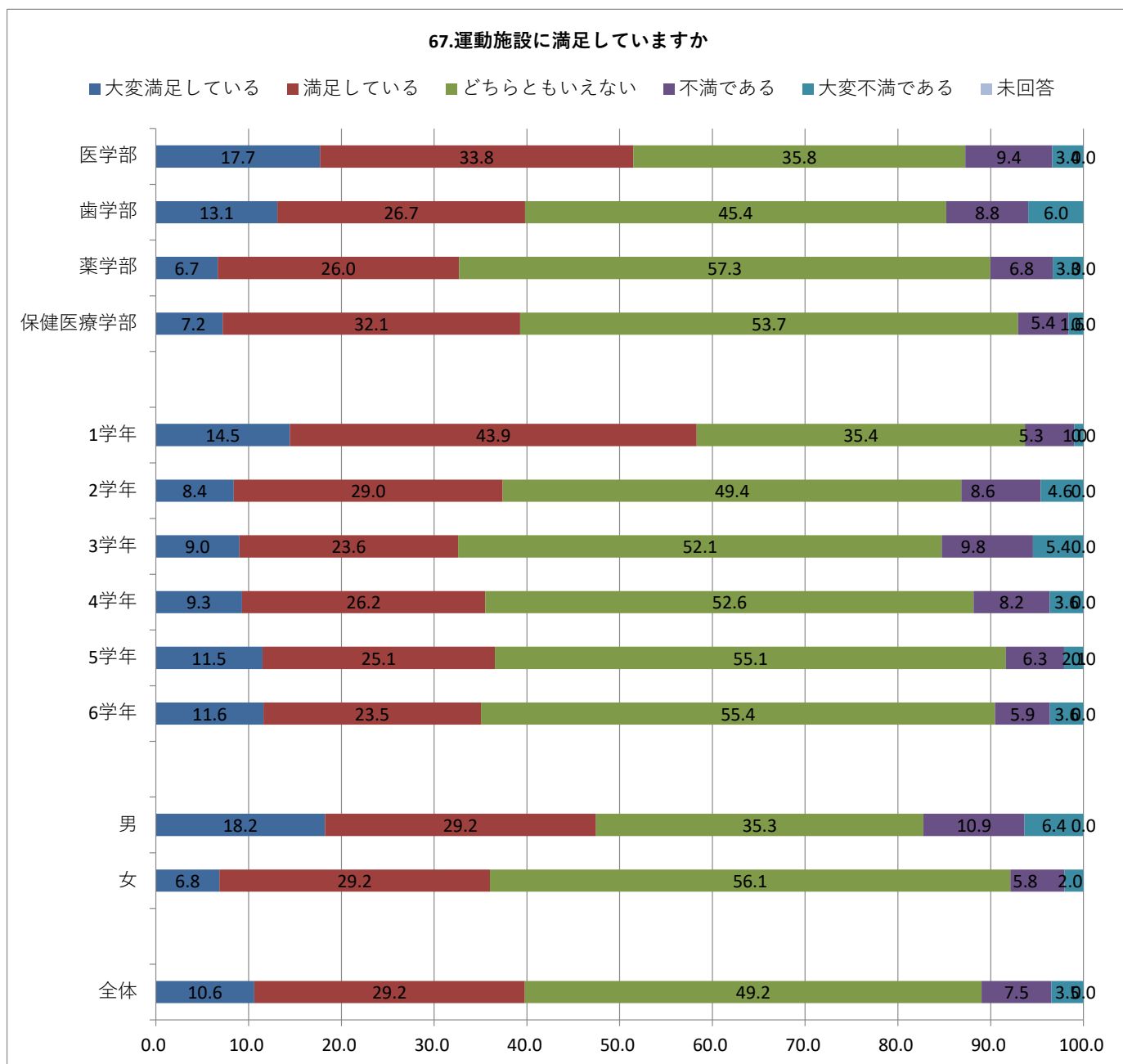
■大変満足している ■満足している ■どちらともいえない ■不満である ■大変不満である ■未回答



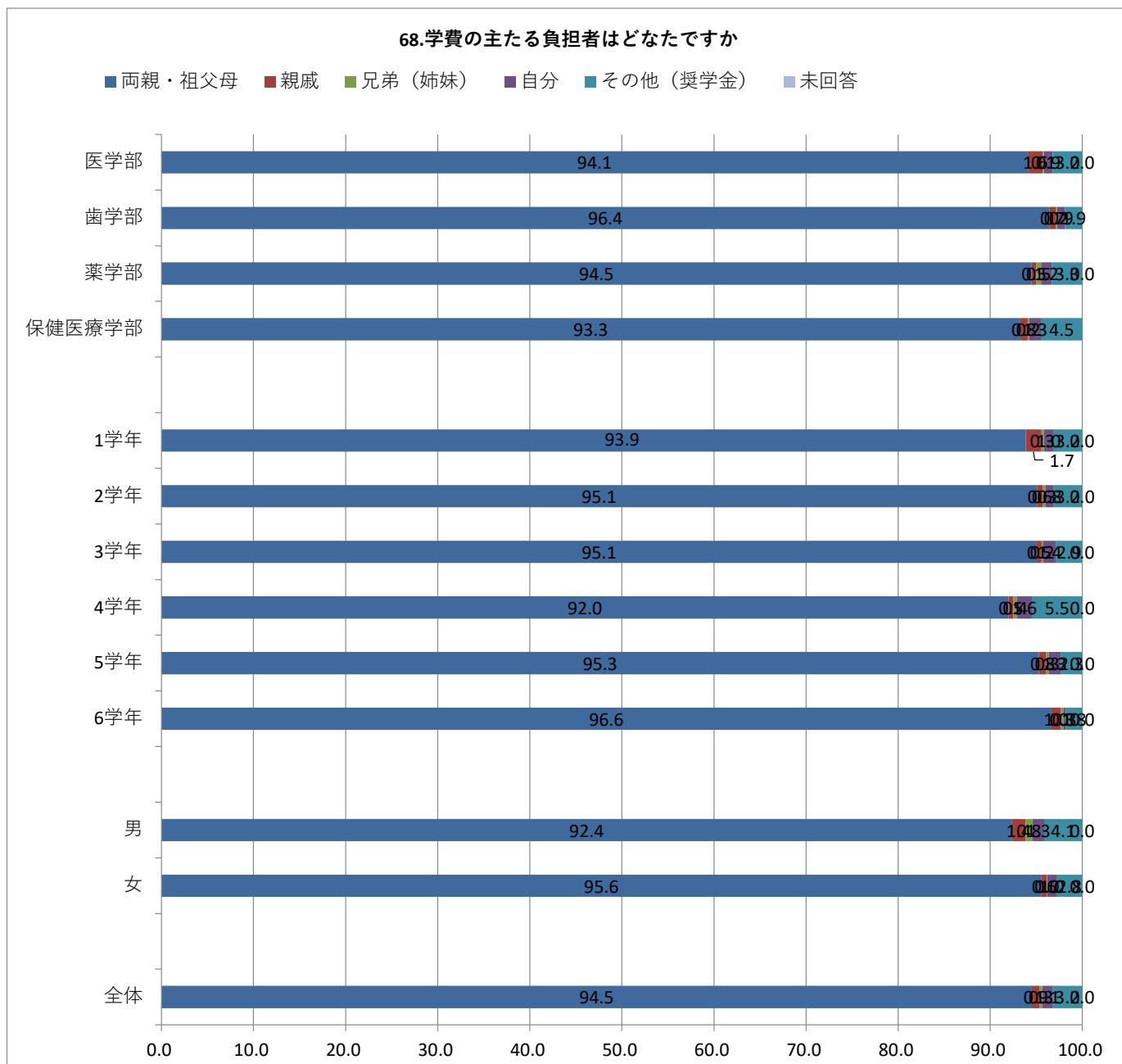
設問64同様、決して満足度は高くないと思われる。施設の物理的な問題もあるが、可能な限りの改善が望まれる。



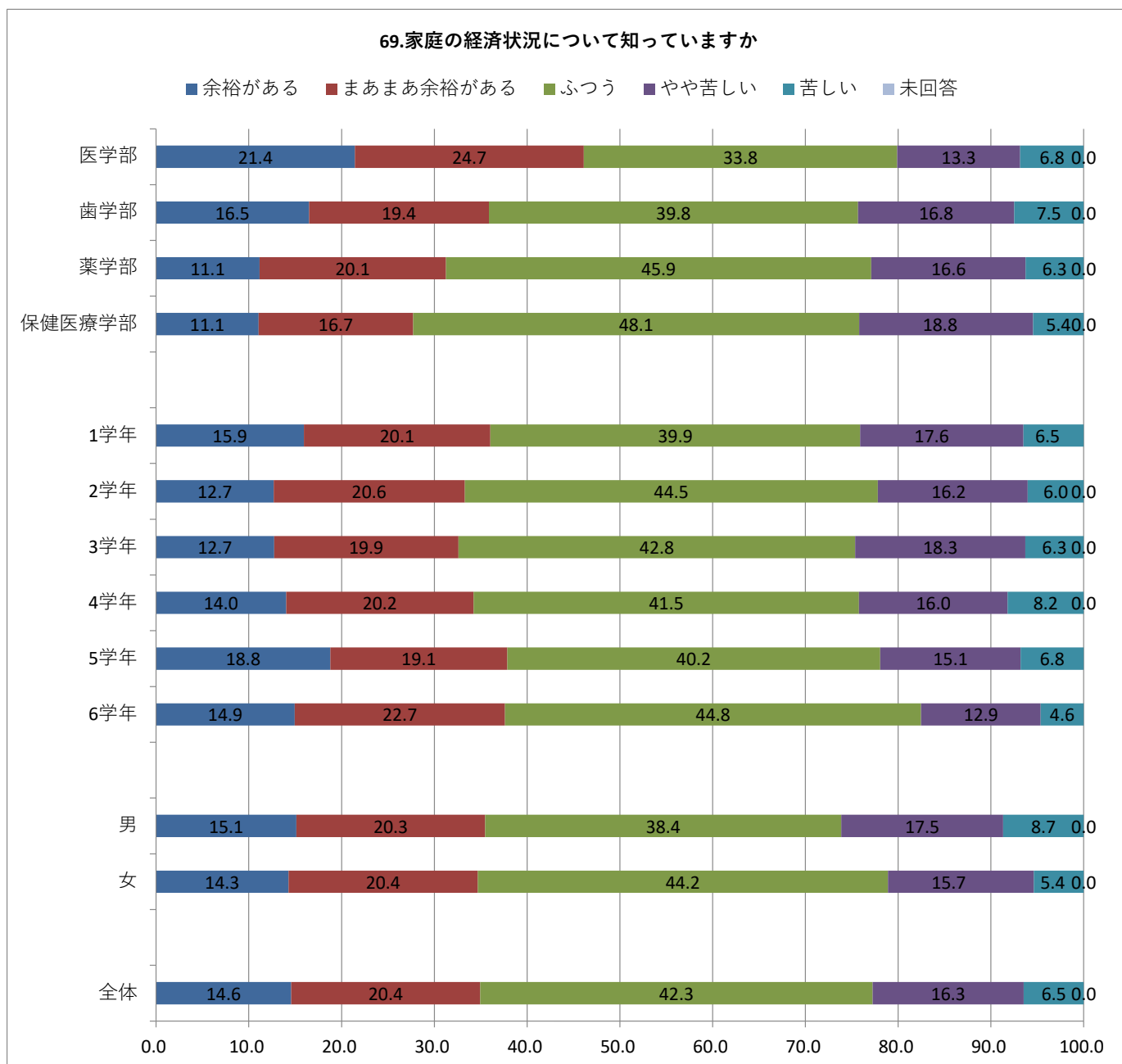
「大変満足している」「満足している」と回答した割合が20.7%（前回：15.2%）であり、コロナ禍の制限が解除されたこともあり、クラブ活動も活動できている状況であり改善している傾向であった。



「大変満足している」「満足している」を合わせて、第1学年(富士吉田キャンパス)は58.4%(前回:62.8%)であり、減少傾向であった。物理的な問題から大きくすることは難しいが、可能な範囲での質の改善が望まれる。

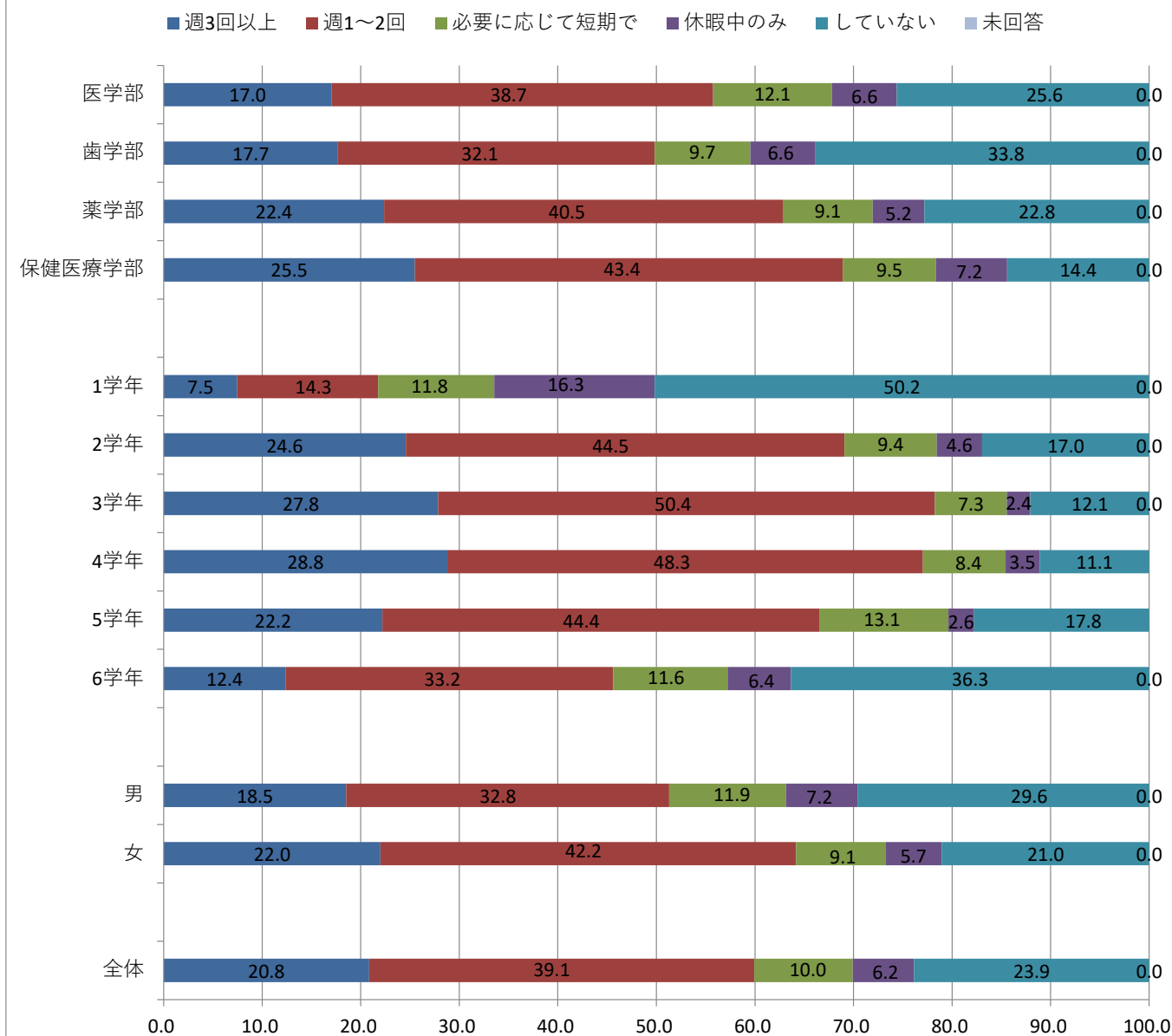


おおよそは両親・祖父母からの支払になっているが、特に低学年2～3年では自分でアルバイトなどで学費を負担している様子がわかる。6年生で親戚からというのは若干気になる点である。

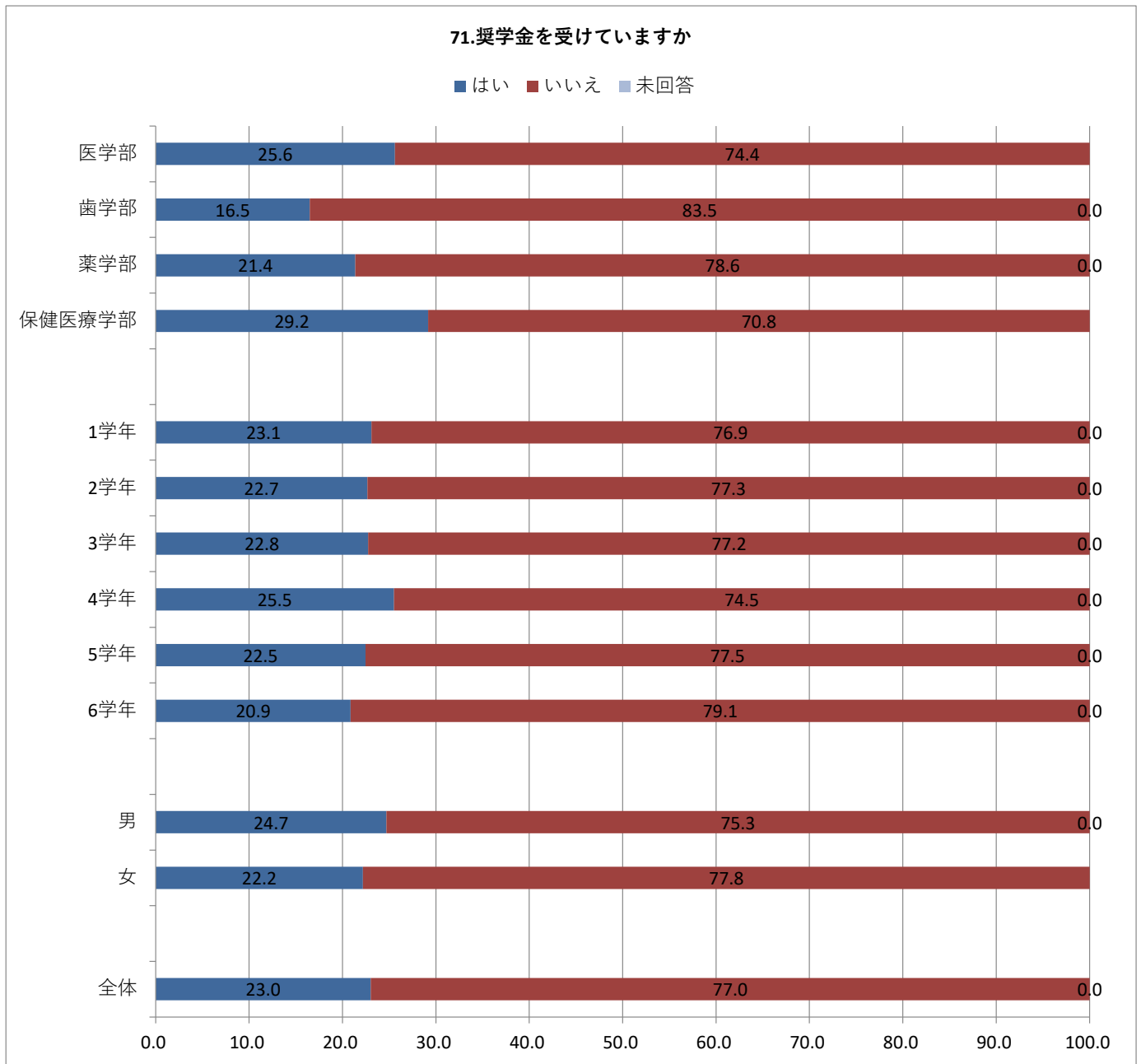


学部間、学年間であまり大きな違いがないが、一定数、苦しいと回答している学生がいることは憂慮すべき点である。

70.アルバイトはどの程度していますか



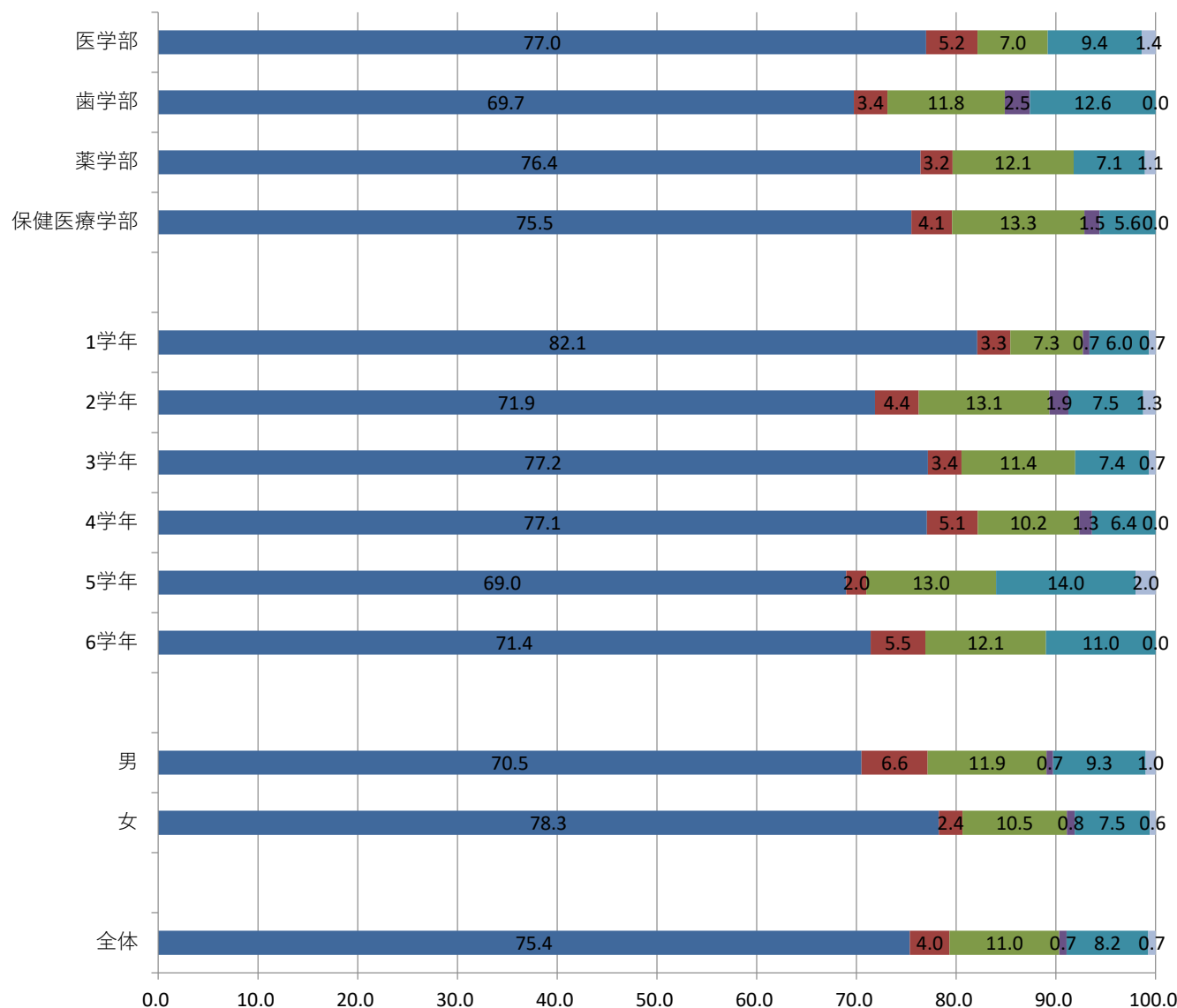
全体で「週3回以上」「週1～2回」あわせて67.1%（前回：45.9%）である21.2%増加しており、バイト時間と学修時間との相関を見ておく必要がある。講義の余裕はあまりないにもかかわらずバイトが増えているのは学修時間の低下に繋がっている可能性がある。



2割程度の学生が奨学金を受けていることがわかる。ただ、受けている学生が経済的に問題がないかどうかはこの結果からはわからない。

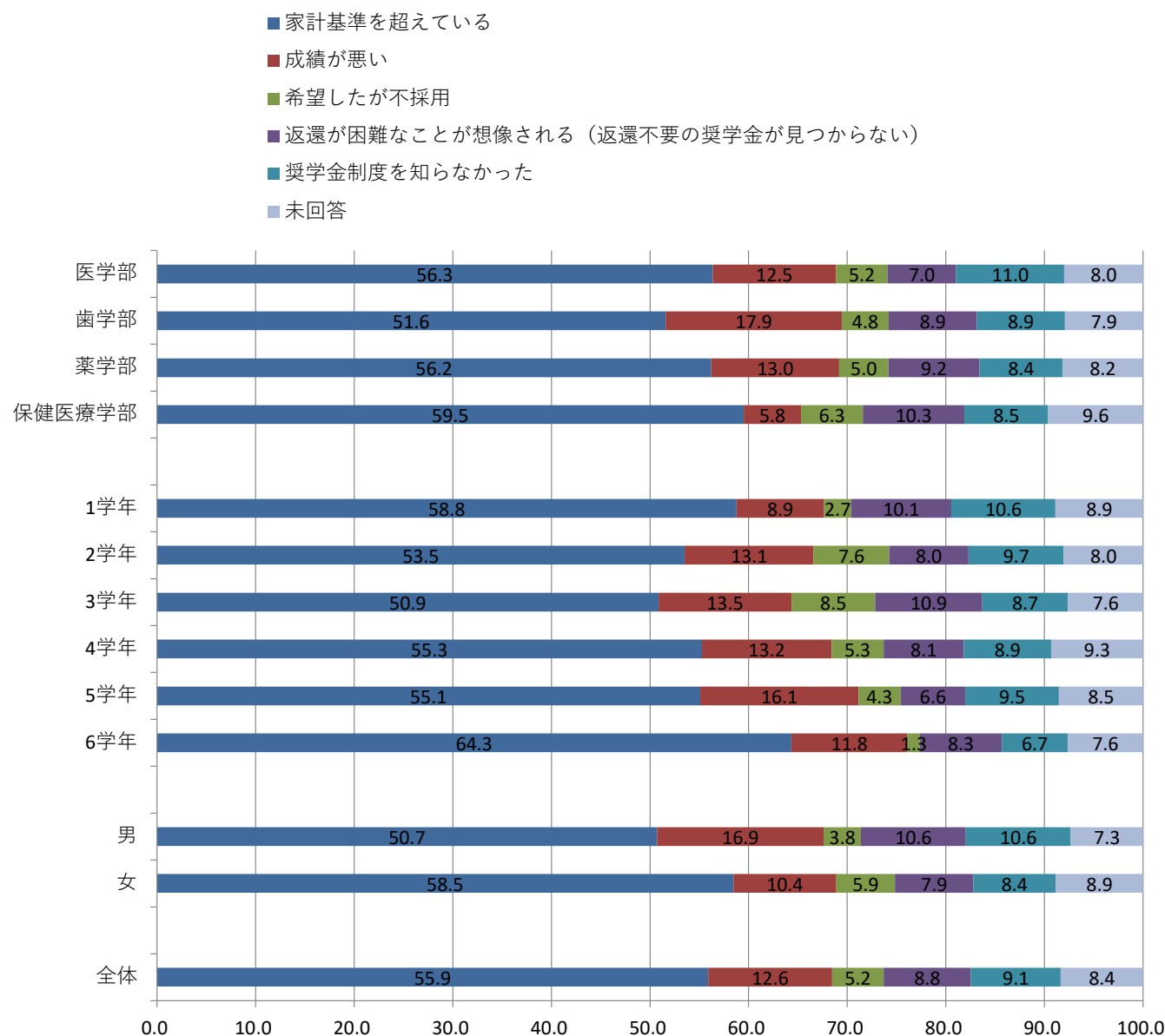
72.「71」で「はい」と答えた人に質問です。奨学金の主な用途は何ですか

■学費 ■図書・教材費 ■生活費 ■クラブ活動費 ■その他 ■未回答

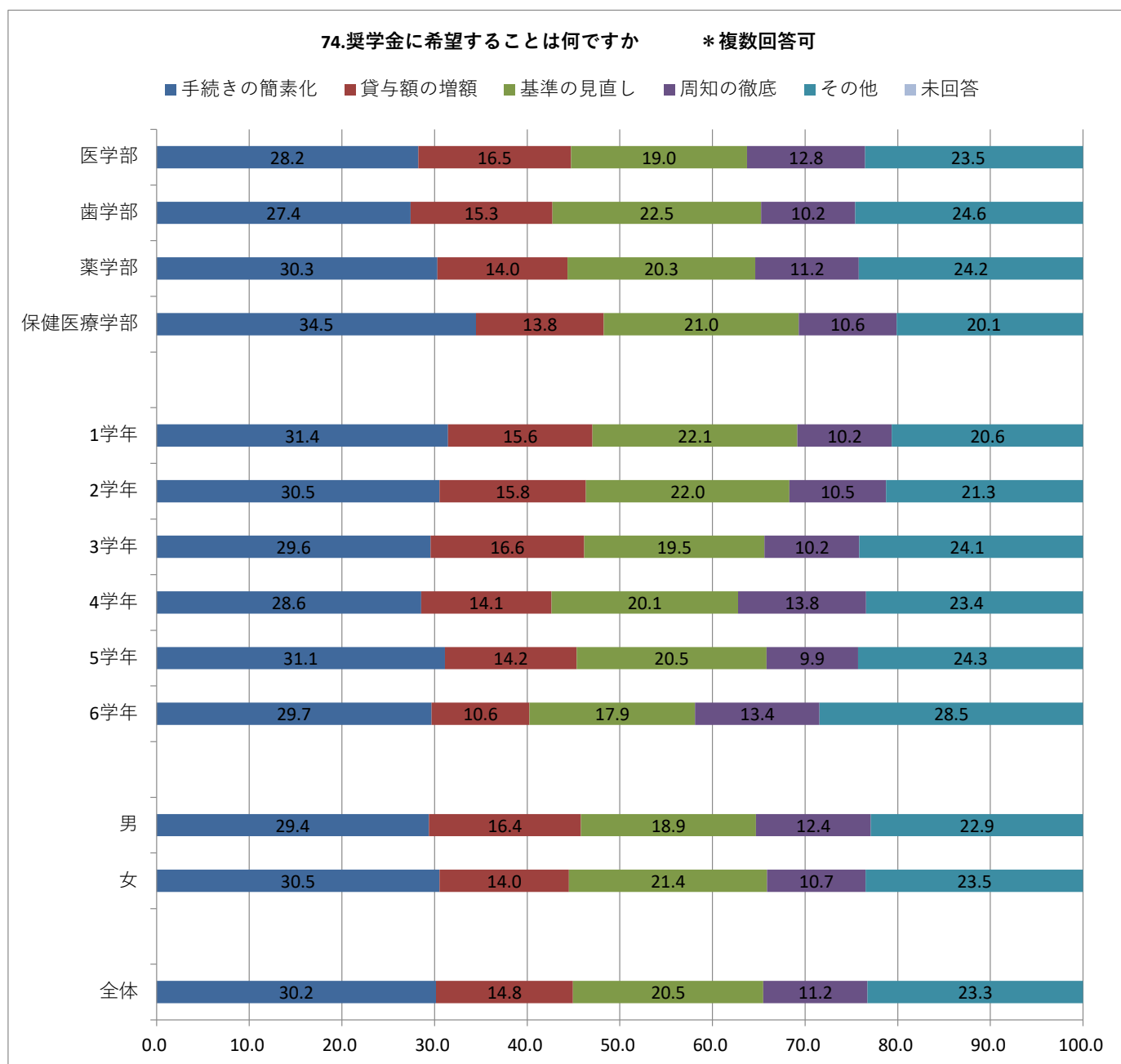


奨学金の用途は学費が多くを占めており、全体で75.4%（前回：82%）であった。前回と比較し、「その他」の割合が8.2%（前回：2.7%）と5.5%増加していた。

73. 「71」で「いいえ」を選んだ人に質問です。奨学金を受けていない人は、その理由は何ですか

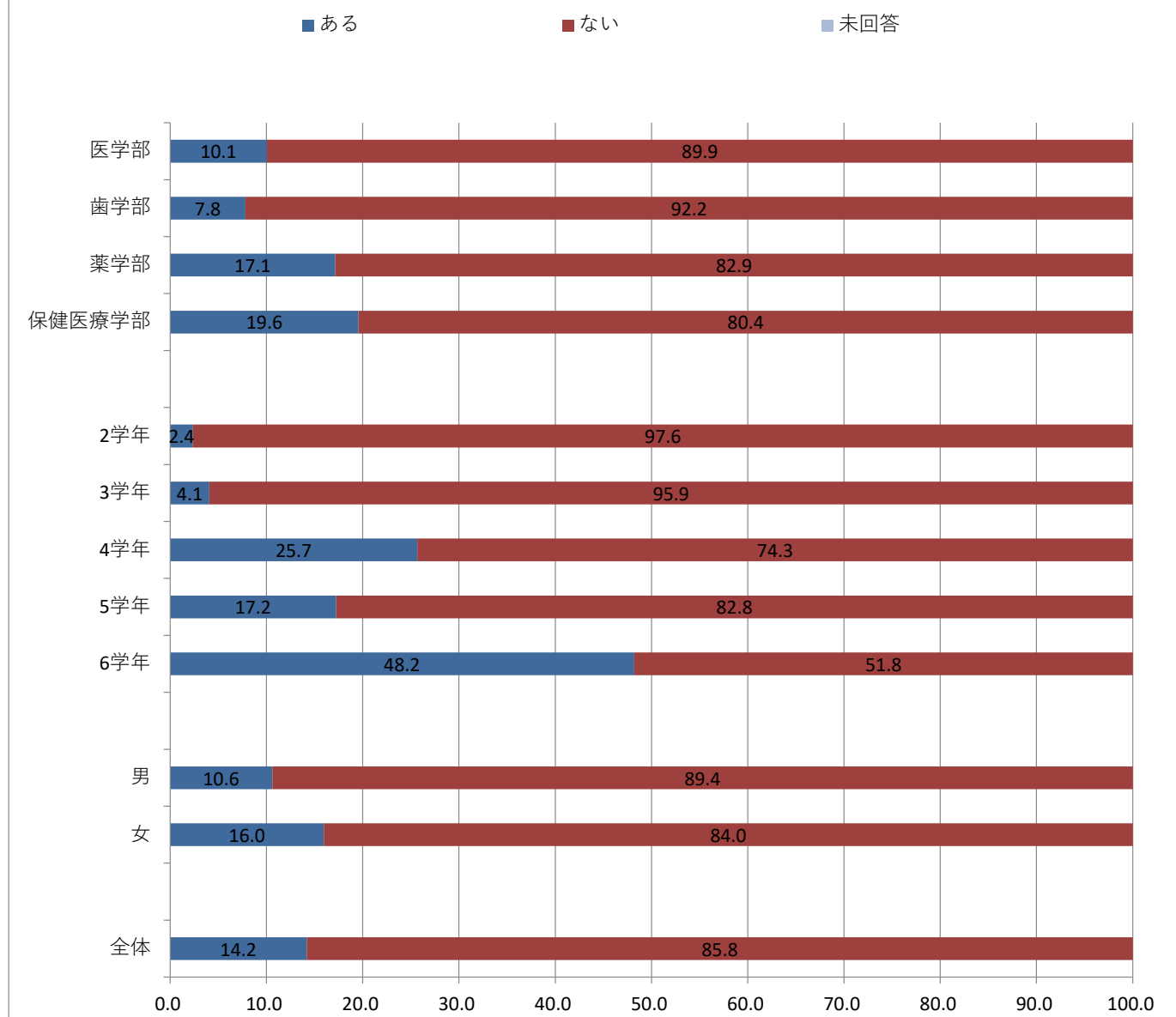


学年、学部を問わず「奨学金制度を知らなかった」と回答した人が一定数いることは憂慮すべき点である。今後は、学生に対して奨学金に関する情報発信方法を検討する必要がある。



手続きの簡素化が最も回答が多かった。手続き書類が多いため書類の簡素化などの検討が必要である。また、「周知の徹底」を挙げている学生が11.2%(前回:12.8%)程度いるため、情報発信方法を検討する必要がある。

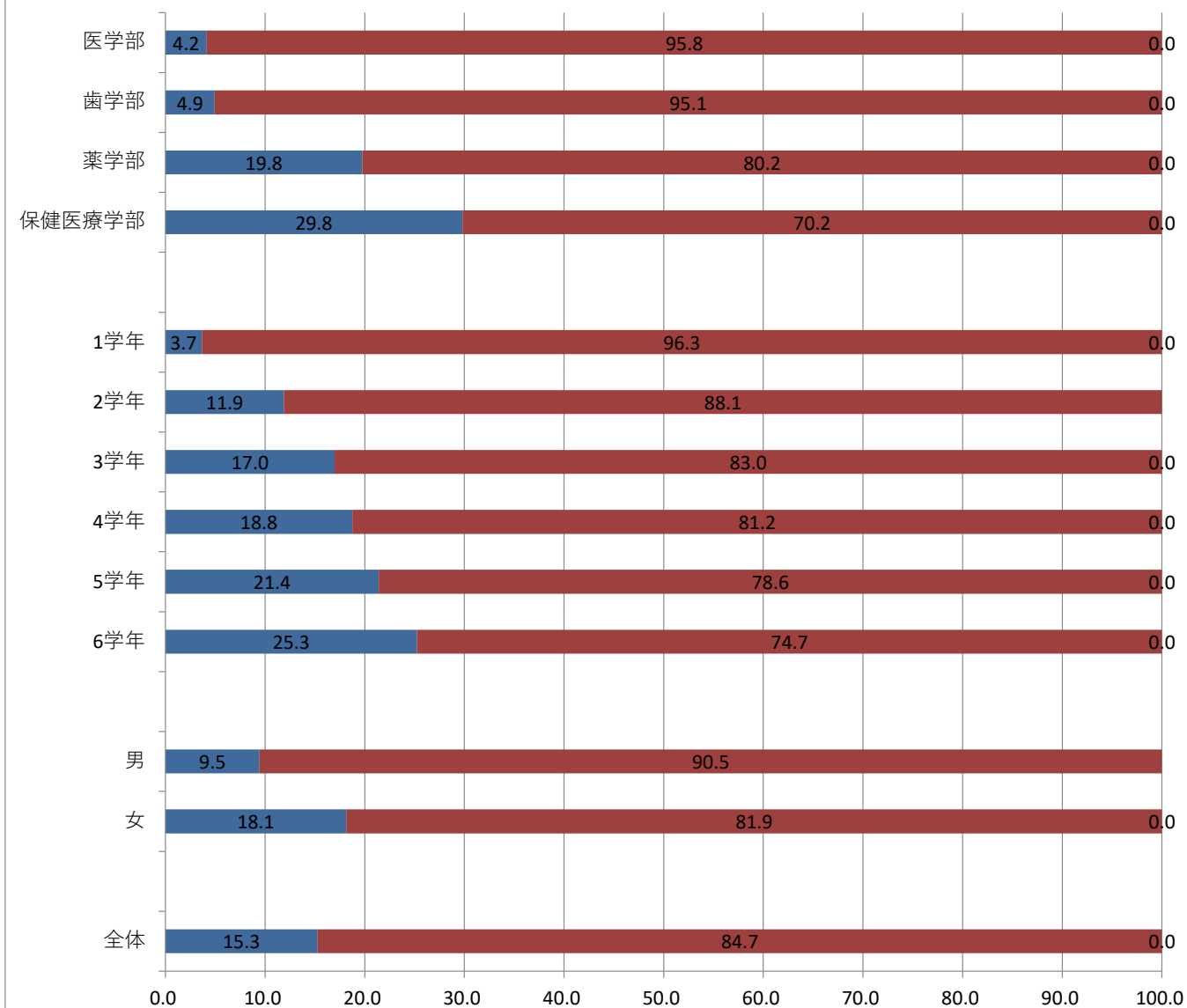
75.キャリア支援室を利用したことがありますか



学年が上がるに従い、キャリア支援室の利用が高くなっているのは、就職活動と関係があるためか。ただ、全体で14.2%（前回：16.9%）の学生しか利用していないこと、医学部、歯学部では利用率が1割程度になっていることから、薬学部、保健医療学部にとっては重要な部署であることがわかる。

76.キャリア支援室主催の学内ガイダンス・談話会等に参加したことはありますか

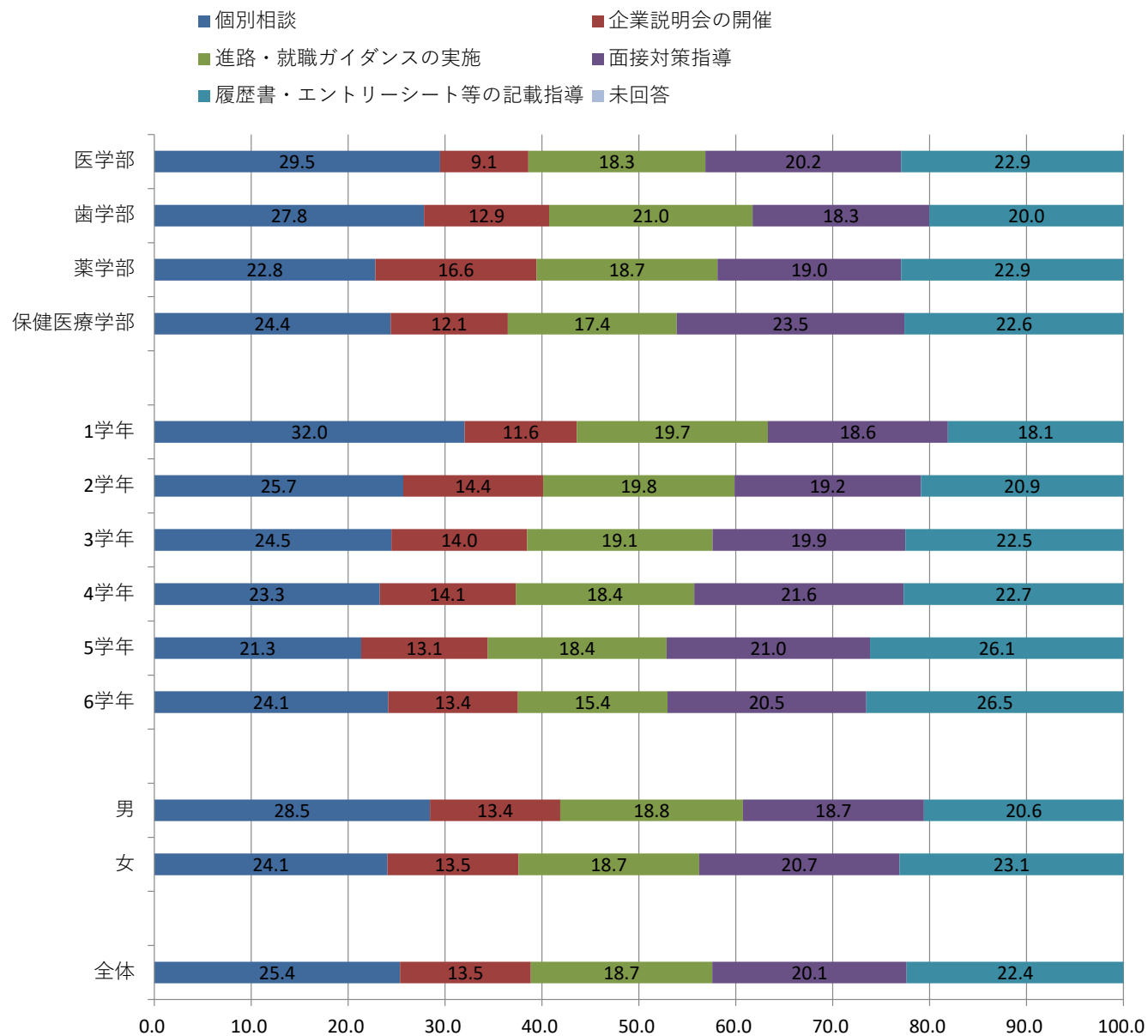
■ある ■ない ■未回答



これも、問75の傾向と一致しているが、保健医療学部で多くなっているのが特徴。

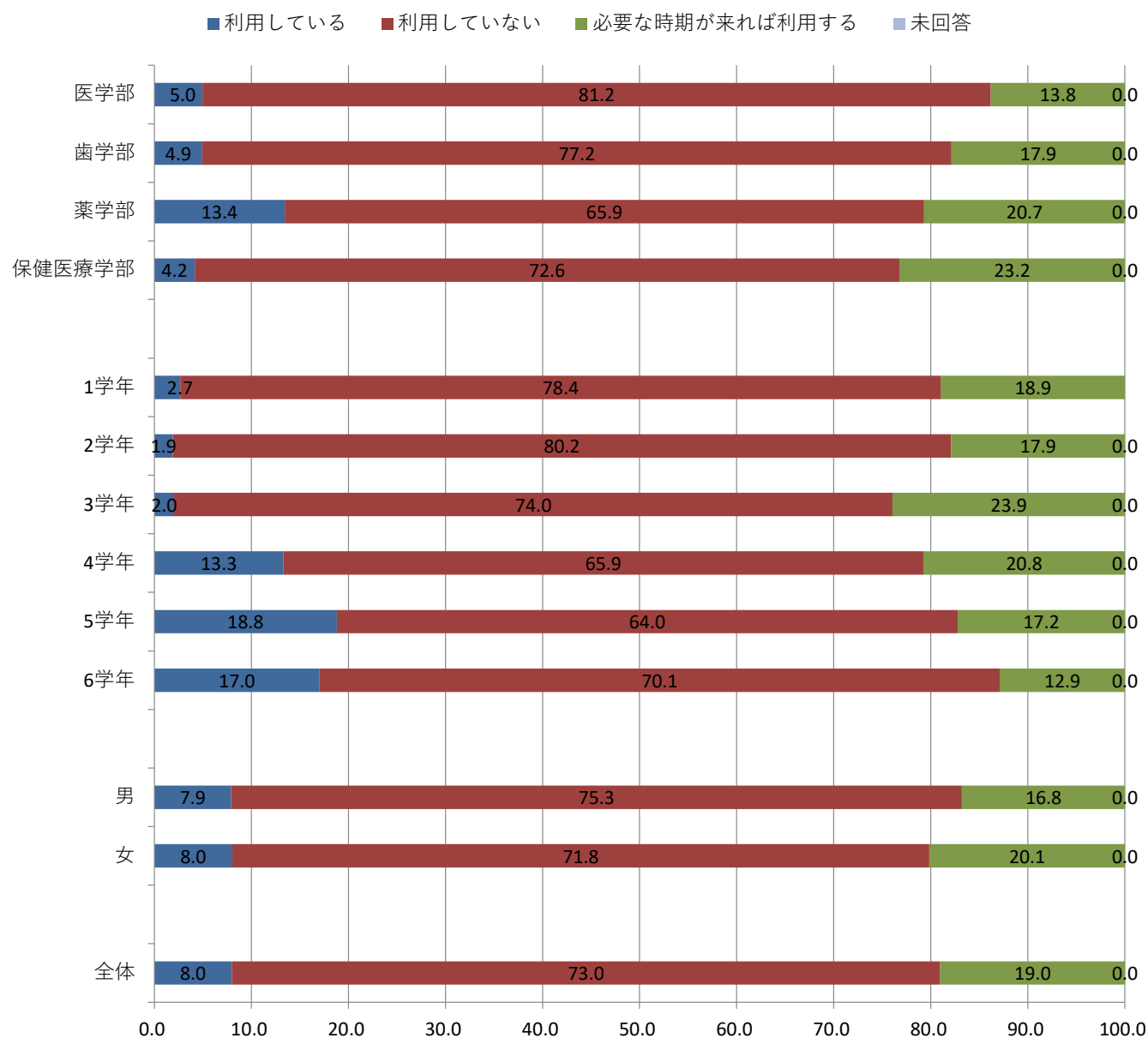
77.進路・就職選択に当たり、どのような支援を期待しますか

* 複数回答可



これらの支援はいずれも、どの学部においても期待されているものであるため、キャリア支援室での活動を幅広く周知していく。

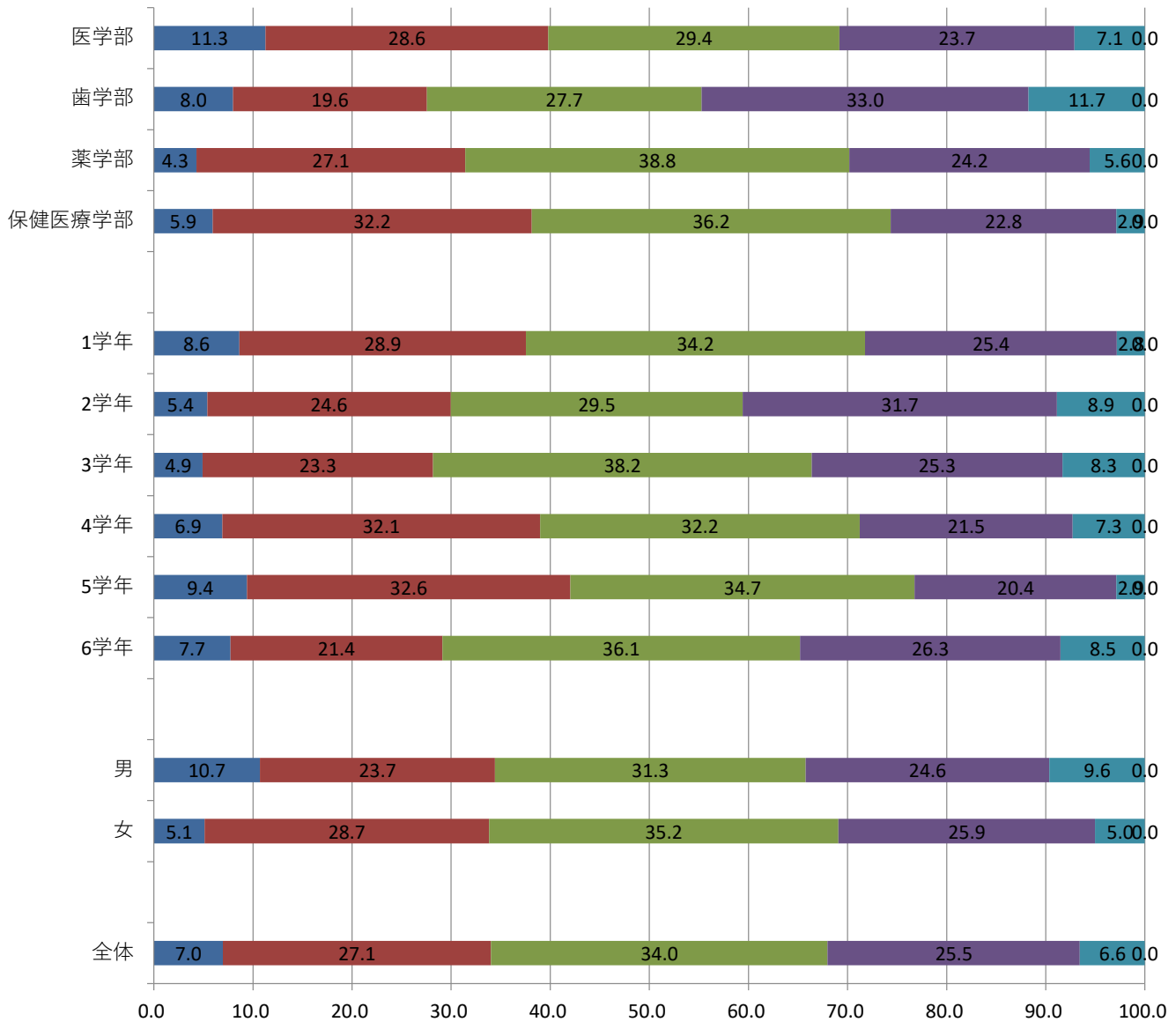
78.「昭和大学キャリア・ナビ」を利用したことがありますか



高学年以外、ほとんど浸透していないことがわかる。就職早期化になっていることを踏まえ、低学年に対しても情報発信方法を検討する必要がある。

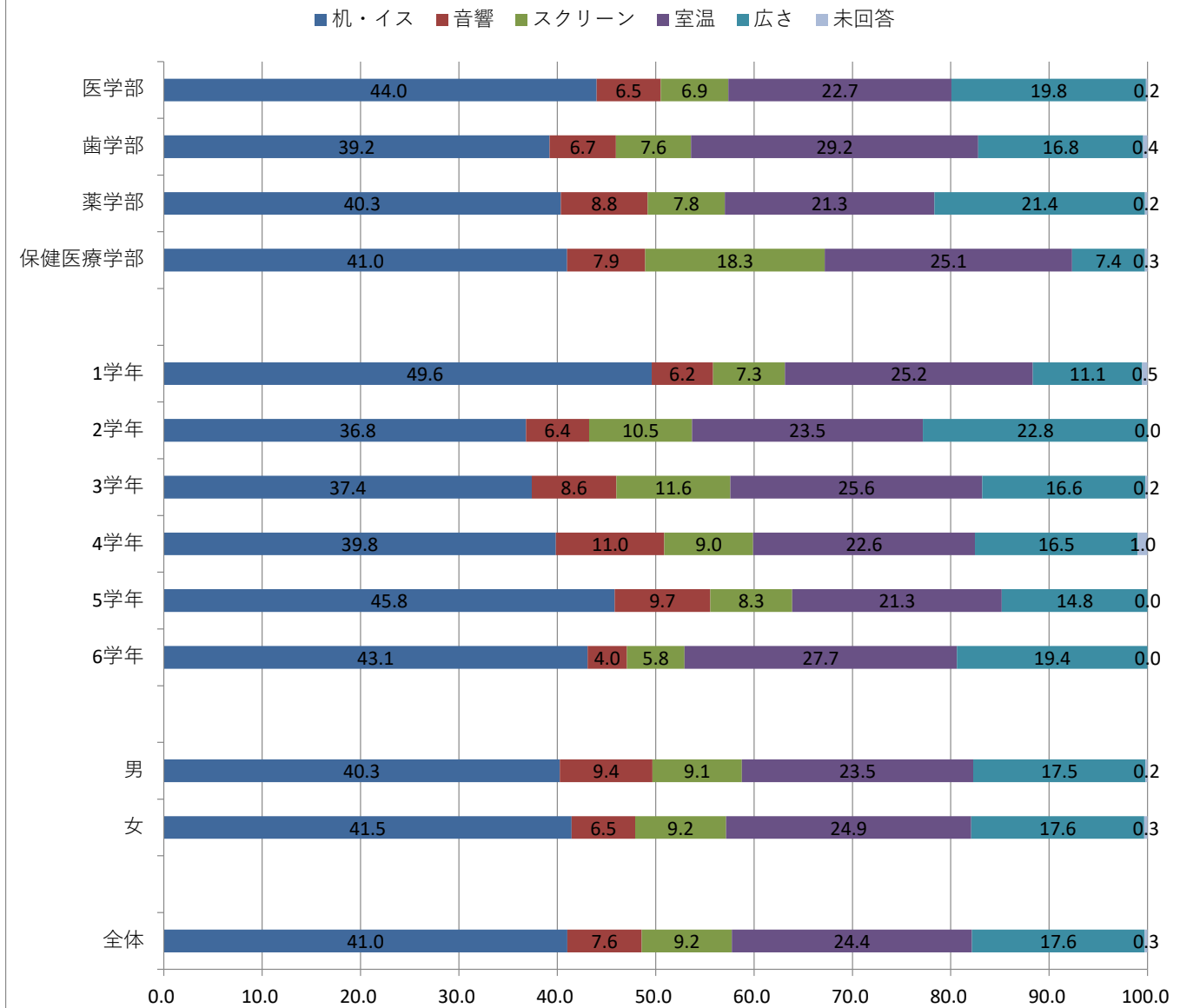
79.講義教室に満足していますか

■ 大変満足している ■ 満足している ■ どちらともいえない ■ 不満である ■ 大変不満である ■ 未回答

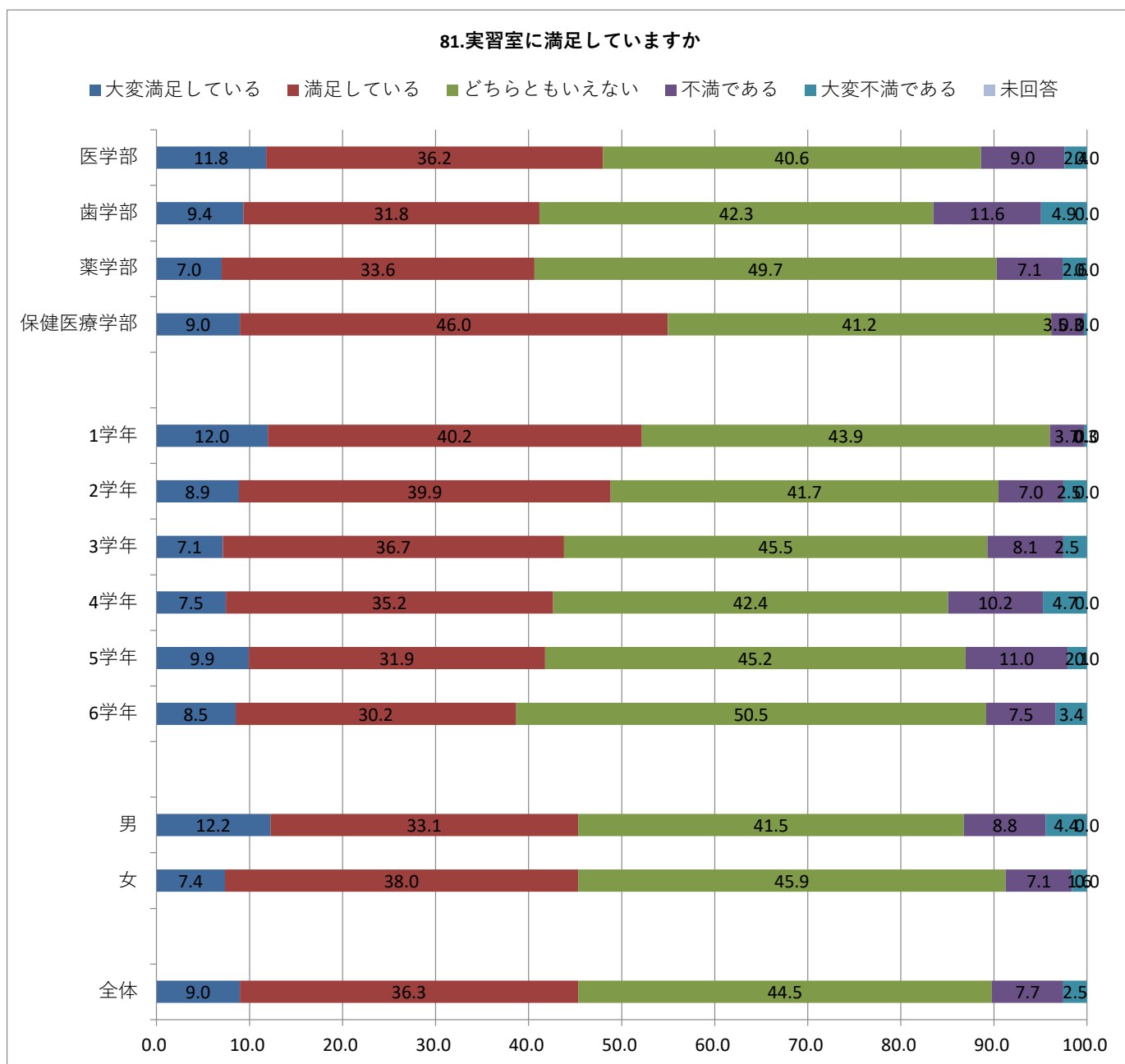


講義室に関しては、「不満」「大変不満」が32.1%（前回：23.6%）であり、8.5%増加している傾向であった。特に歯学部では44.7%（前回：26.4%）が「不満」「大変不満」と回答しており約2割増加していた。また、学部によって満足度の相違があり、キャンパス間の違いを調査していくことが必要と思われる。

80. 「79」で「不満である」「大変不満である」と答えた方に質問します。何に不満と感じていますか ※複数回答可

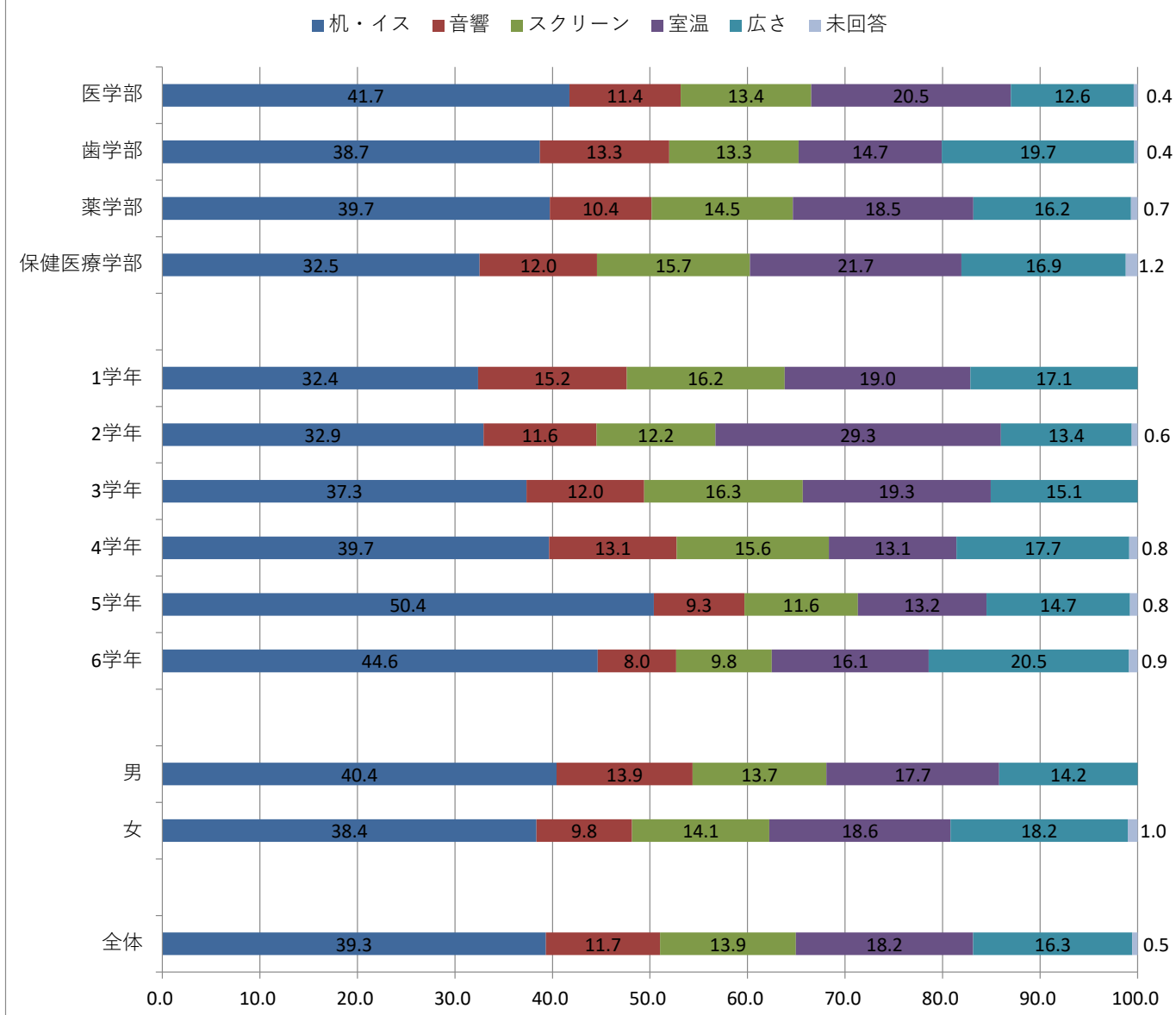


「机・イス」との回答が4割(41.1%(前回:37.9%))を占めている。具体的にどのような点か確認し対応していく必要があると思われる。



実習室に関しては概ね不満はないようであるが、一部不満の回答があるが施設の老朽化の影響が考えられる。

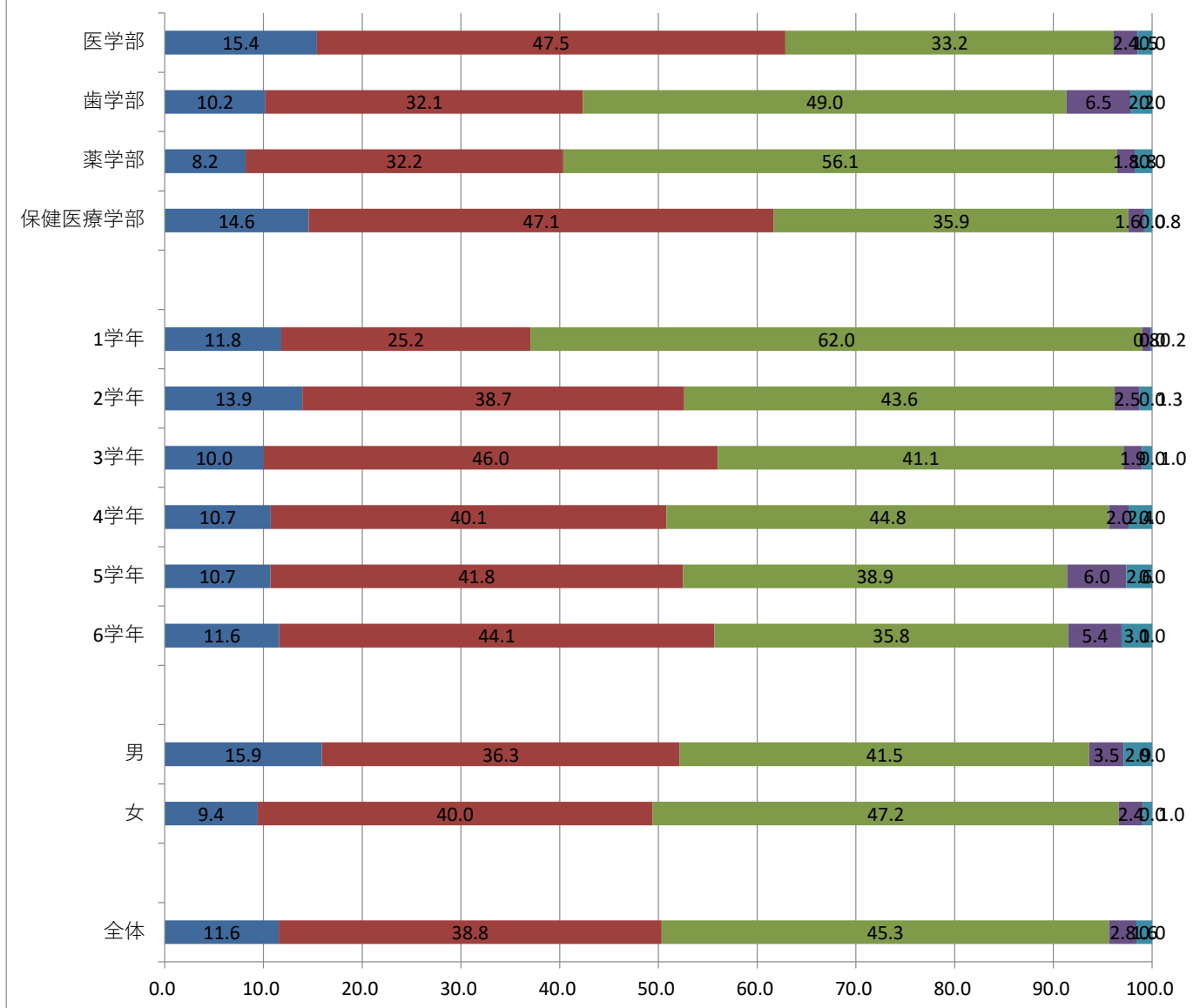
82. 「81」で「不満である」「大変不満である」と答えた方に質問します。何に不満を感じていますか



目立つのは机や椅子であり、恐らく古いことが原因と思われる。随時交換をするなど検討が必要と思われる。

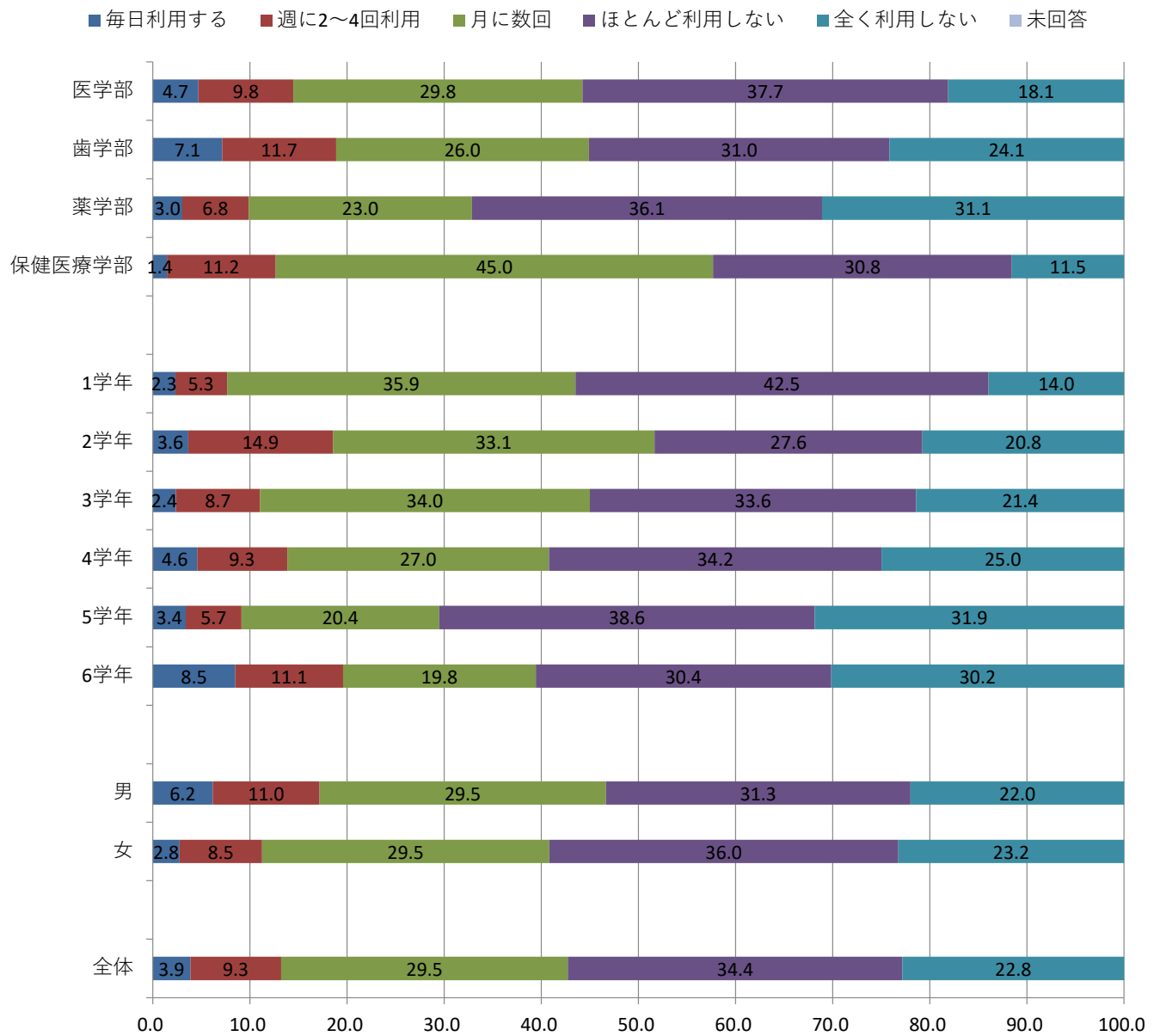
83.実習施設（教育病院）に満足していますか

■大変満足している ■満足している ■どちらともいえない ■不満である ■大変不満である ■未回答

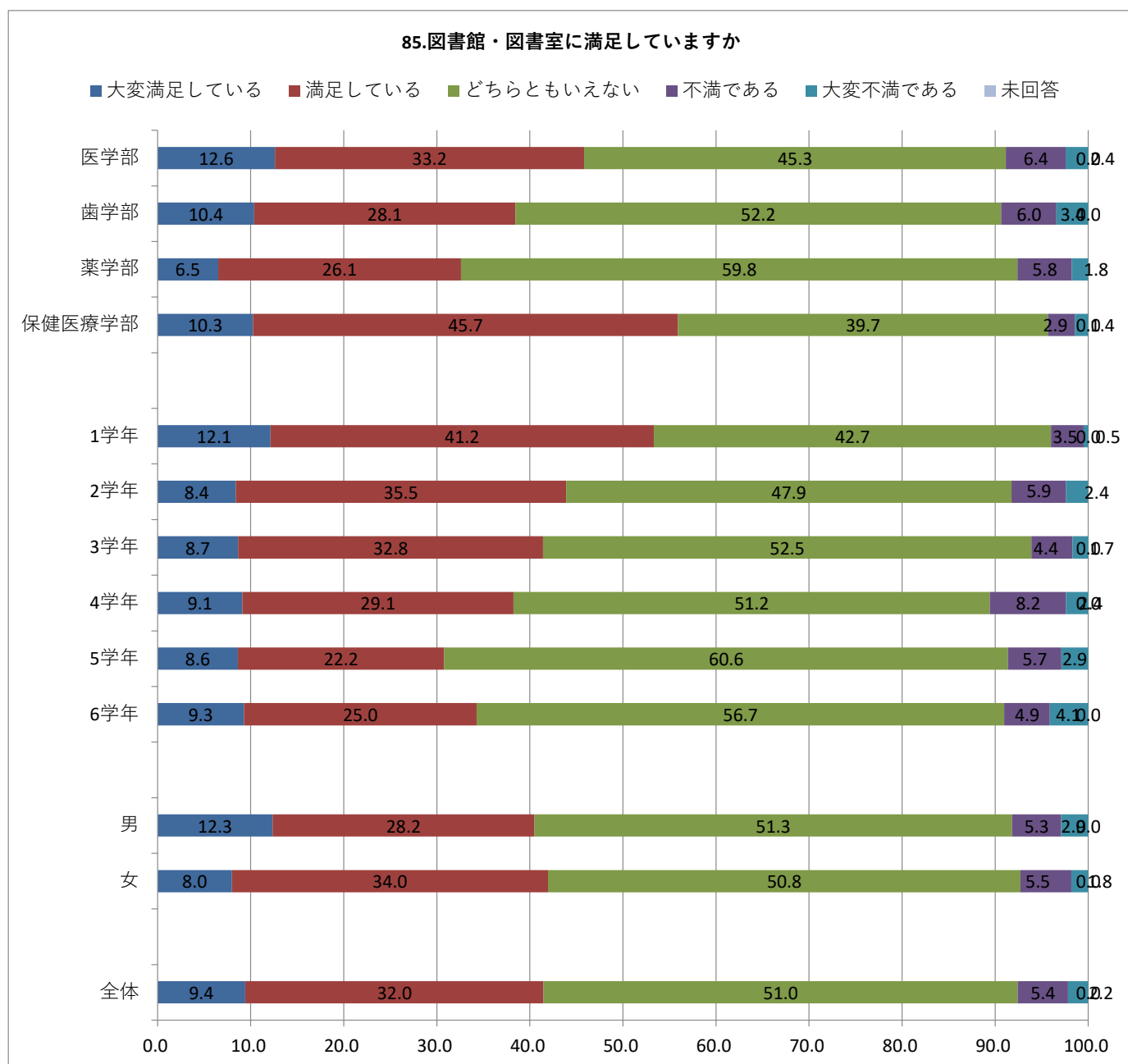


低学年は病院に入ることがほとんどないためこのような結果になっていると考える。全体的に満足度は高いと思われる。

84.図書館・図書室をどの程度利用していますか



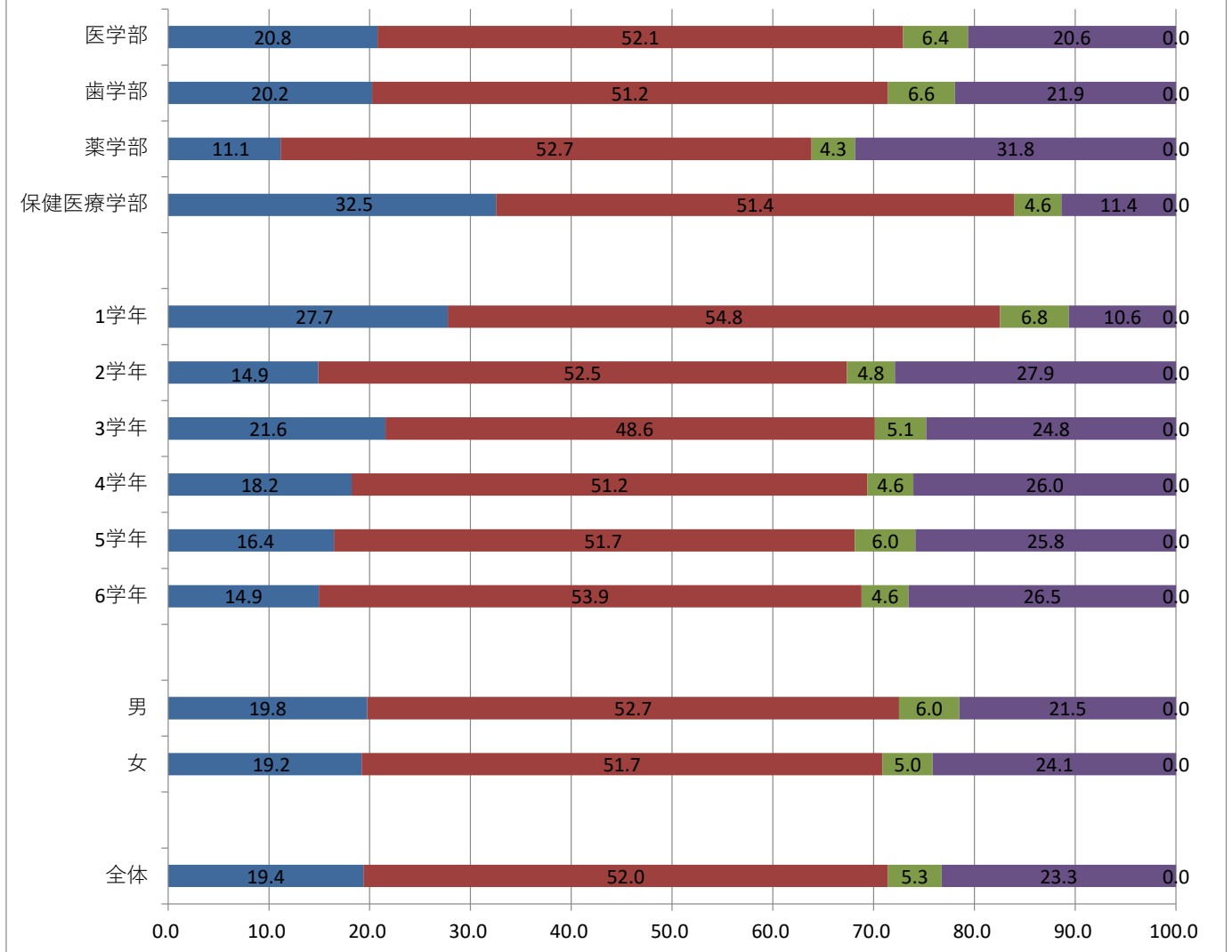
薬学部学生の図書館利用が低いことがわかる。また、学年が上がるにつれて利用数は少なくなり、最終学年でやや利用度が上がっている。利用が、主に卒業試験、国家試験の勉強のためと思われる。



図書館の満足度は学年が上がるほど下がる傾向にある。保健医療学部が他学部と比較し満足度が高い傾向である。

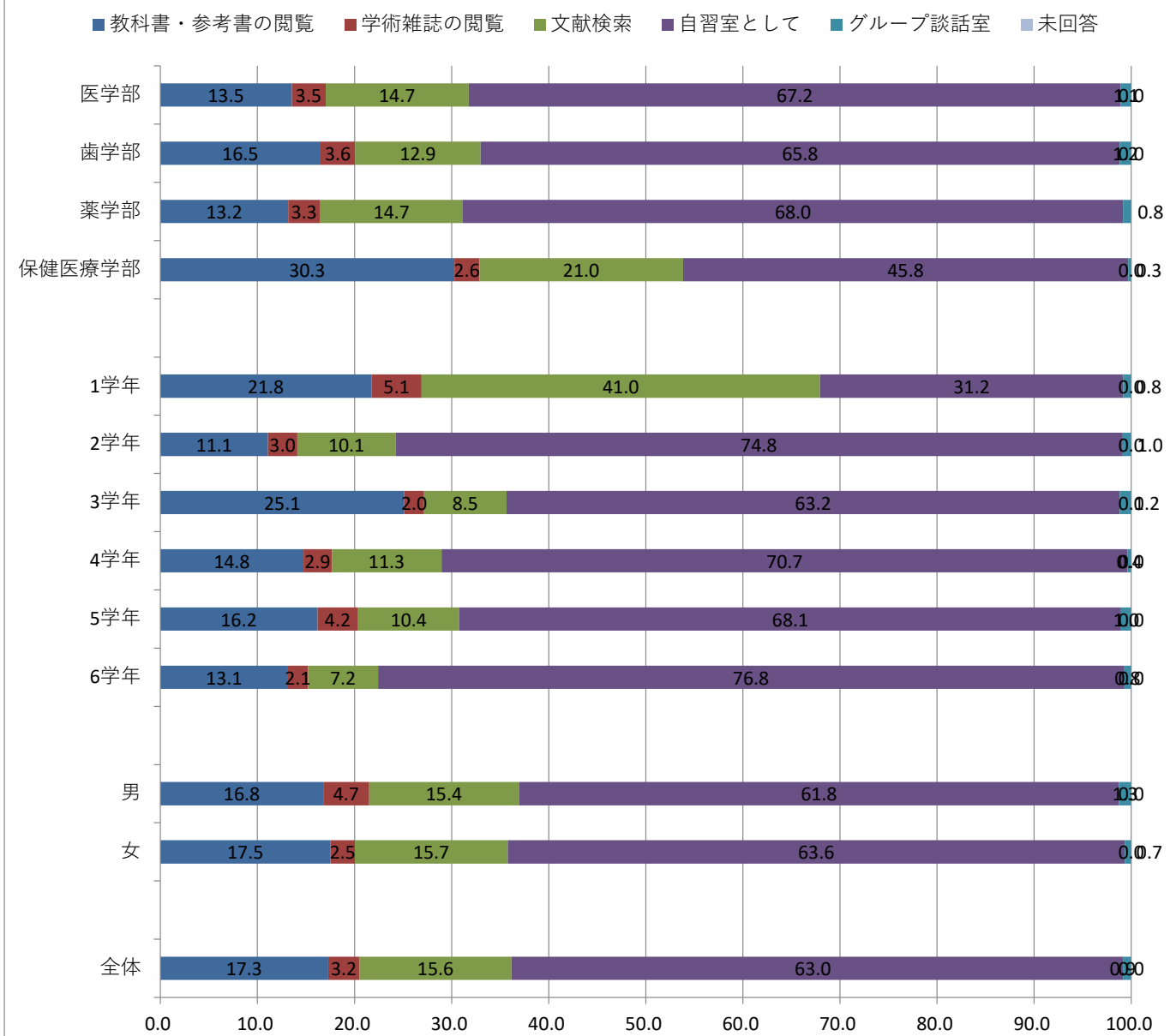
86.図書館・図書室の図書の充実度について

■ 目的の図書がほとんど揃っている ■ どちらともいえない ■ 不十分 ■ 利用したことがないので分からない ■ 未回答



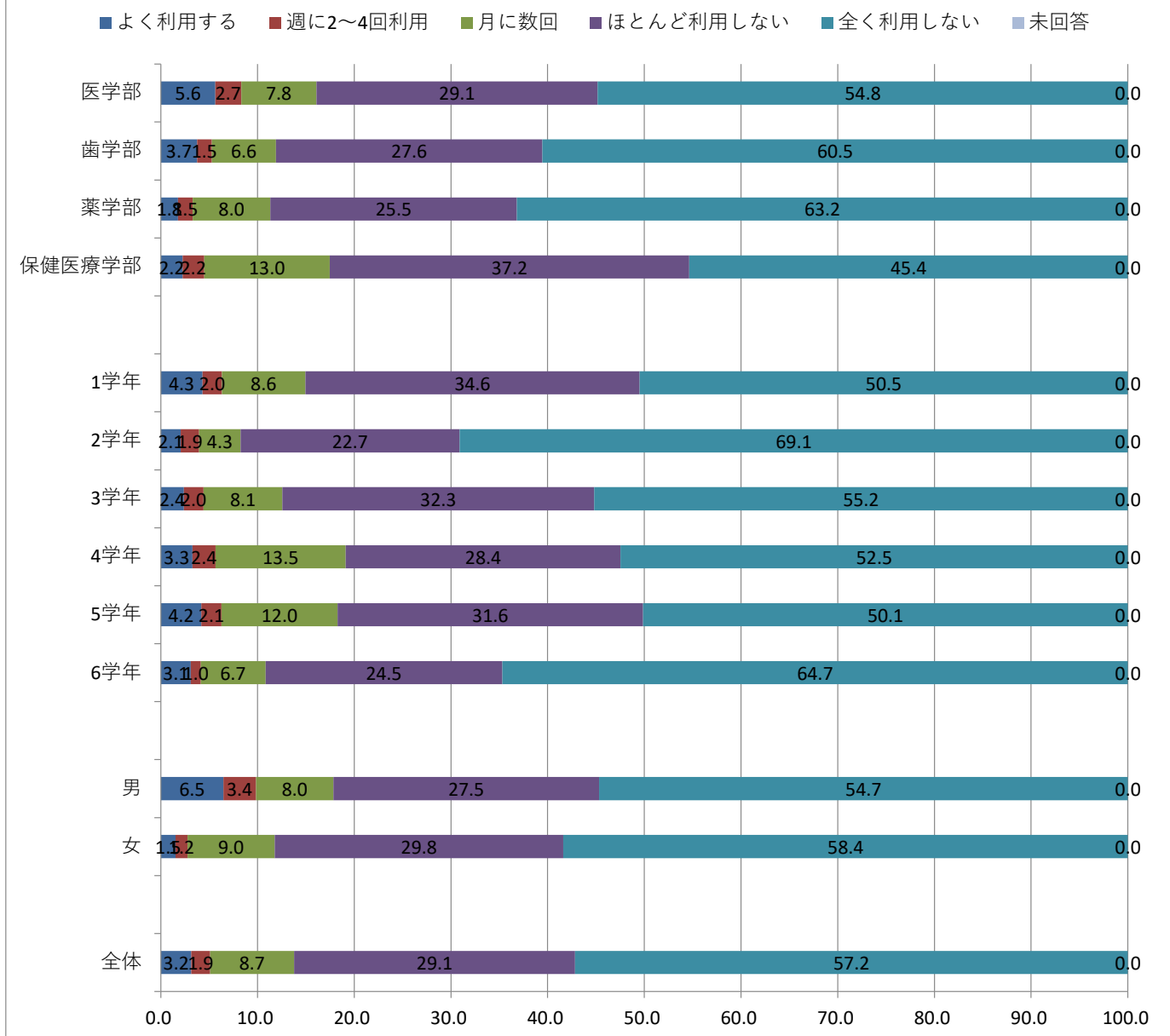
学年間での違いはほとんどないが、学部間では違いがあるように思える。「不十分」の回答に対して、どういった図書が必要なのか記述式の回答を検討する。

87.図書館を利用する主な目的は何ですか



図書館の利用目的の半分以上が自習での利用であり、63%（前回：54.6%）と8.4%増加傾向であった。一方、保健医療学部で図書閲覧の割合が高い傾向にある。

88.図書館の電子ジャーナル利用について



電子ジャーナルは1割強の学生しか利用していない。前回調査(令和3年度)と比較すると、「月に数回」利用している学生で4年生(前回:8.5%)、5年生(前回:8.9%)が上昇している傾向であった。